M0020654C

UNINTERRUPTIBLE POWER SUPPLY

SANUPS A11N

無停電電源装置

ＬＣＤパネル

操作説明書

SANYO DENKI

はじめに

このたびは、**U**ninterruptible **P**ower **S**upply 無停電電源装置 Ａ１１Ｎ（以下ＵＰＳという）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この操作説明書には、ＬＣＤパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。
ＬＣＤパネルの操作をする前に必ずこのＬＣＤパネル操作説明書をお読みください。ＵＰＳの設置、操作についてはA11Nの取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、A11N取扱説明書といっしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

目次

1．ＬＣＤパネルの名称と機能 1
1.1 ＬＣＤパネルの各部の名称 1
1.2 ホームメニューの機能 2
1.3 ＬＣＤパネルの操作方法 3
1.4 初期設定 5

2．ＵＰＳの状態を見る 7
2.1 ＵＰＳの運転状態を見る 7
2.2 ＵＰＳの計測情報を見る 9

3．ＵＰＳの設定をする 11
3.1 出力電圧を設定する 13
3.2 周波数同期追従範囲を設定する 14
3.3 出力周波数を設定する 15
3.4 計測情報に表示される電圧を設定する 16
3.5 インタフェースを設定する 17
3.6 通信ボーレートを設定する 18
3.7 復電時の動作を設定する 19
3.8 ブザー音が鳴る条件を設定する 20
3.9 ＵＰＳ本体操作パネル ⏻ の OFF 操作を設定する 21
3.10 過負荷時の動作を設定する 22
3.11 ⏻ OFF 時のＵＰＳ給電状態を設定する 23
3.12 入力異常時にバイパス給電を する／しない を設定する 24
3.13 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する 25
3.14 試験用の「装置異常」転送信号を送出する 26
3.15 試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を送出する 27
3.16 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する 28
3.17 バッテリテストの実行時間を設定する 29
3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する 30
3.19 停電時の運転時間を設定する 31
3.20 RING 信号の設定をする 32
3.21 出力電圧の調整値を設定する 33
3.22 EPO 入力論理を設定する 34
3.23 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する 35
3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する 36
3.25 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する 37

3.26 SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する 38
3.27 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する 39
3.28 リモートスイッチの入力方式を設定する 40
3.29 復電の確認時間を設定する 41
3.30 エアフィルタを使用 する／しない を設定する 42
3.31 日付／時刻を設定する 43
3.32 表示言語を設定する 44
3.33 並列接続するＵＰＳユニットの台数を設定する 45
3.34 運転システムを設定する 46
3.35 設定値をリセットする 47
3.36 ＵＰＳを再起動する 48

4. ＵＰＳの操作をする 50
4.1 バッテリテストをする 51
4.2 バッテリテストの結果を見る 53
4.3 ＵＰＳを起動する または 停止する 54
4.4 バイパス運転に切り換える 55
4.5 EPO ラッチ状態を解除する 56

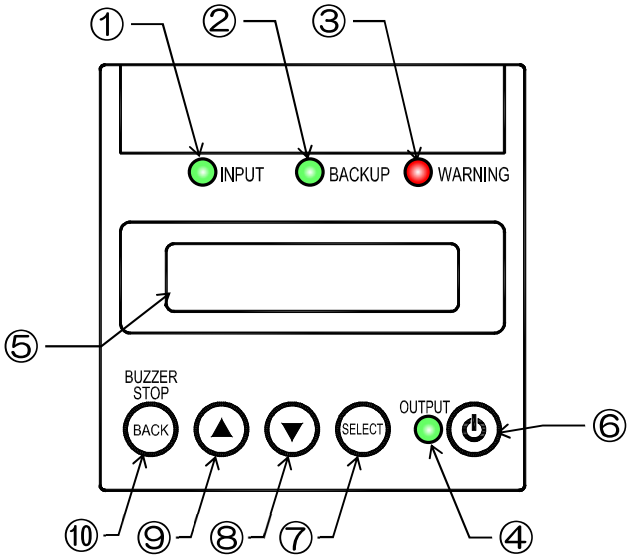
5. メンテナンスメニュー（サービス員用） 57
5.1 バックアップ時間を設定する（サービス員用） 58
5.2 バッテリ種別を設定する（サービス員用） 59
5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする（エアフィルタ使用時のみ） 60

6. 状態表示説明 61

7. 計測情報表示について 63

1．ＬＣＤパネルの名称と機能

1.1　ＬＣＤパネルの各部の名称



番号	名称	表示	色	機能	
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯	入力電源が正常な場合
				点滅	入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯	バッテリ運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯	注意・警告情報または故障発生時、バッテリ運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯	インバータ運転による給電中
				点滅	バイパス運転による給電中
⑤	LCD 画面	－	－	ＵＰＳの状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示	
⑥	ON/OFF ボタン	⏻	－	インバータ運転の起動・停止操作	
⑦	SELECT ボタン	SELECT	－	LCD 表示項目・内容の選択・決定	
⑧	▼ ボタン	▼	－	LCD 表示項目を１つ進める	
⑨	▲ ボタン	▲	－	LCD 表示項目を１つ戻す	
⑩	BACK ボタン	BACK	－	選択の取り消し、LCD 表示（メニュー）階層を戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止	

ＬＣＤパネルについて

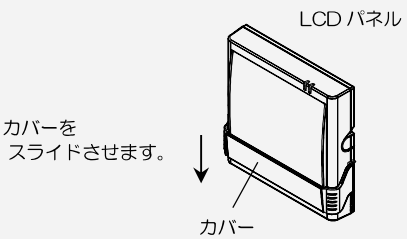
● LED の図表示について

LED は、操作説明書の中で【INPUT㊀】、【WARNING㊁】

LED の状態は 点灯：☀、点滅：✺ のように表示されています。

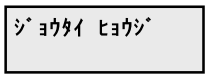
● ＬＣＤパネル操作部のカバーについて

各ボタンを操作するときは、カバーを下にスライドさせます。
操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。



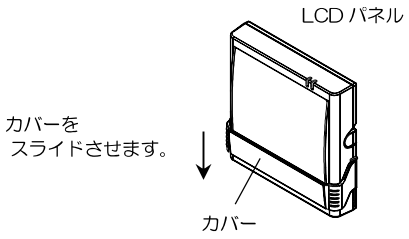
1.2　ホームメニューの機能

ＬＣＤパネルには、下記の５つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれの項目をご覧ください。

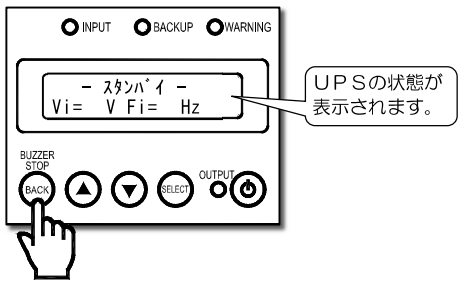
ホームメニュー	機能	詳細
 「2.1 ＵＰＳの運転状態を見る」参照	状態表示 ＵＰＳの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 交流入力、交流出力、バッテリの状態、 装置内部の異常、負荷率 など
 「2.2 ＵＰＳの計測情報を見る」参照	計測表示 ＵＰＳの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力（電圧、周波数） 出力（電圧、電流、負荷率、電力、周波数） バッテリ（電圧、充電率、バッテリ残保持時間、停電発生回数、 バッテリ運転積算時間、バッテリ寿命） 充電器（電圧、電流） 温度（周囲温度、バッテリ温度）
 「3．ＵＰＳの設定をする」参照	設定変更 ＵＰＳの各種設定を変更します。	設定項目： 入出力：電圧、周波数同期追従範囲、出力周波数、電圧電流表示 インタフェース：インタフェース、通信ボーレート 動　　作：復電時の動作、ブザー音、停止操作、 過負荷時の動作、出力停止時の動作、入力異常時の動作、 軽故障時の転送信号、装置異常の擬似転送信号の送出、 バッテリ電圧低下の擬似転送信号の送出、 バッテリ：バッテリ電圧低下警告タイミング バッテリテスト時間、テスト周期 機　　能：停電時運転時間、RING 信号、出力電圧調整、 EPO 入力論理、停電信号論理、バッテリ電圧低下論理、 インバータ信号論理、バイパス信号論理、異常信号論理、 リモートスイッチ入力、復電確認時間、 エアフィルタ使用時の設定、 システム：時刻、表示言語、ユニット接続台数、運転システム
 「4．ＵＰＳの操作をする」参照	ＵＰＳ操作 ＵＰＳの操作をします。	操作項目： バッテリテスト、テスト結果表示 ＵＰＳの起動／停止 バイパス運転切り換え EPO ラッチ状態解除
 「5．メンテナンスメニュー （サービス員用）」参照	メンテナンス サービス員用のメニューです。 保守用の情報表示、または設定をします。お客様は操作をしないでください。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリ情報、各ユニット運転状態、 各ユニット計測値 設定項目： バッテリバックアップ時間、バッテリ種類

1.3　ＬＣＤパネルの操作方法

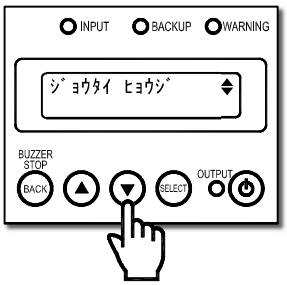
① カバーを下へスライドさせます。



② BACK を押してLCD 画面を表示させます。

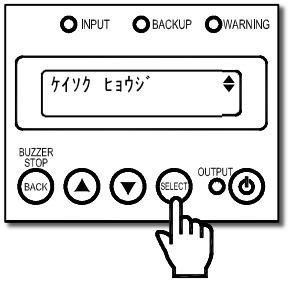


③ ▼ または ▲ を押して画面を切り換えます。



手順③と手順④を繰り返して
表示または設定をします。

④ SELECT を押して項目を決定します。



⑤ 戻りたい階層まで BACK を押して戻ります。操作後は、カバーをもとの位置に戻します。

ご注意

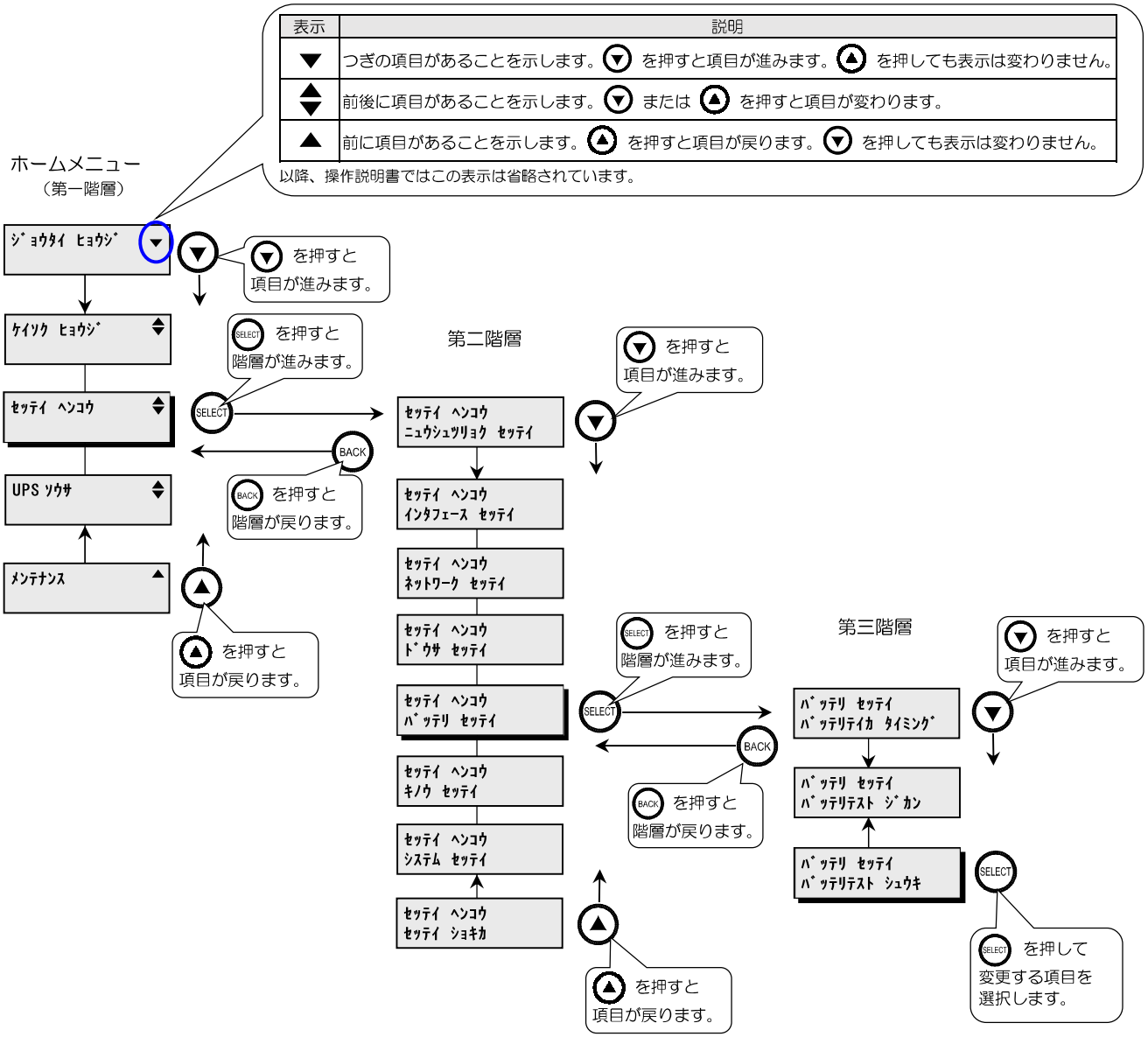
- ＵＰＳのブザーが鳴っているときに、BACK を押した場合は、ブザー音が停止します。１回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で BACK を押すとＬＣＤ画面にメニューが表示されます。
- ＬＣＤ画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、ＵＰＳ運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。スクリーンセーバー表示後、さらに10分以上操作をしないとパネルの表示が消えます。いずれかのボタンを押すとＵＰＳの状態が表示されます。
- 実際にＬＣＤ画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。

SELECT を押すと階層が進み、 BACK を押すと階層が戻ります。
それぞれの階層に項目があり、▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと項目が戻ります。
画面に表示されている項目で、SELECT を押すと、項目が決定され階層が進みます。

階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。

例：「ｾｯﾃｲﾍﾝｺｳ（設定変更）」画面から、バッテリ設定の「ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄｼｭｳｷ（バッテリテスト周期）」へ進む場合。

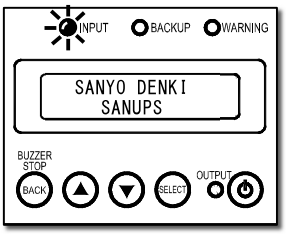
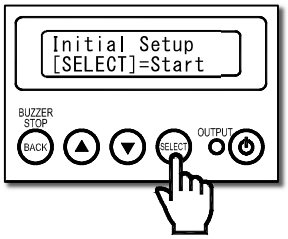
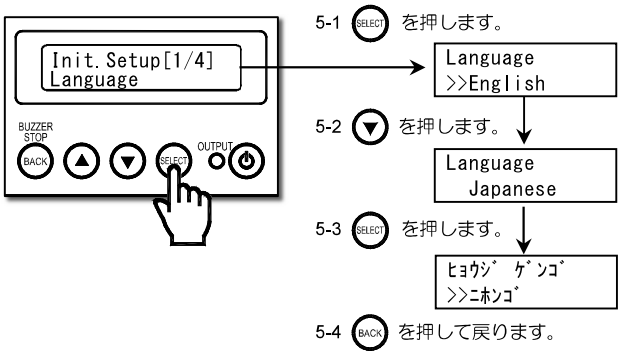


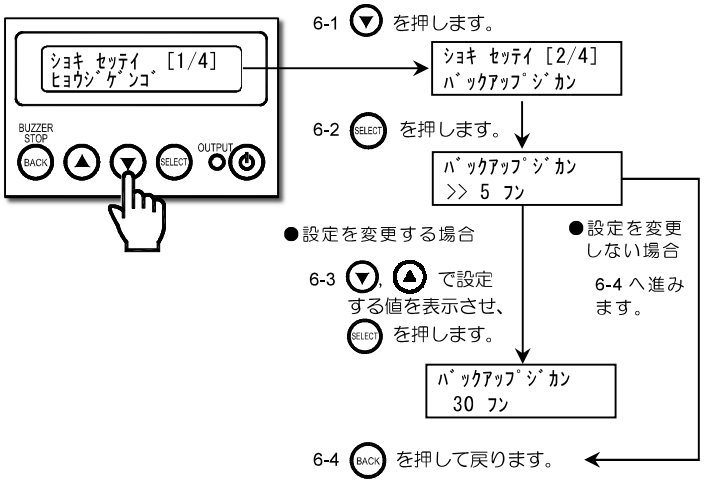
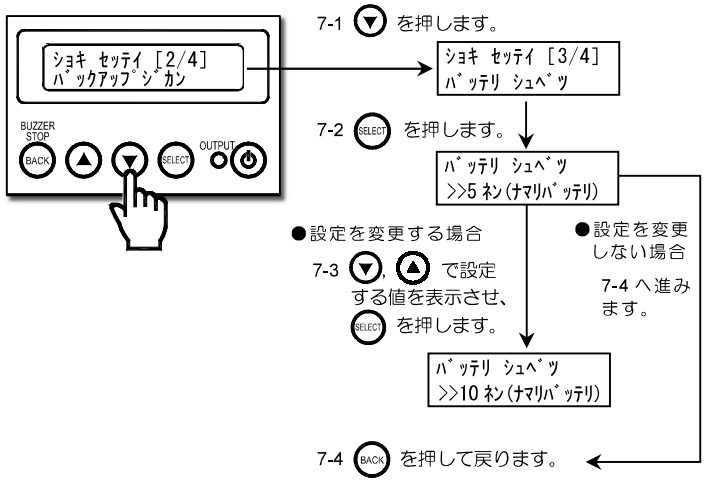
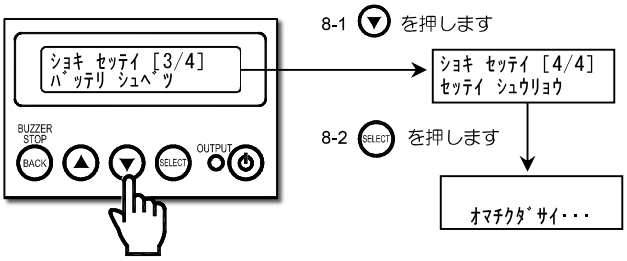
1.4　初期設定

ＵＰＳの初起動時、ＬＣＤパネルに初期設定画面が表示されます。
表示された画面にしたがい、初期設定をしてください。

ご注意

初起動時のみの設定です。この操作で正しく設定できなかった場合、または設定を変更する場合は、「3.32 表示言語を設定する」、「5.1 バックアップ時間を設定する」、「5.2 バッテリ種別を設定する」をご覧になり設定してください。
ただし、「5.1」項、「5.2」項の設定は、サービス員以外は操作しないでください。

手順	操　作	ポイント
1	次の項目について確認します。 1．サービス員によるＵＰＳの設置・配線作業は完了していますか？ 2．ＵＰＳの外観に傷や変形はないですか？	● ＵＰＳの設置・配線など、ＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。
2	入力電源を受電し、MAIN MCCB を ON にします。	● ＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。
3	LCD 画面が下記のようになっていることを確認します。  【INPUT(緑)】点灯 約５秒後、手順４の画面になります。	
4	LCD 画面が下記のようになっていることを確認し、(SELECT) を押します。  	● この画面は初起動時のみ表示されます。 この画面が表示されないときは、初期設定済みです。設定を変更する場合、表示言語は「ｾｯﾃｲﾍﾝｺｳ」、バックアップ時間、バッテリ種別は「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」メニューから行ってください。 ● 初起動時に、下表の３つの項目を設定します。 設定項目 / LCD 画面の表示（カタカナ / 英語） 表示言語 / ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ / Language バックアップ時間 / ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟｼﾞｶﾝ / Backup time バッテリ種別 / ﾊﾞｯﾃﾘｼｭﾍﾞﾂ / Batt type ● 初起動時は、英語表示になっています。
5	表示言語を設定します。  	● LCD パネルに表示される言語を日本語（カタカナ）または英語から選択します。 設定値 / 説明 English / 英語 Japanese / 日本語 ● ここでは、日本語に設定する場合を説明します。以降、本書では、日本語に設定した場合の画面表示で説明しています。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「3.32 表示言語を設定する」をご覧ください。

<table>
<tr><th>手順</th><th>操　作</th><th>ポイント</th></tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>バックアップ時間を設定します。

</td>
<td>● 設定するバックアップ時間は、ＵＰＳに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>5 ﾌﾝ</td><td>5 分</td></tr>
<tr><td>10 ﾌﾝ</td><td>10 分</td></tr>
<tr><td>15 ﾌﾝ</td><td>15 分</td></tr>
<tr><td>25 ﾌﾝ</td><td>25 分</td></tr>
<tr><td>30 ﾌﾝ</td><td>30 分</td></tr>
<tr><td>35 ﾌﾝ</td><td>35 分</td></tr>
<tr><td>45 ﾌﾝ</td><td>45 分</td></tr>
<tr><td>60 ﾌﾝ</td><td>60 分</td></tr>
<tr><td>120 ﾌﾝ</td><td>120 分</td></tr>
<tr><td>180 ﾌﾝ</td><td>180 分</td></tr>
<tr><td>360 ﾌﾝ</td><td>360 分</td></tr>
</table>
● 必ずＵＰＳの仕様に合わせて設定してください。30 分バックアップのＵＰＳの場合に「60 ﾌﾝ」を選択しても実際のバックアップ時間は 60 分にはなりません。正しく設定しないと、バッテリ情報が正確に表示されません。また、バッテリが正しく充電されなくなります。
● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.1 バックアップ時間を設定する」をご覧ください。ただし、サービス員以外は操作しないでください。</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>バッテリの種別を設定します。

</td>
<td>● 設定するバッテリ種別は、ＵＰＳに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>5 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)</td><td>5 年（鉛バッテリ）</td></tr>
<tr><td>10 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)</td><td>10 年（鉛バッテリ）</td></tr>
<tr><td>13 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)</td><td>13 年（鉛バッテリ）</td></tr>
<tr><td>ﾘﾁｳﾑｲｵﾝﾊﾞｯﾃﾘ</td><td>リチウムイオンバッテリ</td></tr>
</table>
● 必ずＵＰＳの仕様に合わせて設定してください。「5 年（鉛バッテリ）」タイプのバッテリが搭載されているときに、「10 年（鉛バッテリ）」に設定しても、実際のバッテリ寿命は 10 年にはなりません。正しく設定しないと、バッテリ情報が正確に表示されません。
● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.2 バッテリ種別を設定する」をご覧ください。ただし、サービス員以外は操作しないでください。</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>設定を確定します。


以上で初期設定は終了です。</td>
<td></td>
</tr>
</table>

2. ＵＰＳの状態を見る

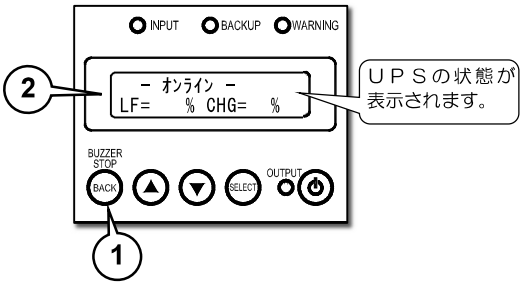
2.1 ＵＰＳの運転状態を見る

現在のＵＰＳの運転状態を見ることができます。

ＬＣＤ画面が消灯している場合

① (BACK) を押してLCD画面を表示させます。

② 表示されたLCD画面でＵＰＳの状態を確認することができます。

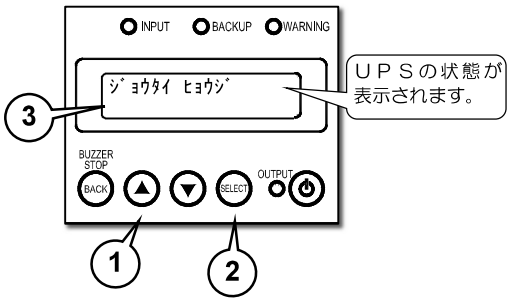


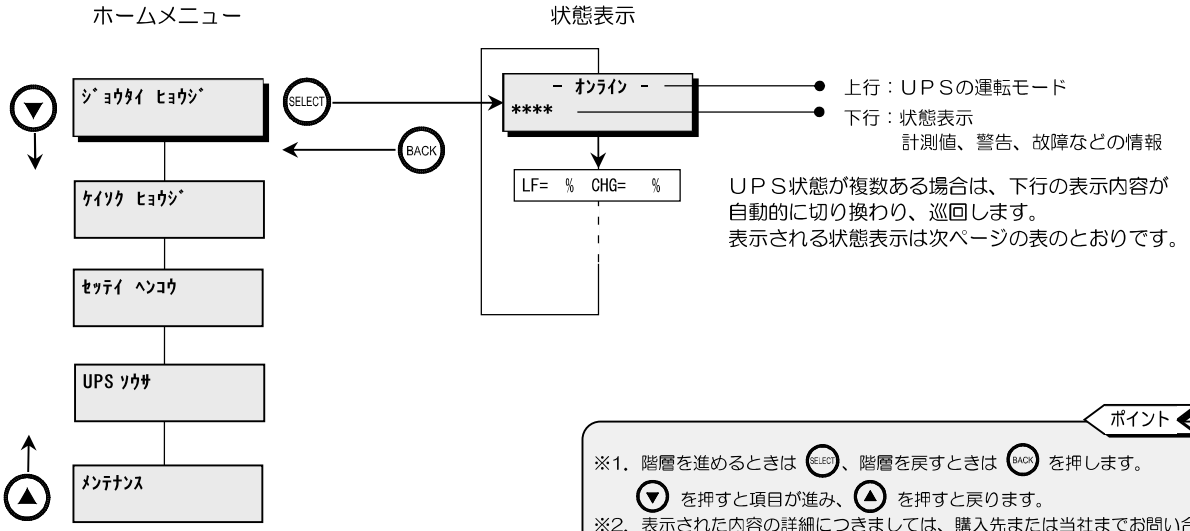
いずれかのホームメニューが表示されている場合

① (▲) を押して画面を切り換え、 ｼﾞｮｳﾀｲ ﾋｮｳｼﾞ を表示させます。

② (SELECT) を押します。

③ 表示されたLCD画面でＵＰＳの状態を確認することができます。





ＵＰＳ状態が複数ある場合は、下行の表示内容が自動的に切り換わり、巡回します。
表示される状態表示は次ページの表のとおりです。

ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

※2. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

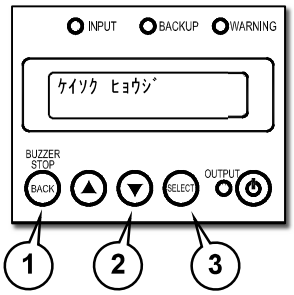
ＵＰＳの状態表示の一覧は下表のとおりです。
ＵＰＳの状態により、画面上行にいずれかのＵＰＳ運転モード、下行にいずれかの状態が表示されます。
表示された状態の詳細、対応方法は「6. 状態表示説明」をご覧ください。

ＵＰＳ運転モード（上行）		状態表示 （下行）	
表示	内容	表示	内容
ｽﾀﾝﾊﾞｲ	待機中	LF= % CHG= %	負荷率、充電率（オンライン表示）
ｵﾝﾗｲﾝ	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率、推定放電時間（バッテリ運転表示）
ﾊﾞｲﾊﾟｽ	バイパス運転中	PDU ﾌｧﾝ ｲｼﾞｮｳ	集電ユニットファン異常（重故障）
ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ	バッテリ運転中	PDU ﾌﾞﾚｰｶ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断（重故障）
ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ	バッテリテスト中	Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数（待機中表示）
ｼｽﾃﾑｺｼｮｳ	システム故障中	Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数（バイパス運転表示）
		ｲｼﾞｮｳｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	装置異常の擬似転送信号送出中
		ｲﾝﾊﾞｰﾀ ｶﾃﾞﾝｱﾂ	インバータ過電圧（重故障）
		ｲﾝﾊﾞｰﾀｶｲﾛ ｲｼﾞｮｳ	インバータ電圧検出回路異常（重故障）
		ｲﾝﾊﾞｰﾀﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	インバータ電圧低下（重故障）
		ｴｱﾌｨﾙﾀ ﾃﾝｹﾝ ｼﾞｷ	エアフィルタ点検時期 ※3
		ｶﾌｶ ｼﾞｮｳﾀｲ	過負荷
		ｶﾌｶ ｼﾞｮｳﾀｲ(ｵﾝﾄﾞ)	過負荷(温度制限)
		ｷｮｳｾｲ ﾊﾞｲﾊﾟｽ SW ｵﾝ	バイパススイッチ ON
		ｷﾄﾞｳﾏﾃﾞ = h m	スケジュール起動遅延中 ※1
		ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ	コントローラ異常（重故障）
		ｺﾝﾊﾞｰﾀ ｲｼﾞｮｳ	コンバータ異常（重故障）
		ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	再起動要
		ｼｭｳﾊｽｳ ｲｼﾞｮｳ	入力周波数異常
		ｼﾞｮｳﾁｮｳｳﾝﾃﾝ NG	冗長運転不可（軽故障）
		ｾｯﾃｲ ｲｼﾞｮｳ	設定異常
		ｾｲｷﾞｮﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ	制御電源（12V）異常（重故障）
		ｿｳﾕﾆｯﾄｽｳ ｲｼﾞｮｳ	総ユニット数エラー（重故障）
		ﾁｬｰｼﾞｬ ｲｼﾞｮｳ	充電器異常（重故障）
		ﾁｬｰｼﾞｬ ﾃｲｼ(ｵﾝﾄﾞ)	動作温度範囲外による充電器停止（軽故障）
		ﾁｬｰｼﾞｬ ﾃｲｼ(ﾍﾝｺｳ)	バッテリ種別変更による充電器停止
		ﾁｮｸﾘｭｳﾃﾞﾝｱﾂ ｲｼﾞｮｳ	コンバータ直流電圧異常（重故障）
		ﾃｲｼﾁｭｳ(EPO ｵﾝ)	EPO による停止中
		ﾃｲｼﾁｭｳ(EPO ﾗｯﾁ)	EPO ラッチ による停止中
		ﾃｲｼﾁｭｳ(Vin ｲｼﾞｮｳ)	バイパス出力断（入力電圧異常）
		ﾃｲｼﾁｭｳ(ﾘﾓｰﾄｵﾌ)	Remote OFF による停止中
		ﾃｲｼﾏﾃﾞ = h m	スケジュール停止遅延中 ※1
		ﾃｽﾄﾁｭｳ m s	バッテリテスト残り時間 ※1
		ﾅｲﾌﾞ ﾂｳｼﾝ ｲｼﾞｮｳ	ＵＰＳ内部の通信異常（軽故障）
		ﾅｲﾌﾞｵﾝﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ	フィン温度異常（重故障）
		ﾆｭｳﾘｮｸ ｲｼﾞｮｳ	入力異常
		ﾆｭｳﾘｮｸ ｶﾃﾞﾝｱﾂ	入力過電圧
		ﾆｭｳﾘｮｸ ﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	入力電圧低下
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ回路異常（重故障）
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ﾏﾁ	充電率起動待ち中　バッテリ充電率不定による起動待ち中
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ	バッテリ寿命
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾖｺｸ	バッテリ寿命予告（6 か月前）
		ﾊﾞｯﾃﾘ ﾎｳﾃﾞﾝｼｭｳｼ	バッテリ放電終止
		ﾊﾞｯﾃﾘ LV ｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	バッテリ LV の擬似転送信号送出中
		ﾊﾞｯﾃﾘｷﾄﾞｳ ｶｲﾛ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ起動スイッチの短絡故障（軽故障）※2
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ(ﾘﾓｰﾄ)	遠隔操作によるバッテリテスト実行中
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ電圧異常
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	バッテリ電圧低下
		ﾋﾄﾞｳｷ ｳﾝﾃﾝ	非同期運転
		ﾌｸﾃﾞﾝ ｶｸﾆﾝﾁｭｳ	復電時確認時限中
		ﾎｼﾞｮﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ	補助電源異常（軽故障）
		ﾒｲﾝ ﾌﾞﾚｰｶ OFF	メインブレーカの OFF またはトリップ
		ﾕﾆｯﾄﾂｳｼﾝ ｲｼﾞｮｳ	ユニット間通信異常

※1. 時間により表示が異なります。
※2. ＵＰＳの型番により、表示されない機種があります。
※3.「3.30 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「ｼﾖｳ ｽﾙ」に設定されている場合に表示されます。また、「3.13 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

2.2 ＵＰＳの計測情報を見る

ＵＰＳの各種の計測値を見ることができます。



① BACK を押してLCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｹｲｿｸ ﾋｮｳｼﾞ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

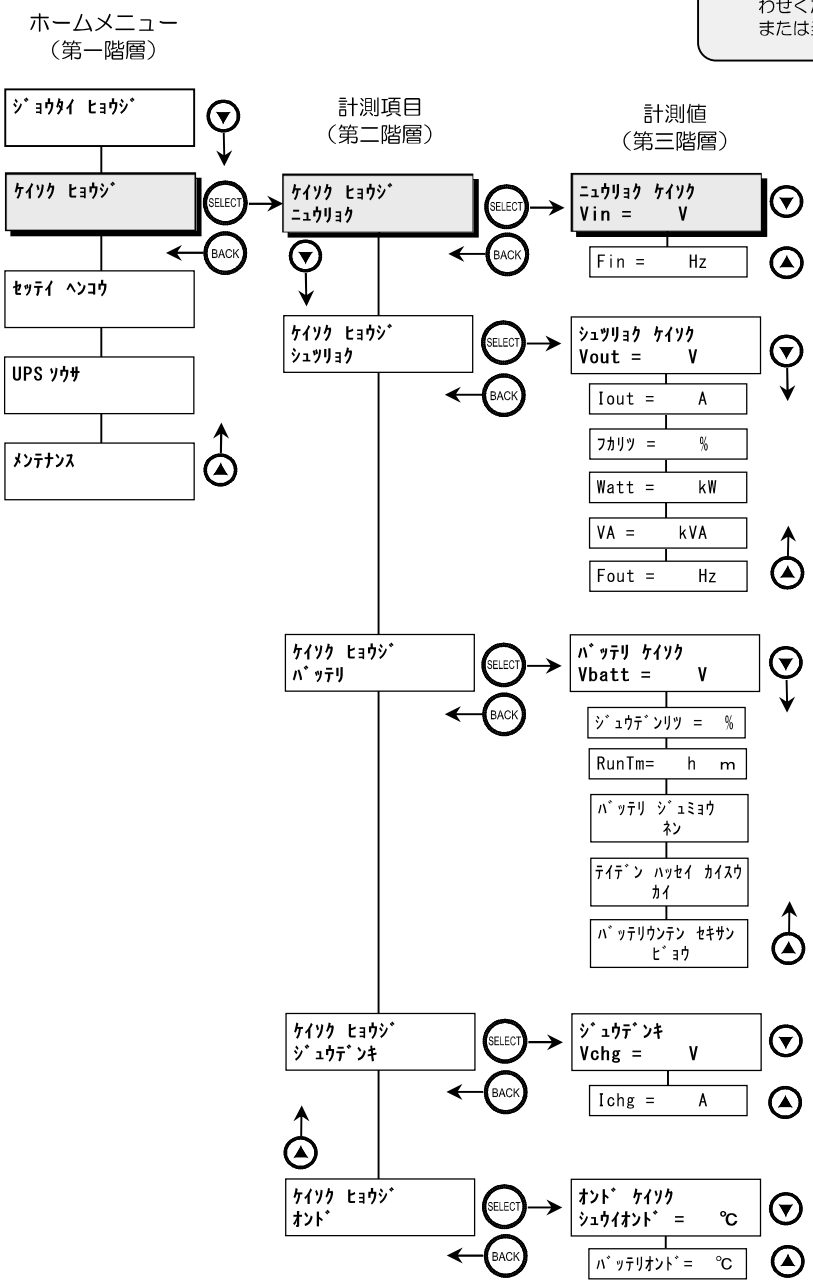
④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で計測項目を切り換え、見たい計測値を表示させます。

例：ＵＰＳの入力電圧値を見る

ポイント

※1. ▼ を押すと表示が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 階層を戻すときは、BACK を押します。
※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。



計測項目	計測値	
	計測値表示	内容
ﾆｭｳﾘｮｸ 入力	Vin = V	入力電圧
	Fin = Hz	入力周波数
ｼｭﾂﾘｮｸ 出力	Vout = V	出力電圧
	Iout = A	出力電流
	ﾌｶﾘﾂ = %	負荷率
	Watt = kW	出力電力(W)
	VA = kVA	皮相電力(VA)
	Fout = Hz	出力周波数
ﾊﾞｯﾃﾘ バッテリ	Vbatt = V	バッテリ電圧
	ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ = %	バッテリ充電率
	RunTm = h m ※1	バッテリ残保持時間
	ﾊﾞｯﾃﾘｼﾞｭﾐｮｳ ﾈﾝ ※2	バッテリ寿命
	ﾃｲﾃﾞﾝ ﾊｯｾｲ ｶｲｽｳ ｶｲ	停電発生回数
	ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ ｾｷｻﾝ ﾋﾞｮｳ	バッテリ運転積算時間
ｼﾞｭｳﾃﾞﾝｷ 充電器	Vchg = V	充電器電圧
	Ichg = A	充電器電流
ｵﾝﾄﾞ 温度	ｼｭｳｲｵﾝﾄﾞ = ℃	周囲温度
	ﾊﾞｯﾃﾘｵﾝﾄﾞ = ℃	バッテリ温度

※1. 残保持時間により表示形式が異なります。
※2. バッテリ寿命により表示形式が異なります。

このページは空白です。

3. ＵＰＳの設定をする

設定メニューには、設定項目別に７つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、3.1～3.35 の各項目をご覧ください。
設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：ｾｯﾃｲﾍﾝｺｳ（設定変更）　1/2

設定グループ	設定項目 表示	設定項目 内容		設定値 表示	設定値 内容	初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
ﾆｭｳｼｭﾂﾘｮｸ ｾｯﾃｲ 入出力設定	ｼｭﾂﾘｮｸ ﾃﾞﾝｱﾂ	出力電圧 ★ *1	ＵＰＳの出力電圧を設定。出力電圧と入力電圧は同一。	200V	出力電圧 200V	※		3.1	13
				220V	出力電圧 220V				
				230V	出力電圧 230V				
				240V	出力電圧 240V				
				208V	出力電圧 208V				
	ｼｭｳﾊｽｳ ﾄﾞｳｷﾊﾝｲ	周波数同期追従範囲 ★ *1	出力周波数の入力周波数に追従する範囲(%)を設定。	1%	±1%			3.2	14
				3%	±3%	※			
				5%	±5%				
	ｼｭﾂﾘｮｸ ｼｭｳﾊｽｳ	出力周波数 ★ *1	出力周波数を設定。	ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 1	自動選択1 (非同期運転なし)			3.3	15
				ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2	自動選択2 (非同期運転あり)	※			
				50Hz ｺﾃｲ	50Hz 固定				
				60Hz ｺﾃｲ	60Hz 固定				
	ﾃﾞﾝｱﾂﾃﾞﾝﾘｭｳ ﾋｮｳｼﾞ	電圧電流表示	計測表示などで表示される入出力電圧、電流を設定。	200V/200V(S) *3	200V/200V(S)	*2		3.4	16
				200V/100V	200V/100V				
				100V/200V	100V/200V				
				100V/100V	100V/100V				
				200V/200V	200V/200V				
ｲﾝﾀﾌｪｰｽ ｾｯﾃｲ インタフェース設定	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	インタフェース	外部インタフェース部のコネクタ使用時のインタフェースを設定。	ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ	スタンドアロン			3.5	17
				ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ	ワークステーション	※			
	ﾂｳｼﾝ ﾎﾞｰﾚｰﾄ	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカード、ワークステーション接続時の通信ボーレートを設定。	9600	9600bps	※		3.6	18
				4800	4800bps				
				2400	2400bps				
ﾄﾞｳｻ ｾｯﾃｲ 動作設定	ﾌｸﾃﾞﾝｼﾞ ﾄﾞｳｻ	復電時の動作	停電発生時、バッテリ放電終止によるＵＰＳ停止後、商用電源が復電した場合のＵＰＳの動作を設定。	ｼﾞﾄﾞｳﾌｯｷ	自動復帰	※		3.7	19
				ｼﾞｮｳｼﾞ ｷﾄﾞｳ	常時起動				
				ﾃｲｼ	停止				
				ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ>30%	充電率30%以上で起動				
				ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ>50%	充電率50%以上で起動				
				ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ>80%	充電率80%以上で起動				
	ﾌﾞｻﾞｰ ﾒｲﾄﾞｳ	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	ｽﾍﾞﾃﾒｲﾄﾞｳ	すべて			3.8	20
				ｸﾞﾙｰﾌﾟ #0	グループ 0	※			
				ｸﾞﾙｰﾌﾟ #1	グループ 1				
				ｸﾞﾙｰﾌﾟ #2	グループ 2				
				ﾒｲﾄﾞｳﾅｼ	停止				
	OFF ｿｳｻ	OFF 操作	ＵＰＳを停止する場合の本体操作パネル◎の OFF 操作を設定。	1 ﾋﾞｮｳ	1秒間押下でOFF	※		3.9	21
				3 ﾋﾞｮｳ	3秒間押下でOFF				
				ﾄｸｼｭｿｳｻ	特殊操作でOFF				
	ｶﾌｶｼﾞ ﾄﾞｳｻ	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への切換後の動作を設定。	BYP ｼﾞﾄﾞｳ ﾌｯｷ	バイパスから自動復帰			3.10	22
				ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｹｲｿﾞｸ	過負荷時バイパス給電	※			
				ｼｭﾂﾘｮｸ ﾃｲｼ	出力停止				
	OFF ｼﾞ ｷｭｳﾃﾞﾝ	OFF 時給電状態 ★ *1	ＵＰＳ停止時の給電状態を設定。	ｼｭﾂﾘｮｸ ﾃｲｼ	出力停止	※		3.11	23
				ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｷｭｳﾃﾞﾝ	バイパス給電				
	Vin ﾃｲｶｼﾞ BYP OUT	入力異常時のバイパス給電	入力異常時にバイパス給電をする／しないを設定。	ｷｭｳﾃﾞﾝ ｽﾙ	バイパス給電する	※		3.12	24
				ｷｭｳﾃﾞﾝ ｼﾅｲ	バイパス給電しない				
	ｹｲｺｼｮｳｼﾞ ｼﾝｺﾞｳ	軽故障時の転送信号	軽故障発生時に転送信号を送出する／しないを設定。	ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	送出する	※		3.13	25
				ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	送出しない				
	ｲｼﾞｮｳｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	装置異常の擬似転送信号送出	試験用の装置異常の転送信号を送出。	ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	送出する			3.14	26
				ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	送出しない	※			
	ﾊﾞｯﾃﾘ LV ｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	バッテリ LV の擬似転送信号送出	試験用のバッテリ電圧低下の転送信号を送出。	ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	送出する			3.15	27
				ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	送出しない	※			
ﾊﾞｯﾃﾘ ｾｯﾃｲ バッテリ設定	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｲｶ ﾀｲﾐﾝｸﾞ	バッテリ電圧低下タイミング *4	バッテリ電圧低下警告の発生タイミングを設定。	ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ	バッテリ電圧レベル検出	※		3.16	28
				ﾉｺﾘ 2 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間２分				
				ﾉｺﾘ 3 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間３分				
				ﾉｺﾘ 5 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間５分				
				ﾉｺﾘ 10 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間１０分				
	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ ｼﾞｶﾝ	バッテリテスト時間	バッテリテストの実行時間を設定。	*** ﾌﾝｶﾝ	***分間実行(任意値入力)	２分		3.17	29
	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ ｼｭｳｷ	バッテリテスト周期 *4	自動的に実施されるバッテリテストの期間(日数)を設定。	180 ﾆﾁｺﾞﾄ	180日で自動テスト	※		3.18	30
				90 ﾆﾁｺﾞﾄ	90日で自動テスト				
				30 ﾆﾁｺﾞﾄ	30日で自動テスト				
				ｼﾞﾄﾞｳﾃｽﾄ ｼﾅｲ	自動テストしない				

設定グループ	設定項目 表示	設定項目 内容		設定値 表示	設定値 内容	初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ 機能設定	ﾃｲﾃﾞﾝｼﾞ ｳﾝﾃﾝｼﾞｶﾝ	停電時運転時間	停電発生時、UPSがバックアップを開始してから出力を停止するまでの時間を設定。	ﾎｳﾃﾞﾝｼｭｳｼ ﾏﾃﾞ	放電終止まで	※		3.19	31
				10 ﾋﾞｮｳｺﾞ ﾃｲｼ	10秒後に出力停止				
				30 ﾋﾞｮｳｺﾞ ﾃｲｼ	30秒後に出力停止				
				1 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	1分後に出力停止				
				3 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	3分後に出力停止				
				5 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	5分後に出力停止				
				10 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	10分後に出力停止				
	RING ﾄﾞｳｻ	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	ｼｭﾂﾘｮｸ ｽﾙ	出力する			3.20	32
				ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ	出力しない	※			
	ｼｭﾂﾘｮｸﾃﾞﾝｱﾂﾁｮｳｾｲ	出力電圧調整	3.1項で設定した定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-5	5段階マイナス	*2		3.21	33
				-4	4段階マイナス				
				-3	3段階マイナス				
				-2	2段階マイナス				
				-1	1段階マイナス				
				0 *3	調整しない				
				+1	1段階プラス				
				+2	2段階プラス				
				+3	3段階プラス				
				+4	4段階プラス				
				+5	3段階プラス				
	EPO ﾆｭｳﾘｮｸ ﾛｼﾘ	EPO入力論理	EPOの入力論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.22	34
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ﾃｲﾃﾞﾝｼﾝｺﾞｳ ﾛｼﾘ	停電信号論理	CARD I/FおよびSIGNAL I/Fの停電信号の論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.23	35
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ﾊﾞｯﾃﾘ LV ｼﾝｺﾞｳ ﾛｼﾘ	バッテリLV信号論理	CARD I/FおよびSIGNAL I/Fのバッテリ電圧低下信号の論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.24	36
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ ｼﾝｺﾞｳ ﾛｼﾘ	インバータ信号論理	SIGNAL I/Fのインバータ出力信号の論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.25	37
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｼﾝｺﾞｳ ﾛｼﾘ	バイパス信号論理	SIGNAL I/Fのバイパス出力信号の論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.26	38
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ｲｼﾞｮｳｼﾝｺﾞｳ ﾛｼﾘ	装置異常信号論理	SIGNAL I/Fの装置異常信号の論理を設定。	ｾｲ ﾛｼﾘ	正論理	※		3.27	39
				ﾌ ﾛｼﾘ	負論理				
	ﾘﾓｰﾄｽｲｯﾁ ﾆｭｳﾘｮｸ	リモートスイッチ入力	リモートスイッチの入力方式を設定	ON/OFF	リモートON/OFF 両方使用	※		3.28	40
				ON ﾉﾐ (ｾｲ)	リモートONのみ使用 （正論理）				
				ON ﾉﾐ (ﾌ)	リモートONのみ使用 （負論理）				
	ﾌｸｹﾞﾝｼﾞ ｶｸﾆﾝｼﾞｶﾝ	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	ｿｸｼﾞ	0秒	※		3.29	41
				10 ﾋﾞｮｳｶﾝ	10秒				
				30 ﾋﾞｮｳｶﾝ	30秒				
				60 ﾋﾞｮｳｶﾝ	60秒				
	ｴｱﾌｨﾙﾀ	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する／しないを設定。	ｼﾖｳ ｽﾙ	使用する			3.30	42
				ｼﾖｳ ｼﾅｲ	使用しない	※			
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ システム設定	ﾋﾂﾞｹ / ｼﾞｺｸ	月日／時刻	UPSの時刻を設定。	ﾋﾂﾞｹ YY/MM/DD ｼﾞｺｸ HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時/分/秒			3.31	43
	ﾋｮｳｼﾞ ｹﾞﾝｺﾞ	表示言語	LCDパネルに表示される言語を設定。	ｴｲｺﾞ	英語	※		3.32	44
				ﾆﾎﾝｺﾞ	日本語				
	ChA ｾﾂｿﾞｸﾀﾞｲｽｳ	ChA システム並列接続台数設定	UPSシステムを構成するUPSユニットの接続台数を設定。	1 *3	ユニット1台	*2		3.33	45
				2	ユニット2台接続				
				3	ユニット3台接続				
				4	ユニット4台接続				
				5	ユニット5台接続				
				6	ユニット6台接続				
				7	ユニット7台接続				
				8	ユニット8台接続				
	ChB ｾﾂｿﾞｸﾀﾞｲｽｳ	ChB システム並列接続台数設定	設定変更しないでください。	1	設定変更しないでください。	※			
				2					
				3					
				4					
				5					
				6					
				7					
				8					
	ﾍｲﾚﾂ ｼﾞｮｳﾁｮｳ	UPSの運転システム	冗長運転/単機・並列運転の設定。	N+1 ｼﾞｮｳﾁｮｳ	冗長運転			3.34	46
				ﾀﾝｷ/ﾍｲﾚﾂ	単機、並列運転	※			
ｾｯﾃｲｲﾁ ｼｮｷｶ 設定値 初期化	ｾｯﾃｲｲﾁ ｼｮｷｶ	工場出荷時の状態にリセット。		ー	ー	ー		3.35	47

ご注意

*1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。
設定変更をした場合は「3.36 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。
UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

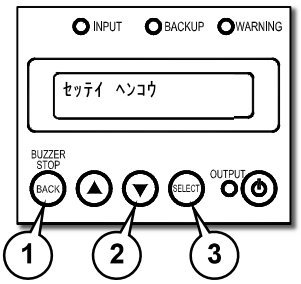
*2. UPS型番により初期設定は異なります。工場出荷時に設定されています。

*3.「ｾｯﾃｲｲﾁ ｼｮｷｶ」で設定値をリセットした場合は、初期設定ではなく、「*3」の設定値になります。

*4. UPS管理ソフトまたはLANインタフェースカードを使用している場合、UPSでは設定できません。UPS管理ソフトまたはLANインタフェースカードで設定してください。

3.1　出力電圧を設定する

ＵＰＳの出力電圧を設定します。



① BACK を押してLCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

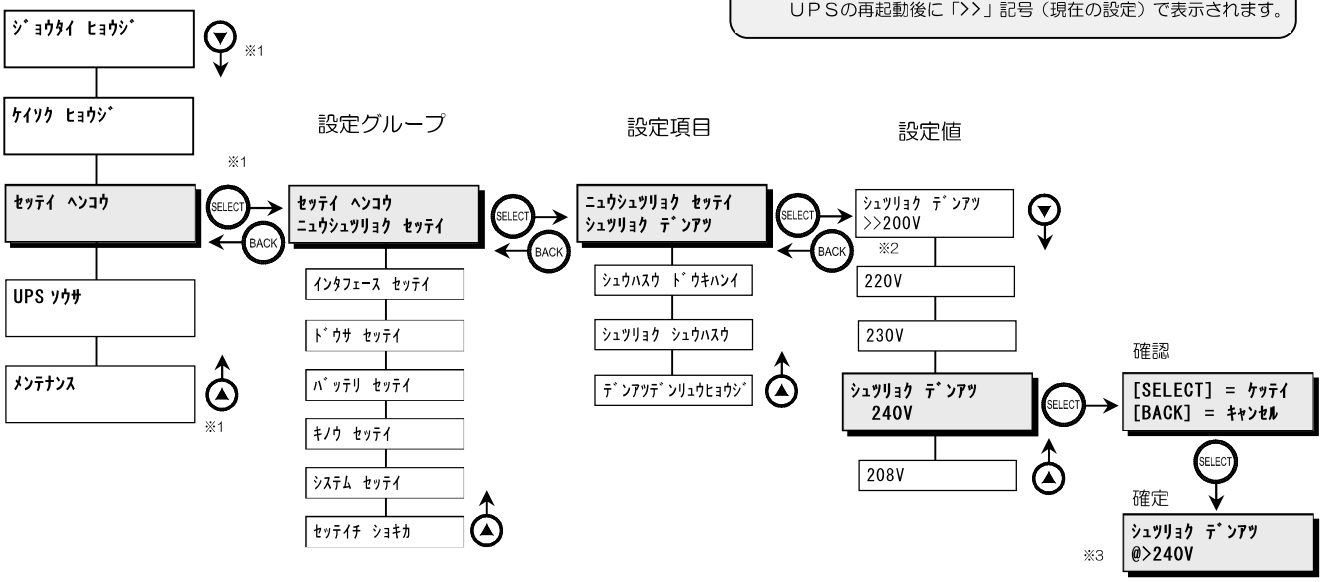
⑥ BACK を押して戻ります。

例：出力電圧を「240V」に設定変更する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されているときは、設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

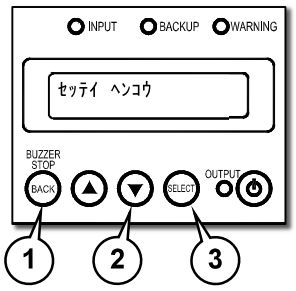
	設定値	詳細
初期設定	200V	ＵＰＳの出力電圧を設定します。 入力電圧と出力電圧は同一です。 入力電圧を確認し、同じ電圧を選択してください。
	220V	
	230V	
	240V	
	208V	

W1 タイプ、W2 タイプをご使用の場合は設定値を変更しないでください。

誤って設定を変更してしまった場合は、上記の手順で「200V」に設定し、ＵＰＳを再起動してください。

3.2　周波数同期追従範囲を設定する

出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。



① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

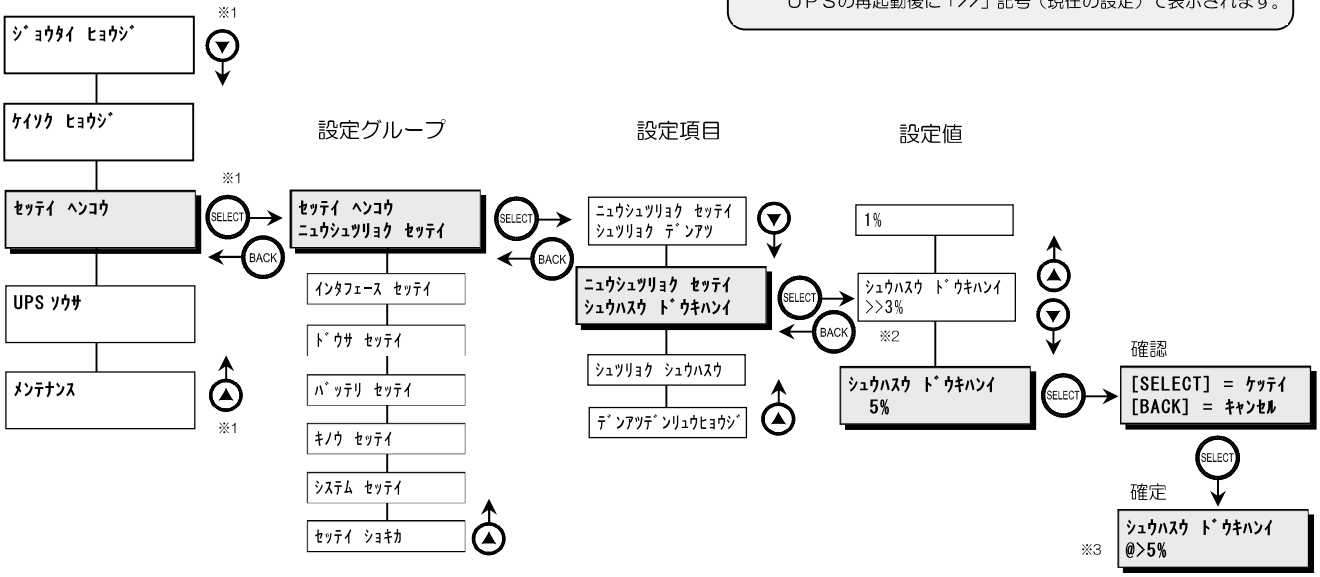
⑥ BACK を押して戻ります。

例：周波数同期追従範囲を「5%」に設定変更する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されているときは、設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

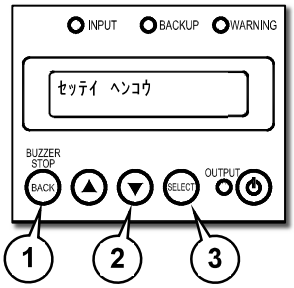
設定値	詳細
1 %	入力周波数の ±1%
3 %	入力周波数の ±3%
5 %	入力周波数の ±5%

初期設定

- 数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合は非同期運転に切り換わりやすくなります。
エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」を選択してください。
非同期運転時にバイパス運転に切り換わる場合は、瞬断切換となります。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で「50Hz」、「60Hz」または「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ」のいずれに設定した場合も、インバータは入力周波数が設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲内にないと起動しません。

3.3 出力周波数を設定する

出力周波数は出荷時に「自動選択 2」に設定されています。特殊な電源環境で使用する場合以外は、設定を変更しないでください。
誤って設定を変更してしまった場合は下記の手順で「自動選択 2」に設定してください。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

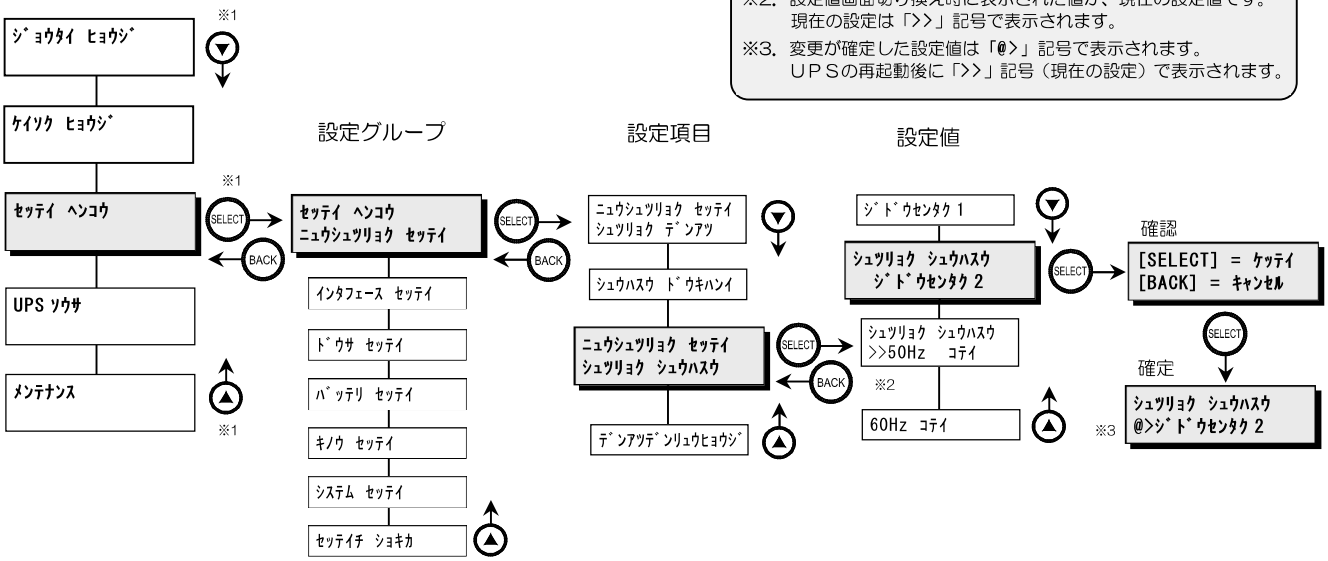
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：出力周波数を「自動選択 2」に設定変更する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。
ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細	
	ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 1	自動選択 1 非同期運転：なし	入力周波数に合わせて自動的に設定されます。 「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 1」に設定した場合「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した追従範囲を超えるとバッテリ運転になります。	
初期設定	ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2	自動選択 2 非同期運転：あり	入力周波数に合わせて自動的に設定されます。 「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2」に設定した場合「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した追従範囲を超えると非同期運転になります。設定された周波数の±8%を超えるとバッテリ運転に切り換わります。	
	50Hz	出力周波数を 50Hz に固定	「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、入力周波数とは同期せず、設定した周波数が出力されます。この場合の入力周波数許容範囲は 40Hz～120Hz です。この範囲を超えると、バッテリ運転に切り換わります。 ＵＰＳ起動時、およびバッテリ運転からの復帰時は、「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2」に設定した場合と同じ動作になります。	「50Hz」または「60Hz」に設定する場合は、当社までご相談ください。
	60Hz	出力周波数を 60Hz に固定		

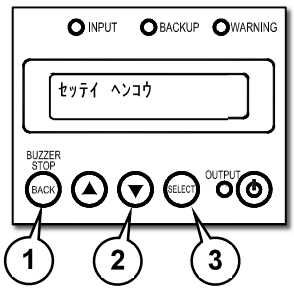
- 上記のいずれの設定値に設定した場合も、「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で、周波数同期範囲を±1%,±3%,±5%から選択することができます。インバータは入力周波数が周波数同期追従範囲で設定した値の範囲内にないと起動しません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、「4.1 バッテリテストをする」の操作はできません。また、「3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する」で定期的に自動でバッテリテストが実施されるように設定しても、実施されません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス回路に切り換わらないため、過負荷などの保護動作時は出力が停止します。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されているときは、設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

3.4　計測情報に表示される電圧を設定する

計測情報で表示される入出力電圧の値を設定します。
お客様で集電ユニットを接続した場合に、集電ユニットの仕様に合わせて設定値を変更してください。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

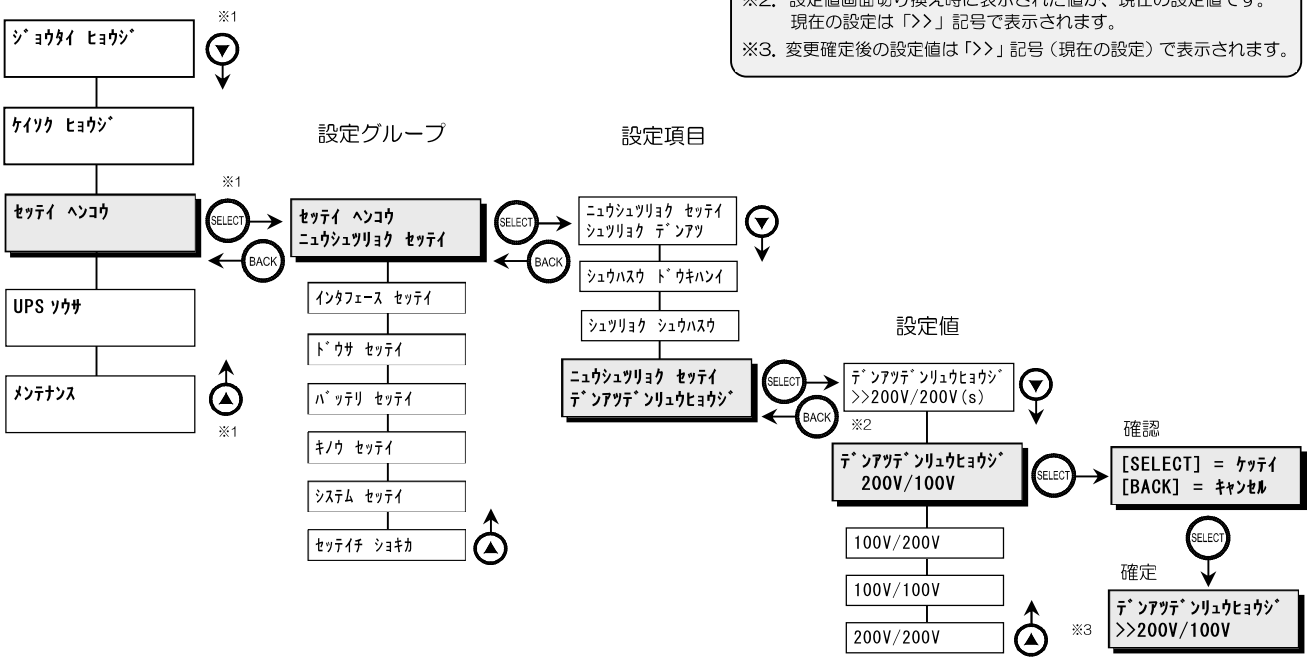
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：表示電圧を「200V/100V」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



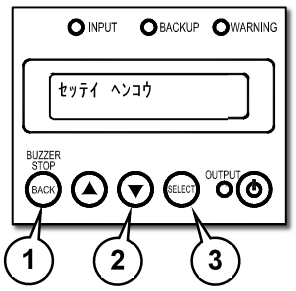
設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
200V/200V(S)	定格入力電圧 200V 系、出力電圧 200V 系の場合	単機タイプ、S2 タイプの場合の初期設定。 電圧が 200V, 220V, 230V, 240V, 208V のいずれに設定されている場合も、この設定値になります。 単機タイプ、S2 タイプの場合は、設定を変更しないでください。
200V/100V	定格入力電圧 200V、出力電圧 100V の場合	W1, W2, Z タイプの場合、初期設定はＵＰＳの型番により異なります。 集電ユニットの端子台の設定を変更した場合は、仕様に合わせて設定値を変更してください。 端子台の設定と設定値についての詳細は、A11N 取扱説明書をご覧ください。
100V/200V	定格入力電圧 100V、出力電圧 200V の場合	
100V/100V	定格入力電圧 100V、出力電圧 100V の場合	
200V/200V	定格入力電圧 200V、出力電圧 200V の場合	

ＵＰＳ計測情報表示などで LCD 画面に表示される電圧、電流値の設定です。電圧値の設定を変更すると電流も変更されます。
設定値とＵＰＳの定格電圧が異なると、計測情報が正しく表示されません。
「3.35 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「200V/200V(S)」になります。

3.5 インタフェースを設定する

ＵＰＳ背面の PC I/F、CARD I/F、REMOTE/EPO 端子を使用する場合のインタフェースを設定します。
詳細は、ＵＰＳ取扱説明書「5. ＵＰＳを使う・・応用編」をご覧ください。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

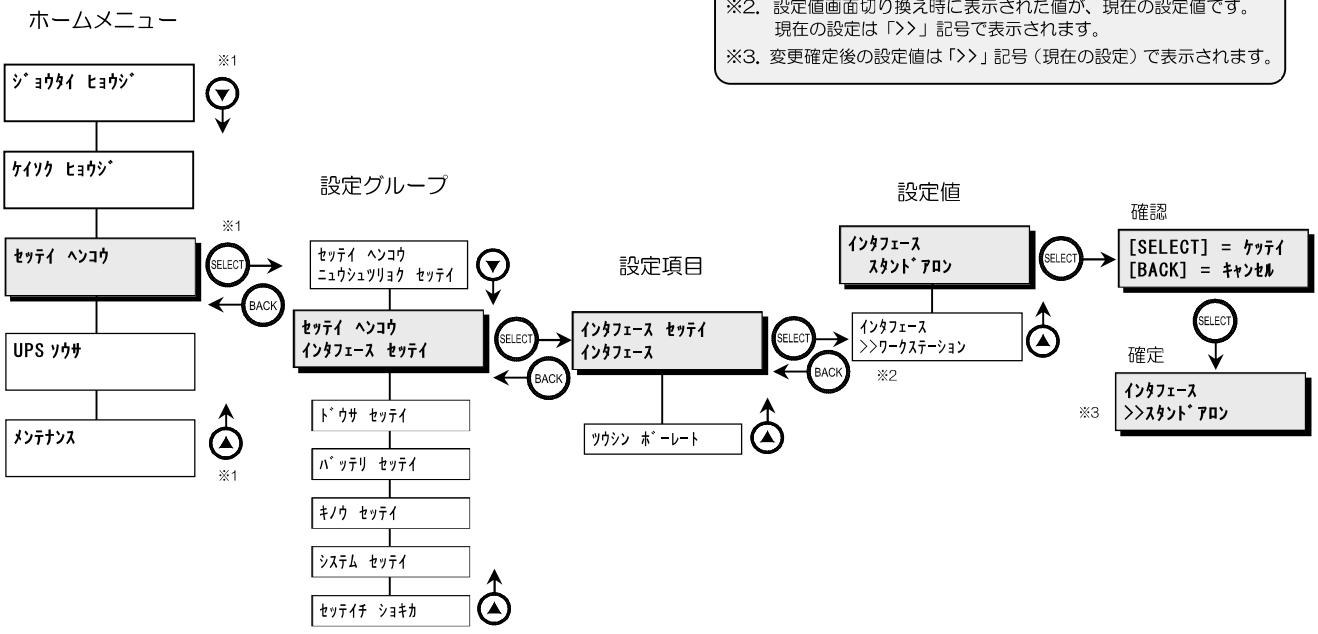
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：インタフェースを「スタンドアロン」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ	下記を使用する場合に選択。 ・リモートスイッチによるＵＰＳのリモート ON/OFF 機能
初期設定 ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ	下記を使用する場合に選択。 ・ＵＰＳ管理ソフト ・ＬＡＮインタフェースカード ・リモートスイッチによるコンピュータのワンタッチシャットダウン機能

接点インタフェースカードは、「ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ」または「ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ」のどちらに設定されていても使用できます。

3.6 通信ボーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、ＬＡＮインタフェースカードなどを接続する場合の通信ボーレートを設定します。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

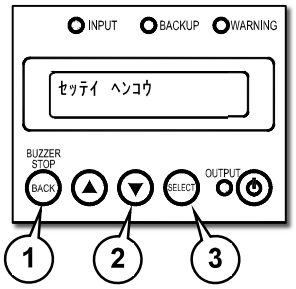
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

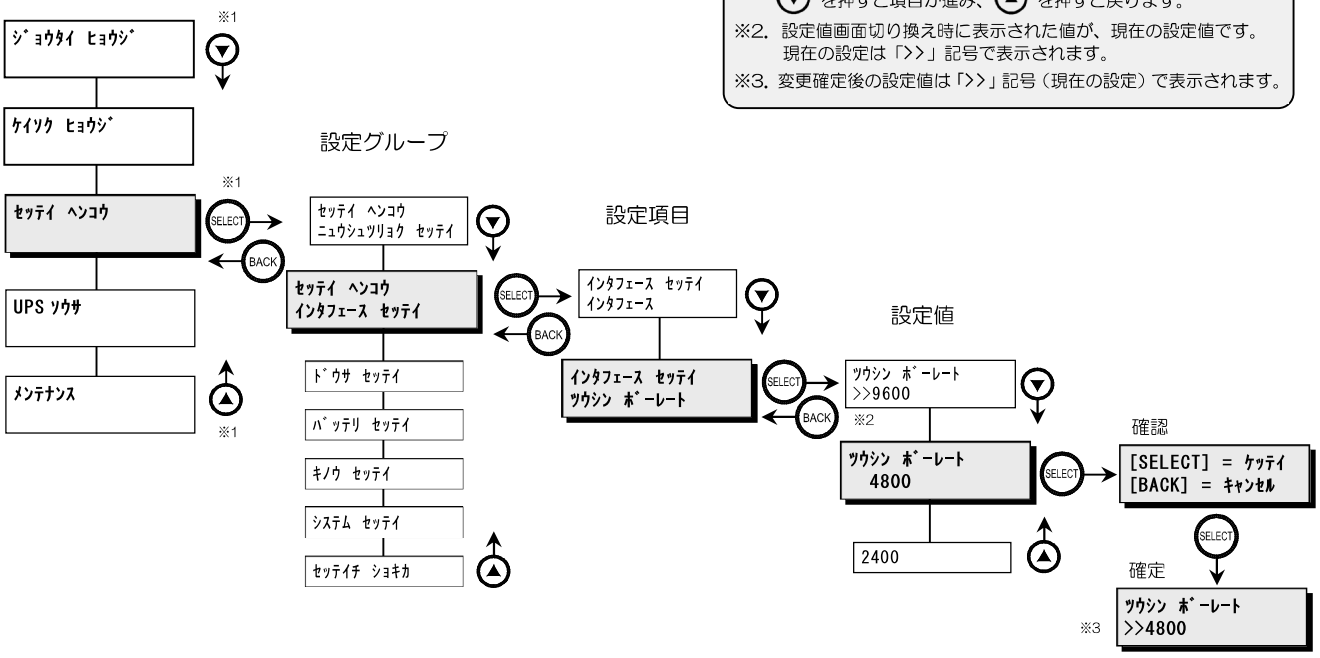
⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：通信ボーレートを 「4800」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

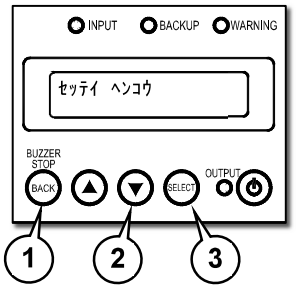
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	9600	通信ボーレート 9600 bps
	4800	通信ボーレート 4800 bps
	2400	通信ボーレート 2400 bps

LAN インタフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

3.7　復電時の動作を設定する

停電発生時、バッテリ放電終止によりＵＰＳが停止した後、商用電源が復帰した場合のＵＰＳの動作を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

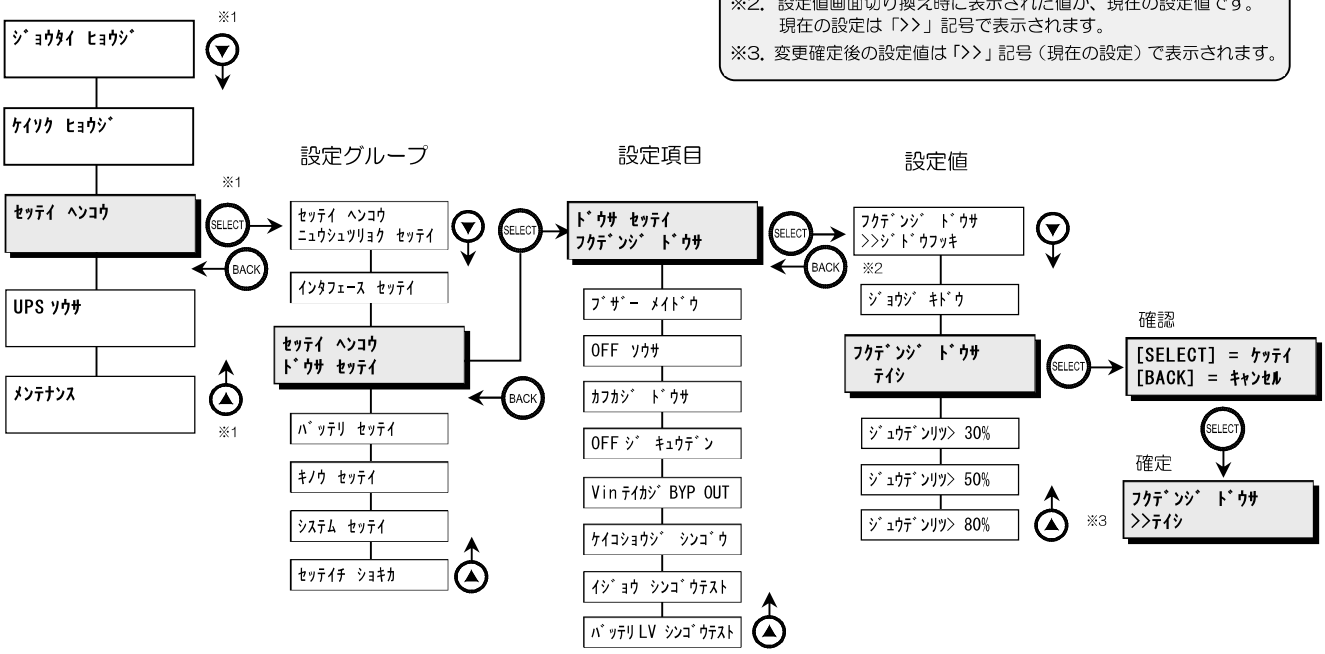
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：復電時の動作を「停止」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｼﾞﾄﾞｳﾌｯｷ	自動復帰	商用電源が復帰した場合、ＵＰＳは自動的に起動します。
	ｼﾞｮｳｼﾞ ｷﾄﾞｳ	常時起動	停電後の復電、初起動時の入力電源受電などの条件にかかわらず、 入力電源を受電するとＵＰＳは自動的に起動します。
	ﾃｲｼ	停止	商用電源が復帰しても、ＵＰＳは停止したままです。 ただし、「3.11」で「ﾊﾞｲﾊﾟｽｷｭｳﾃﾞﾝ」が選択されている場合は、バイパス給電となります
	ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ> 30%	充電率 30%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 30%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。
	ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ> 50%	充電率 50%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 50%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。
	ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾘﾂ> 80%	充電率 80%以上	商用電源が復帰した場合、バッテリが 80%以上に充電されると、自動的にＵＰＳが起動します。

ＵＰＳ管理ソフトを使用している場合は、ＵＰＳ管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、ＵＰＳ管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD 画面表示右側の「▼▲」が表示されず、▼ または ▲ を押しても設定値は変わりません。SELECT または BACK を押して戻ってください。

3.8 ブザー音が鳴る条件を設定する

ブザー音が鳴る条件を設定します。

① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

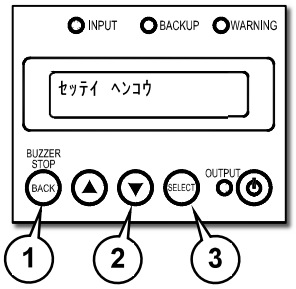
② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 セｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

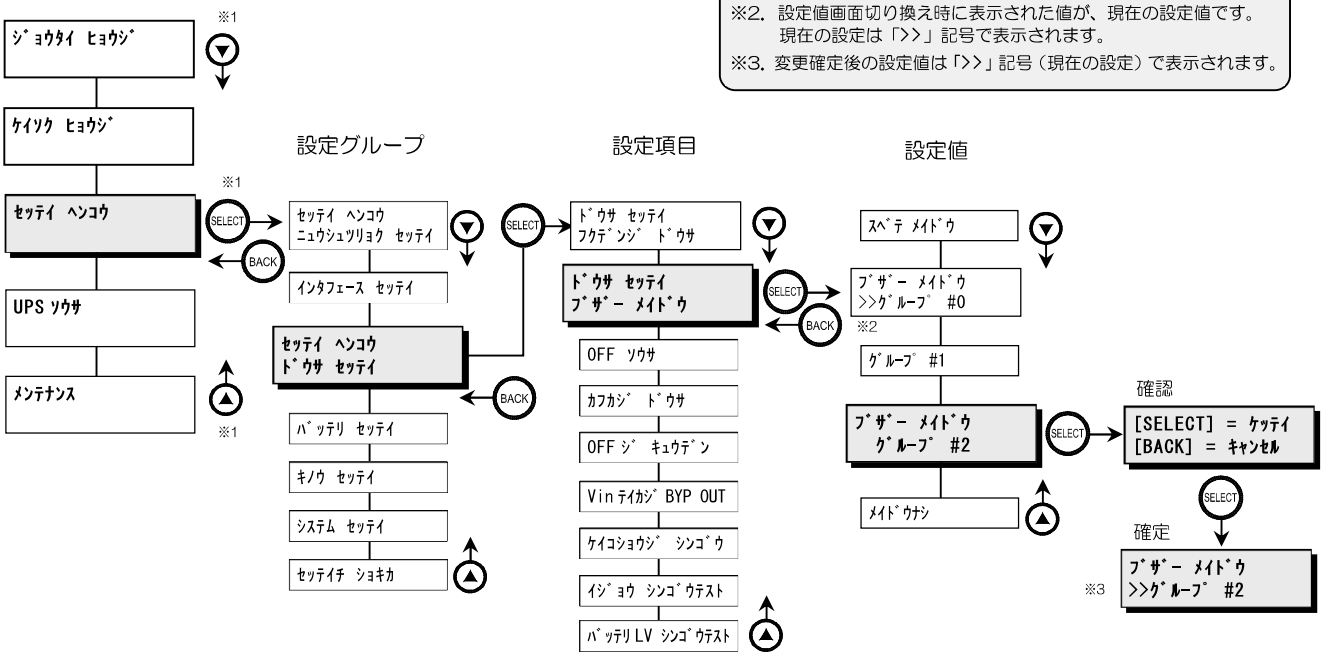
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：ブザーが鳴る条件を「グループ #2」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

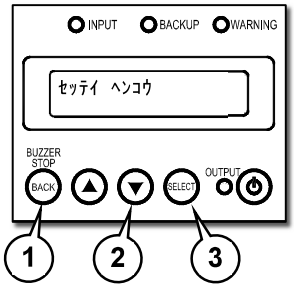
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		ブザー音が鳴る条件
ｽﾍﾟﾃ ﾒｲﾄﾞｳ	すべての条件で鳴動	・キークリック音 ・重故障発生時 ・バッテリ電圧低下時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・過負荷時（バイパス運転中） ・UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 ・バッテリ運転中 ・自動、手動、UPS管理ソフトによるバッテリテスト中 ・バッテリ電圧異常時 ・自動、手動によるバッテリテスト結果異常時
初期設定 ｸﾞﾙｰﾌﾟ #0	グループ 0	・キークリック音 ・重故障発生時 ・バッテリ電圧低下時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・過負荷時（バイパス運転中） ・UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 ・バッテリ運転中 ・手動によるバッテリテスト中 ・バッテリ電圧異常時 ・自動、手動によるバッテリテスト結果異常時
ｸﾞﾙｰﾌﾟ #1	グループ 1	・キークリック音 ・重故障発生時 ・バッテリ電圧低下時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時
ｸﾞﾙｰﾌﾟ #2	グループ 2	・キークリック音 ・重故障発生時 ・UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時
ﾒｲﾄﾞｳ ﾅｼ	鳴動なし	・キークリック音

3.9 ＵＰＳ本体操作パネル ⏻ のOFF操作を設定する

ＵＰＳの本体操作パネルの ⏻ ボタンを押してＵＰＳを OFF にする場合の操作方法を設定します。この設定は、不用意な接触、または誤操作によりＵＰＳを停止してしまうことを防止するための機能です。
本体操作パネルの ⏻ ボタンの「OFF 操作」にのみ有効で「ON 操作」は変更されません。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

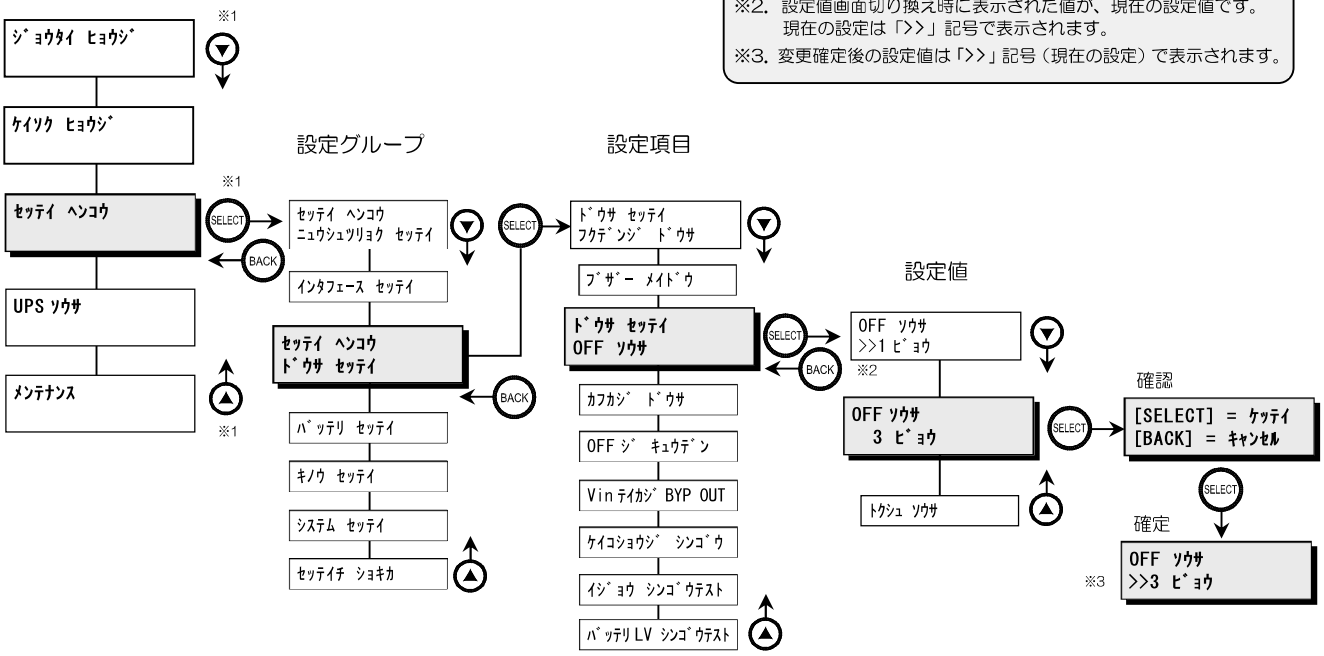
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：「3 秒」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

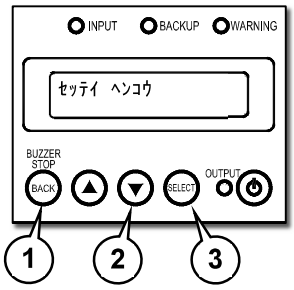
※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定 1 ﾋﾞｮｳ	1 秒	⏻ ボタンを１秒間押して OFF。
3 ﾋﾞｮｳ	３ 秒	⏻ ボタンを３秒間押して OFF。
ﾄｸｼｭｿｳｻ	特殊操作	⏻ ボタンを３秒間押しブザーが鳴ったら放します。 ブザーが鳴っている間に、⏻ ボタンを３秒間押します。 以上の手順で OFF。

3.10 過負荷時の動作を設定する

過負荷によりバイパス給電へ切り換わった後にUPS給電に戻るための条件を設定します。



① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

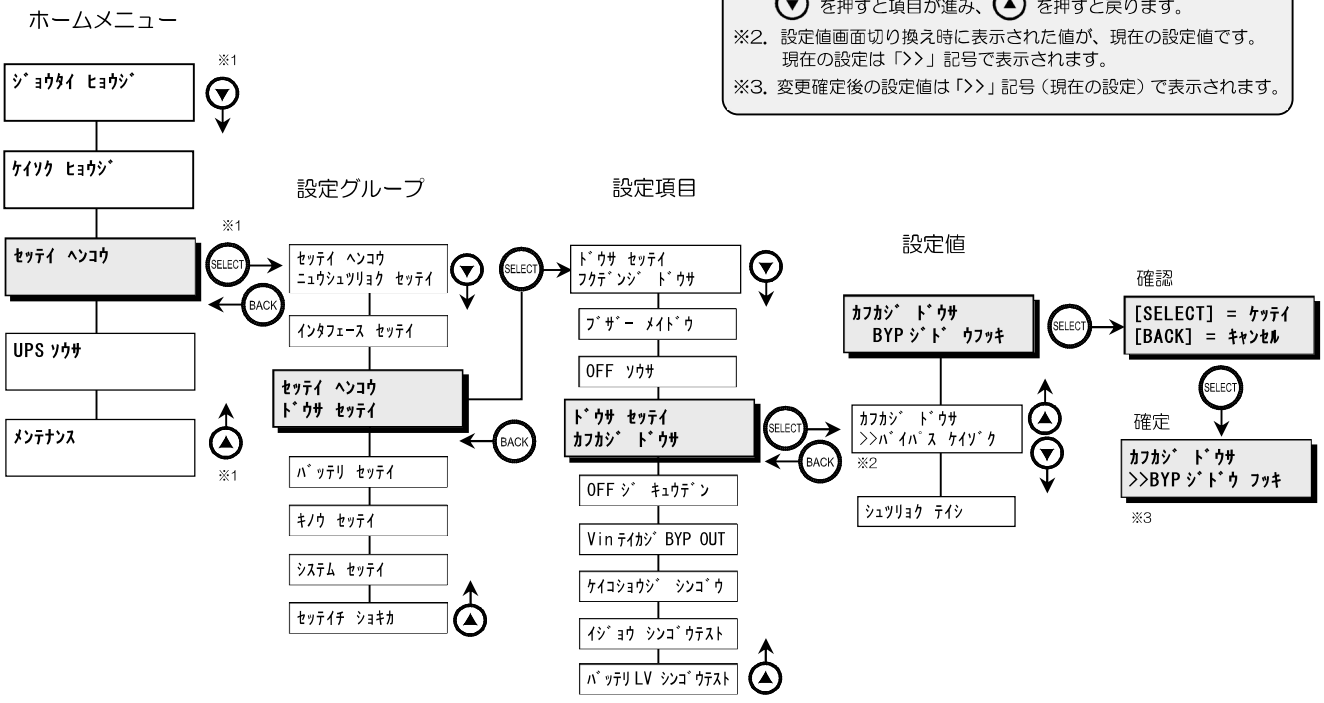
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：「バイパスから自動復帰」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
	BYP ｼﾞﾄﾞｳ ﾌｯｷ	バイパスから自動復帰	過負荷によりバイパス給電に切り換わった後、一定時間で自動的にUPS給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定	ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｹｲｿﾞｸ	バイパス給電継続	過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。 過負荷状態が解消されるとUPS給電に切り換わります。 バイパス給電に切り換わったときの商用電源の電圧値により、UPS給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。
	ｼｭﾂﾘｮｸ ﾃｲｼ	出力停止	この設定値には設定しないでください。

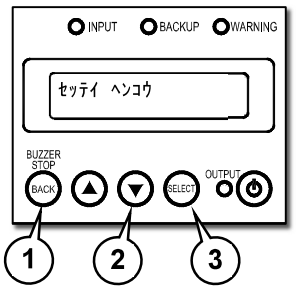
- 「BYP ｼﾞﾄﾞｳ ﾌｯｷ」または「ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｹｲｿﾞｸ」のどちらを設定した場合も、UPSが非同期運転中（入力周波数が「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲外の場合）はバイパス給電からUPS給電に切り換わりません。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2」に設定した場合の非同期運転中、バイパス給電への切り換えは、瞬断切り換えとなります。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス給電に切り換わらないため、過負荷時は出力が停止します。

3.11 ⏻ OFF 時※のＵＰＳ給電状態を設定する

⏻ ボタンのOFF 操作によりＵＰＳを停止した場合のＵＰＳの給電状態を設定します。

※ ⏻ OFF 時とは・・

この場合の OFF 時とはＵＰＳが下記の状態を指します。
- LCD パネルの ⏻ ボタンを押し「INV ﾃｲｼ」の操作をしてＵＰＳを停止。
- LCD 画面に「ｽﾀﾝﾊﾞｲ」または「ﾊﾞｲﾊﾟｽ」が表示、【INPUT(緑)】が点灯。
- ＵＰＳの MAIN MCCB は「ON」。



① BACK を押してLCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

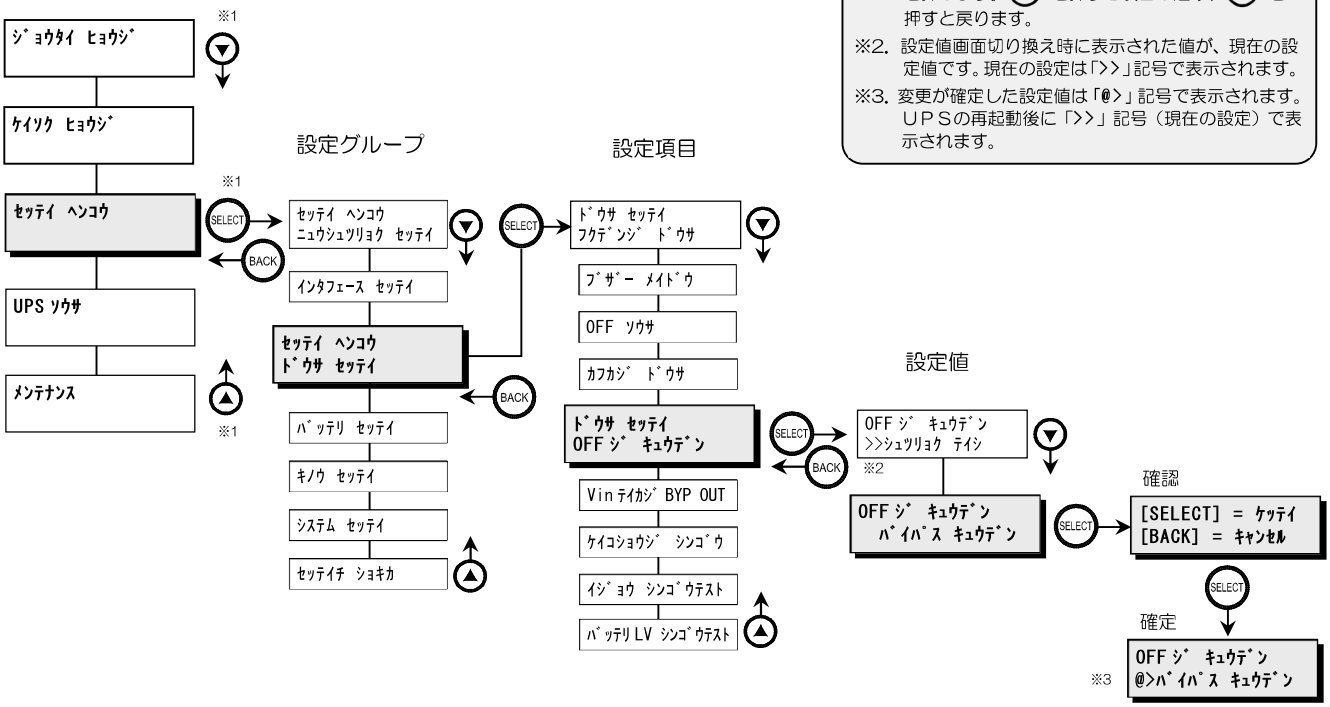
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：OFF 時の給電状態を「バイパス給電」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。ＵＰＳの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- ＵＰＳ状態表示に「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されているときは、設定変更後にＵＰＳが再起動されていない状態です。「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｼｭﾂﾘｮｸﾃｲｼ	出力停止	ＵＰＳは停止し、電力は供給されません。
	ﾊﾞｲﾊﾟｽ ｷｭｳﾃﾞﾝ	バイパス給電	バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

3.12　入力異常時にバイパス給電を する／しない を設定する

入力異常★1 が発生している場合に、ＵＰＳが下記の状態★2 になったとき、ＵＰＳがバイパス給電をするか、しないかを設定します。

★ご注意

★1. 入力異常とは、つぎの２つの状態です。
- 入力電圧低下
- 入力周波数異常

★2. 下記の状態とは、つぎの３つの状態です。
- 過負荷
- ＵＰＳ故障
- バッテリ放電終止

① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

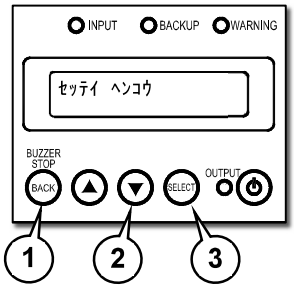
② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

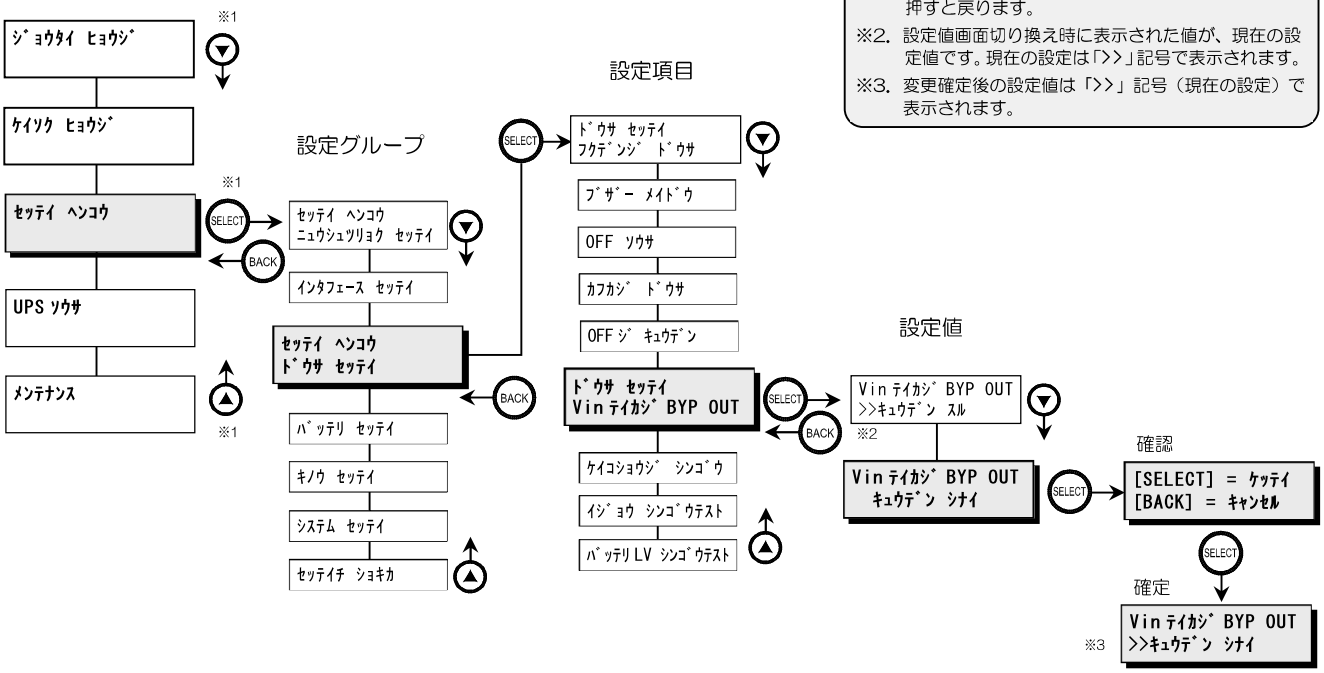
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：入力異常時「バイパス給電しない」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｷｭｳﾃﾞﾝ ｽﾙ	給電する	入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合、 バイパス給電に切り換わり給電が継続します。
	ｷｭｳﾃﾞﾝ ｼﾅｲ	給電しない	入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合は、 バイパス給電に切り換わりません。 この設定値に設定した場合、バイパス給電中に入力電圧低下、または 入力周波数異常が発生したときは、電力供給が停止します。

入力過電圧はこの場合の入力異常に含まれません。
入力過電圧の場合は、「給電する／給電しない」のどちらに設定されていても、バイパス給電に切り換わりません。
「給電する」に設定されている場合でも、入力電圧がＵＰＳの起動電圧（100V）を下回った場合は、給電が停止します。

3.13 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する

軽故障が発生したとき、「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出するか、しないかを設定します。

① BACK を押してLCD画面を表示させます。

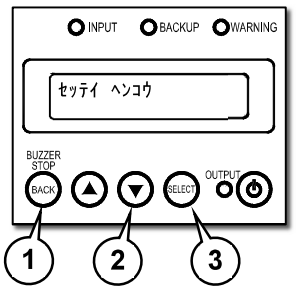
② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

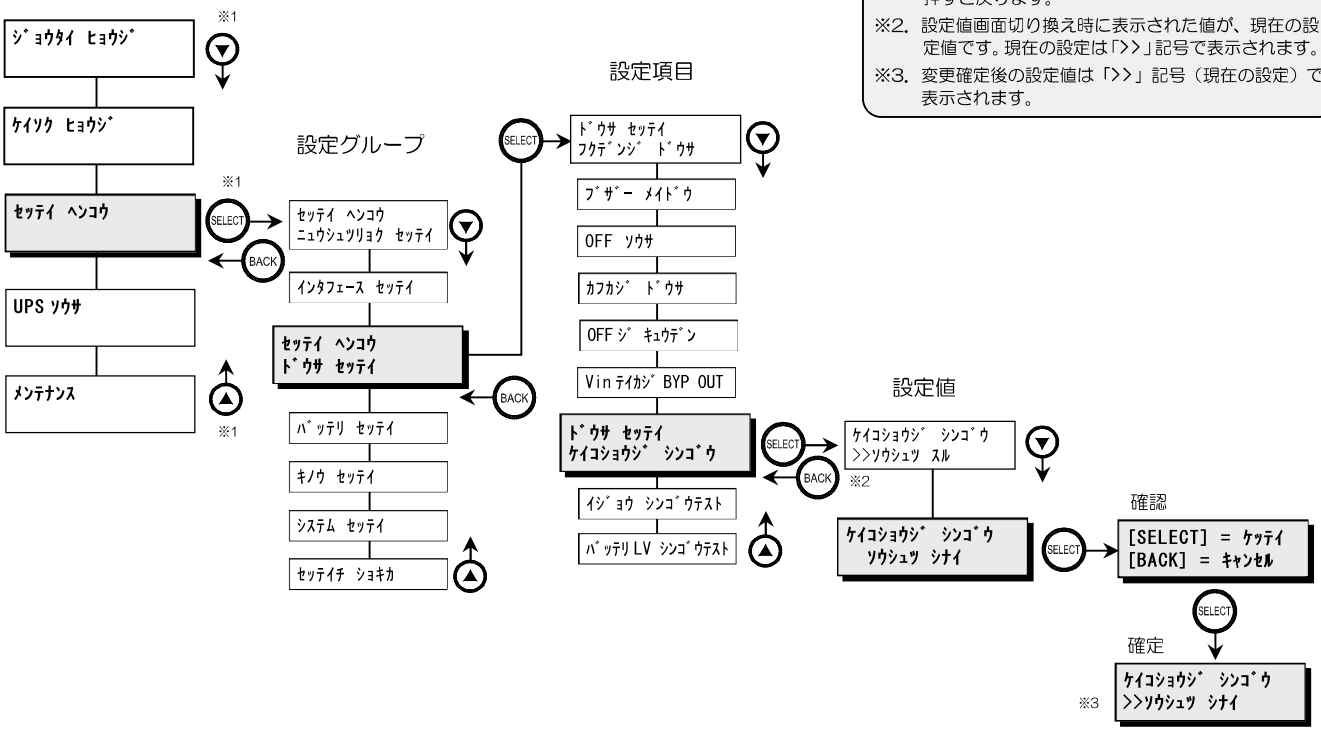
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：軽故障時、装置異常転送信号を「送出しない」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	信号を送出する	「SIGNAL I/F」コネクタから送出される転送信号の「装置異常」に軽故障が含まれ、軽故障発生時に転送信号が送出されます。 重故障／軽故障の判別はできません。
	ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	信号を送出しない	軽故障発生時、「SIGNAL I/F」コネクタの「装置異常」信号は送出されません。

3.14　試験用の「装置異常」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

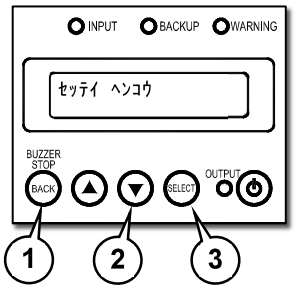
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

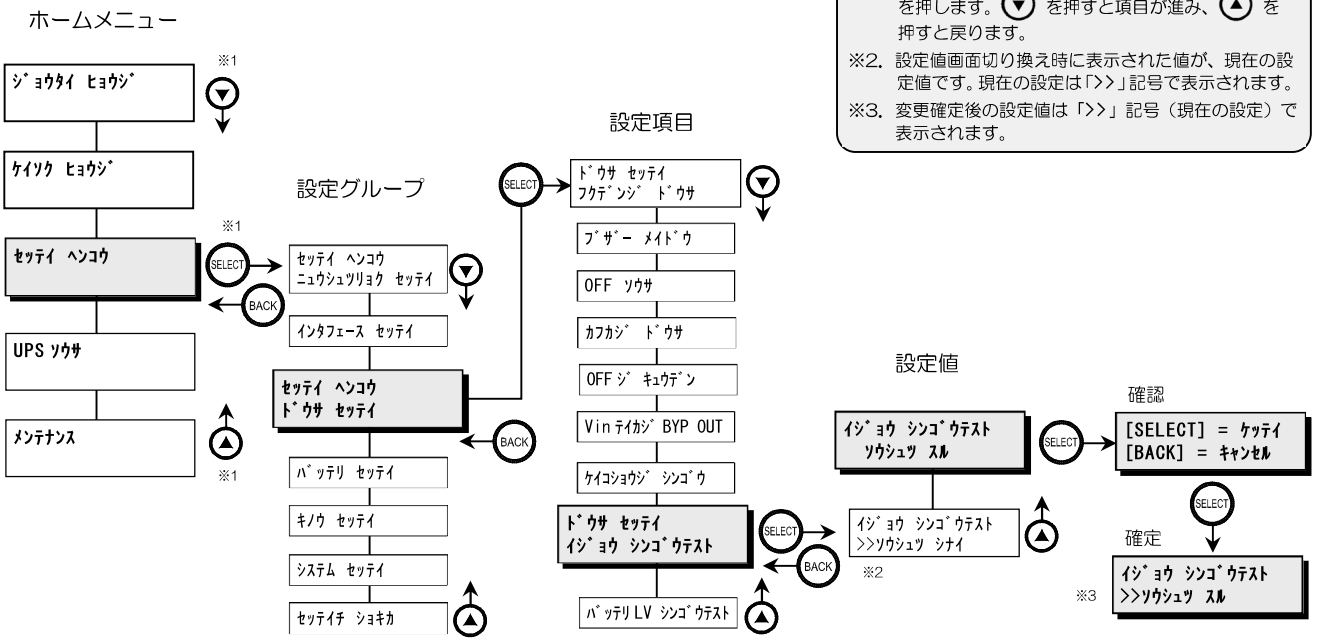
④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：試験用の「装置異常」転送信号を「送出する」場合



ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	信号を送出する	外部インタフェース部の「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「装置異常」信号が送出されます。ＵＰＳ管理ソフトまたは LAN インタフェースカードを使用している場合は、「重故障」が通知されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ」に設定してください。 「3.27 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する」で出力される信号の論理を設定することができます。
初期設定 ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	信号を送出しない	信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ」に設定しても、ＵＰＳを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ」に戻ります。

3.15　試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから「バッテリ電圧低下」転送信号を送出します。
作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

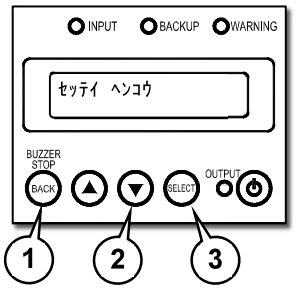
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

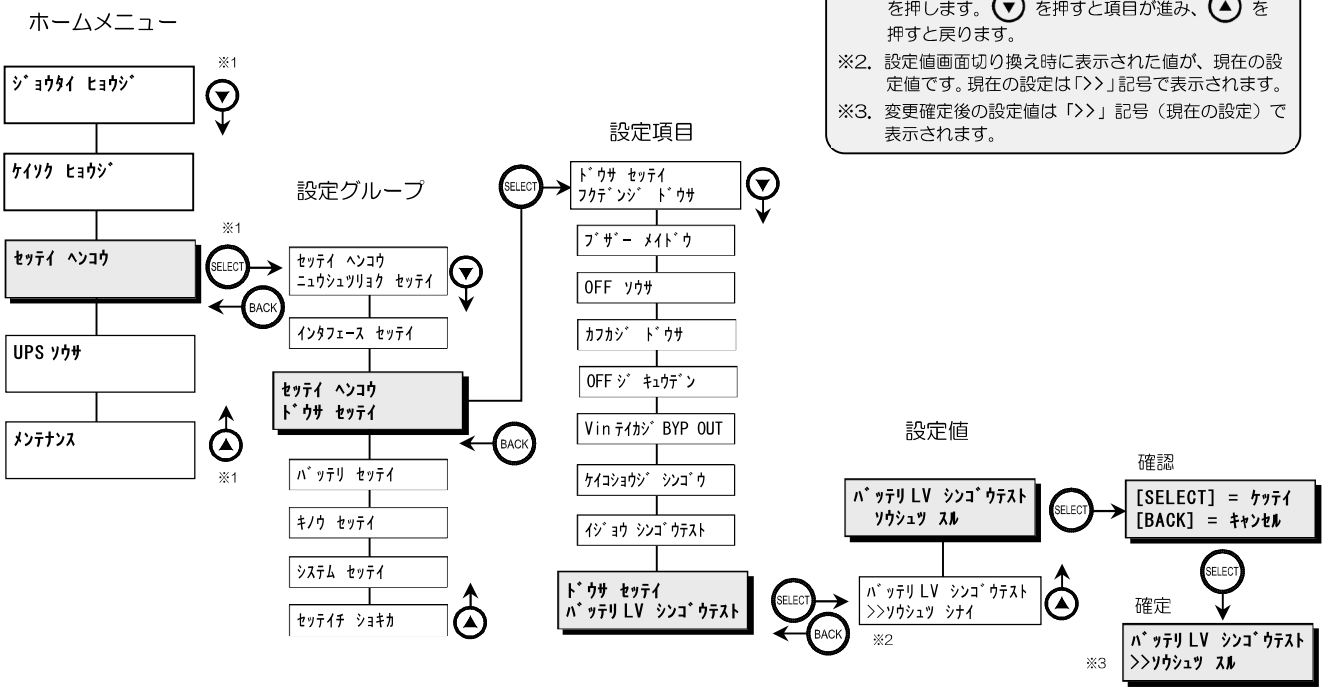
④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を「送出する」場合



ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

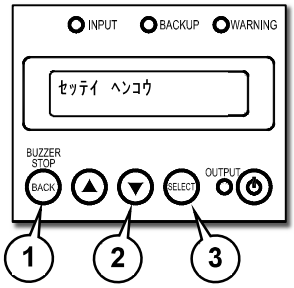
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
	ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ	信号を送出する	外部インタフェース部の「CARD I/F」および「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「バッテリ電圧低下」信号が送出されます。 ＵＰＳ管理ソフトまたは LAN インタフェースカードを使用している場合は、「バッテリ電圧低下」が通知されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ」に設定してください。 「3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する」で、出力される信号の論理を設定することができます。
初期設定	ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ	信号を送出しない	信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ」に設定しても、ＵＰＳを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ｿｳｼｭﾂ ｼﾅｲ」に戻ります。

3.16 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する

バッテリ電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。
ＵＰＳ管理ソフトをご使用の場合、この項目はＵＰＳで設定することができません。ＵＰＳ管理ソフトで設定してください。詳細は、ＵＰＳ管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。



① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

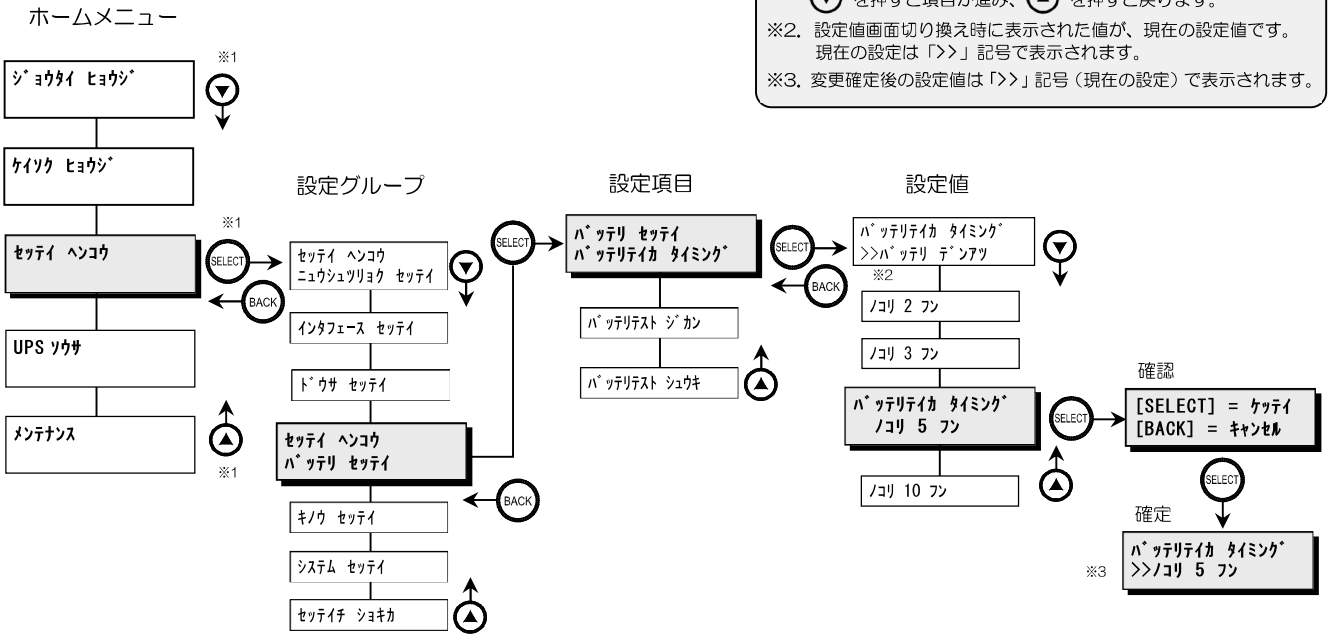
④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

例：警告発生のタイミングを「残り５分」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



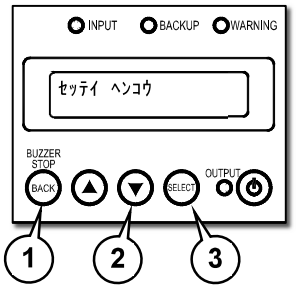
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細		
初期設定	ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ	バッテリ電圧低下レベルを検出した時点で警告：LCD 画面「ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ」表示、ブザー音「ピピピピピ・・」が発生します。		
	ﾉｺﾘ 2 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間が 2 分で警告が発生します。	設定した電圧低下レベルを検出した時点で、警告：LCD 画面「ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ」表示、ブザー音「ピピピピピ・・」が発生します。値（分）または（%）は目安です。「7. 計測情報表示について」をご覧ください。	標準バッテリ仕様（5 分、10 分バックアップ仕様）以外のＵＰＳを使用している場合、および負荷率が 30%以下の状態の場合は、この設定値には設定しないでください。
	ﾉｺﾘ 3 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間が 3 分で警告が発生します。		
	ﾉｺﾘ 5 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間が 5 分で警告が発生します。		
	ﾉｺﾘ 10 ﾌﾝ	バッテリ残保持時間が 10 分で警告が発生します。		

- 「3.8 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「ﾃｲｼ」または「ｸﾞﾙｰﾌﾟ #2」に設定している場合は、ブザーは鳴りません。
- ＵＰＳ管理ソフトを使用している場合は、ＵＰＳ管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、ＵＰＳ管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD 画面表示右側の「▼▲」が表示されず、(▼) または (▲) を押しても設定値は変わりません。(SELECT) または (BACK) を押して戻ってください。

3.17　バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

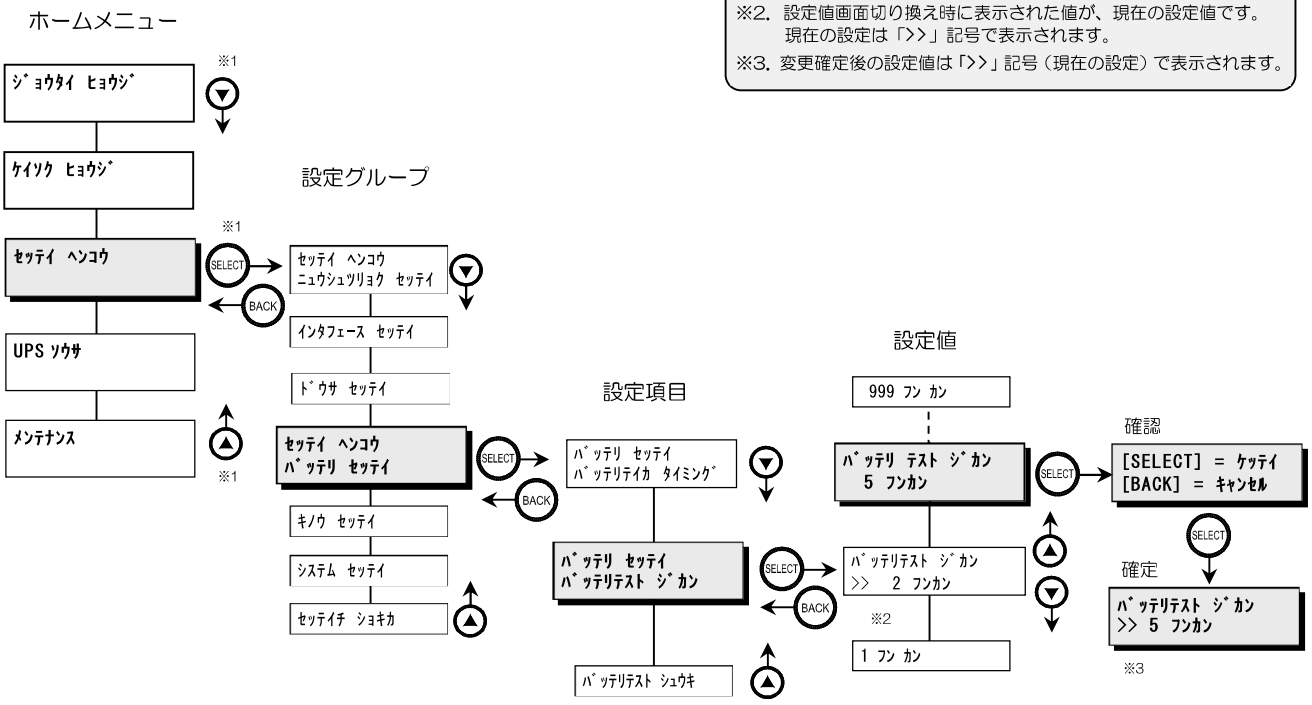
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：バッテリテスト時間を「5 分」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
1 ～ 999 ﾌﾝｶﾝ	1～999 分間	初期設定：2 分間 1 分単位で任意の値を設定します。 ＵＰＳに接続している負荷容量とバッテリ容量に応じてバッテリテスト実行時間を設定してください。 設定した時間、バッテリテストが実行されます。

3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する

自動的に実施されるバッテリテストの周期（日数）を設定します。設定した日数が経過すると自動的にバッテリテストが実施されます。
ＵＰＳ管理ソフトをご使用の場合、この項目はＵＰＳで設定することができません。ＵＰＳ管理ソフトで設定してください。詳細は、ＵＰＳ管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。

① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

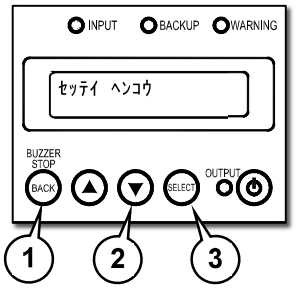
② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

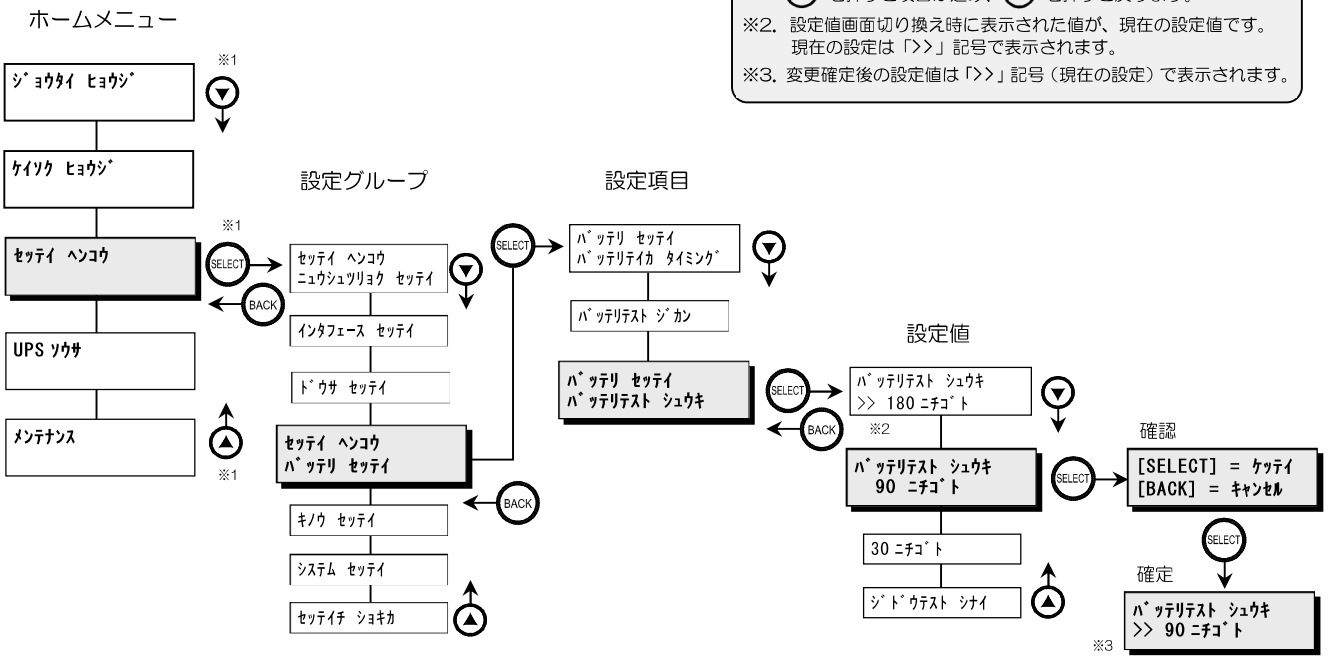
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：バッテリテストスケジュールを「90 日」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	180 ﾆﾁｺﾞﾄ	180 日ごと	180 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	90 ﾆﾁｺﾞﾄ	90 日ごと	90 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	30 ﾆﾁｺﾞﾄ	30 日ごと	30 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	ｼﾞﾄﾞｳﾃｽﾄ ｼﾅｲ	自動テストしない	バッテリテストは自動的に実施されません。

- この機能を使用する場合は「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 1」または「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ 2」に設定してください。「50Hz」または「60Hz」に設定されていると、バッテリテストは実施されません。
- ＵＰＳ管理ソフトを使用している場合は、ＵＰＳ管理ソフトで設定したスケジュールでバッテリテストが実施されます。上記の操作でＵＰＳ管理ソフトと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときはＵＰＳ管理ソフトの設定値が表示されます。

3.19　停電時の運転時間を設定する

停電発生時に、ＵＰＳがバックアップを開始してから出力供給を停止するまでの時間を設定します。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

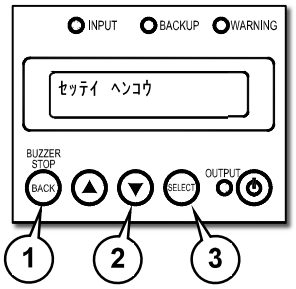
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

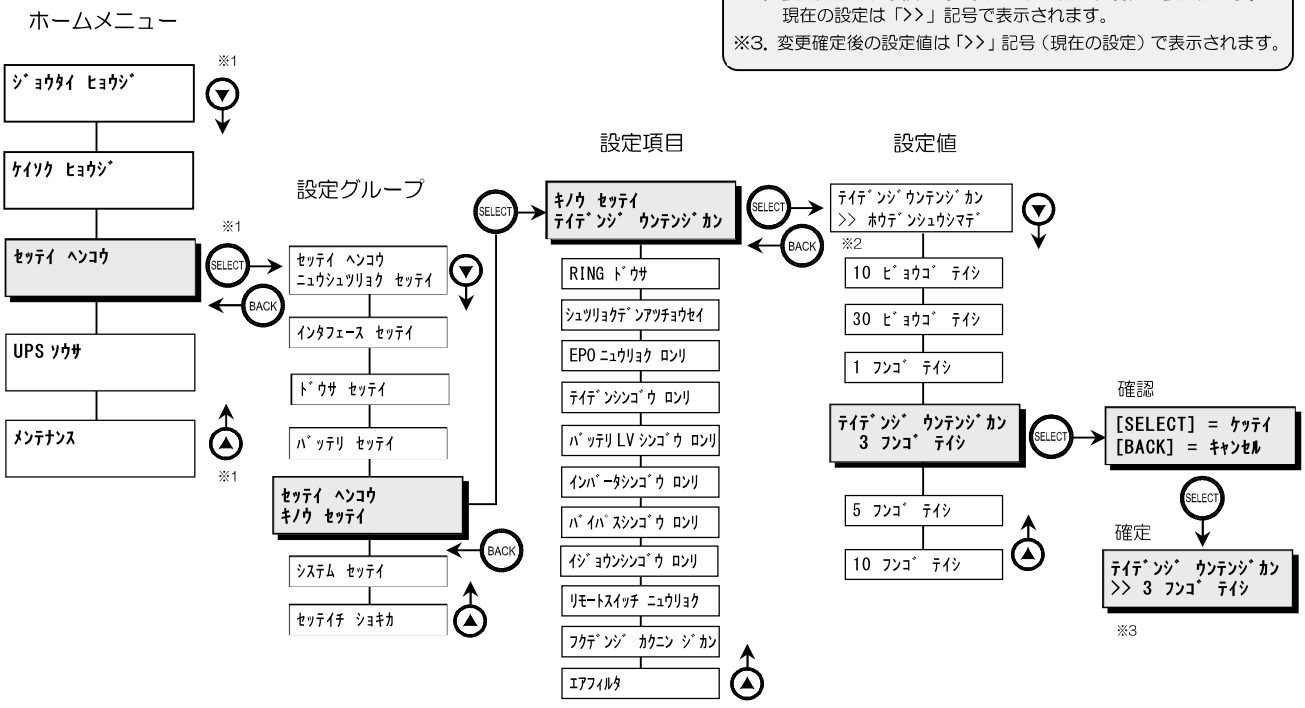
⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：停電時の運転時間を「3 分後に停止」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ﾎｳﾃﾞﾝｼｭｳｼ ﾏﾃﾞ	放電終止まで	バッテリ放電終止まで出力供給が継続されます。 バッテリ容量を最大限に使用する場合に選択します。
	10 ﾋﾞｮｳｺﾞ ﾃｲｼ	10秒後 停止	10 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
	30 ﾋﾞｮｳｺﾞ ﾃｲｼ	30秒後 停止	30 秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
	1 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	1 分後 停止	1 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	3 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	3 分後 停止	3 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	5 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	5 分後 停止	5 分間バックアップした後、出力供給が停止します。
	10 ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ	10分後 停止	10 分間バックアップした後、出力供給が停止します。

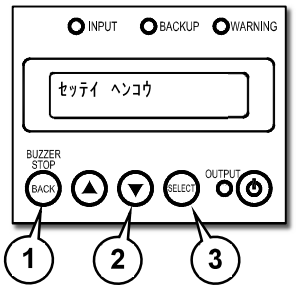
- 設定した時間が経過した時点で出力供給が停止します。設定した時間内に商用電源が復電した場合は、通常運転に戻ります。この機能を使用する場合は、「3.5 インタフェースを設定する」で設定値を「ｽﾀﾝﾄﾞｱﾛﾝ」に設定してください。「ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ」に設定されていると有効になりません。工場出荷時は「ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ」に設定されています。
- 設定値を「** ﾋﾞｮｳｺﾞ ﾃｲｼ」または「** ﾌﾝｺﾞ ﾃｲｼ」に設定しても、バッテリの構成、負荷率、バッテリの充電が不十分、バッテリの劣化、周囲温度などの条件により、指定した時間の出力供給ができないこともあります。

3.20 RING 信号※の設定をする

ＵＰＳ起動時に RING 信号を出力するか、しないかを設定します。

※ RING 信号とは・・

ＵＰＳの起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとＵＰＳがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

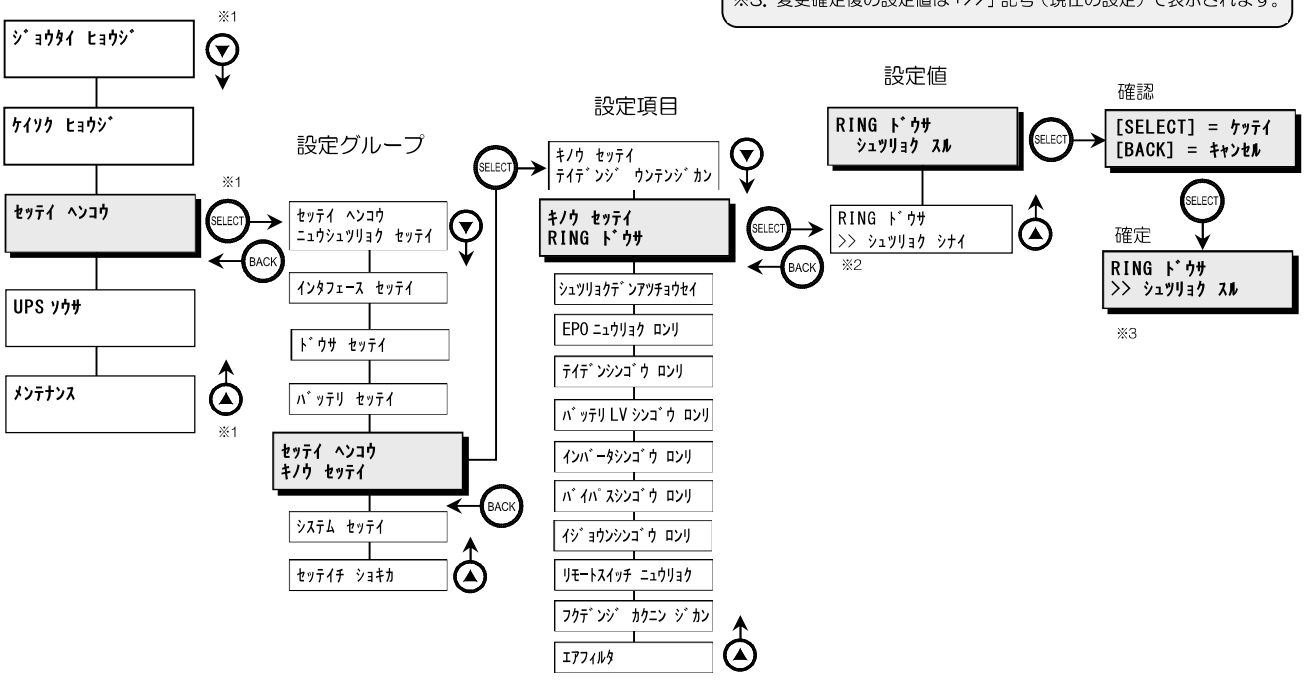
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：RING 信号を「出力する」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
	ｼｭﾂﾘｮｸ ｽﾙ	出力する	ＵＰＳ起動時に RING 信号が出力されます。
初期設定	ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ	出力しない	RING 信号は出力されません。

「ｼｭﾂﾘｮｸ ｽﾙ」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータをＵＰＳの起動時に、自動的に起動させることができます。
Wake Up on Ring 機能に対応したコンピュータのみに有効です。

3.21　出力電圧の調整値を設定する

「3.1 出力電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
マイナス側に 5 段階、プラス側に 5 段階（約 -5V～+5V）の範囲で調整できます。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

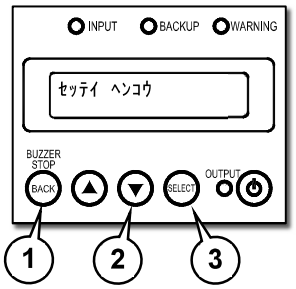
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

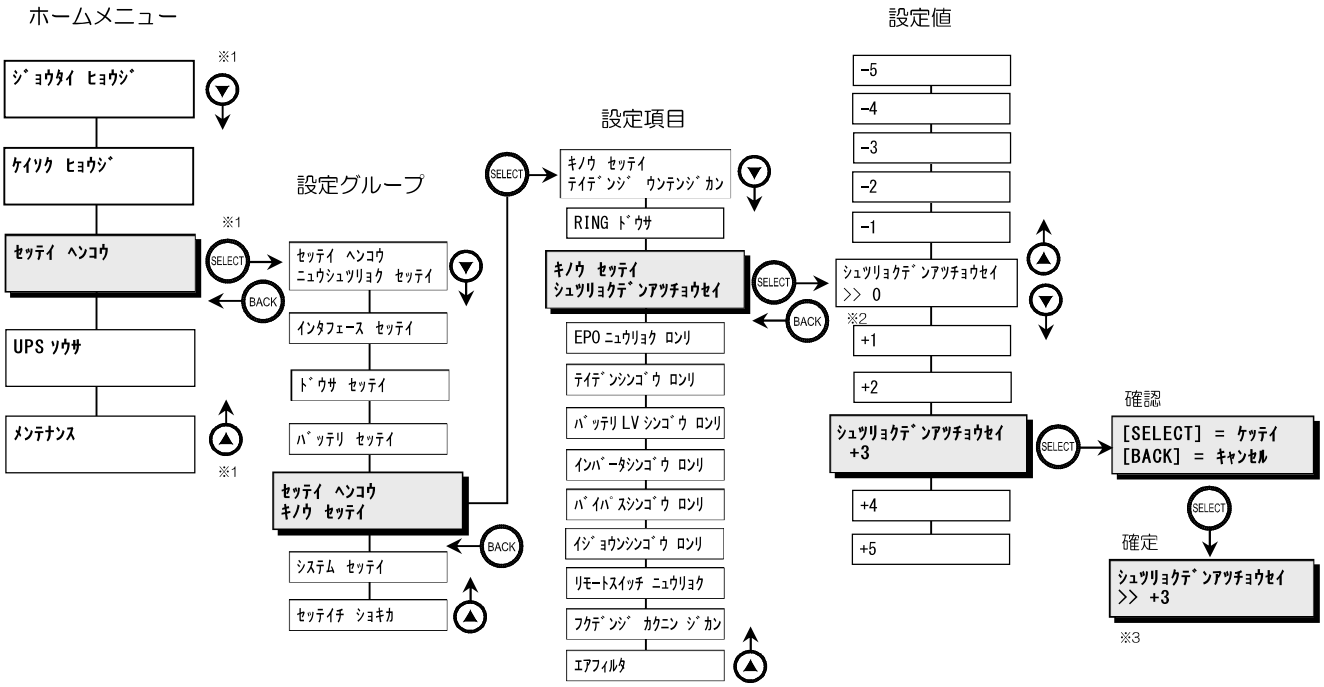
⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：調整値を「+ 3 」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

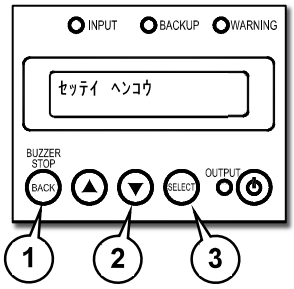
設定値	詳細	
-5	マイナス側に 5 段階(約 5V)低く設定されます。	初期設定は、ＵＰＳ型番により異なります。 工場出荷時に設定されています。
-4	マイナス側に 4 段階(約 4V)低く設定されます。	
-3	マイナス側に 3 段階(約 3V)低く設定されます。	
-2	マイナス側に 2 段階(約 2V)低く設定されます。	
-1	マイナス側に 1 段階(約 1V)低く設定されます。	
0	設定電圧のまま出力されます。	
+1	プラス側に 1 段階(約 1V)高く設定されます。	
+2	プラス側に 2 段階(約 2V)高く設定されます。	
+3	プラス側に 3 段階(約 3V)高く設定されます。	
+4	プラス側に 4 段階(約 4V)高く設定されます。	
+5	プラス側に 5 段階(約 5V)高く設定されます。	

調整値 1 段階は約 1V です。
上表は、200V 出力に対する調整値です。100V の場合は設定値の半分の値になります。
接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。
なお、この調整値は、出力電圧のみに適用されます。交流入力の電圧範囲は変わりません。
「3.35 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「0」になります。

3.22　EPO 入力論理を設定する

ＵＰＳ背面の EPO 端子※の入力論理を設定します。
詳細はＵＰＳ取扱説明書「5.6　ＵＰＳ緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

※．EPOは、Emergency Power Off（緊急出力停止）の略です。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

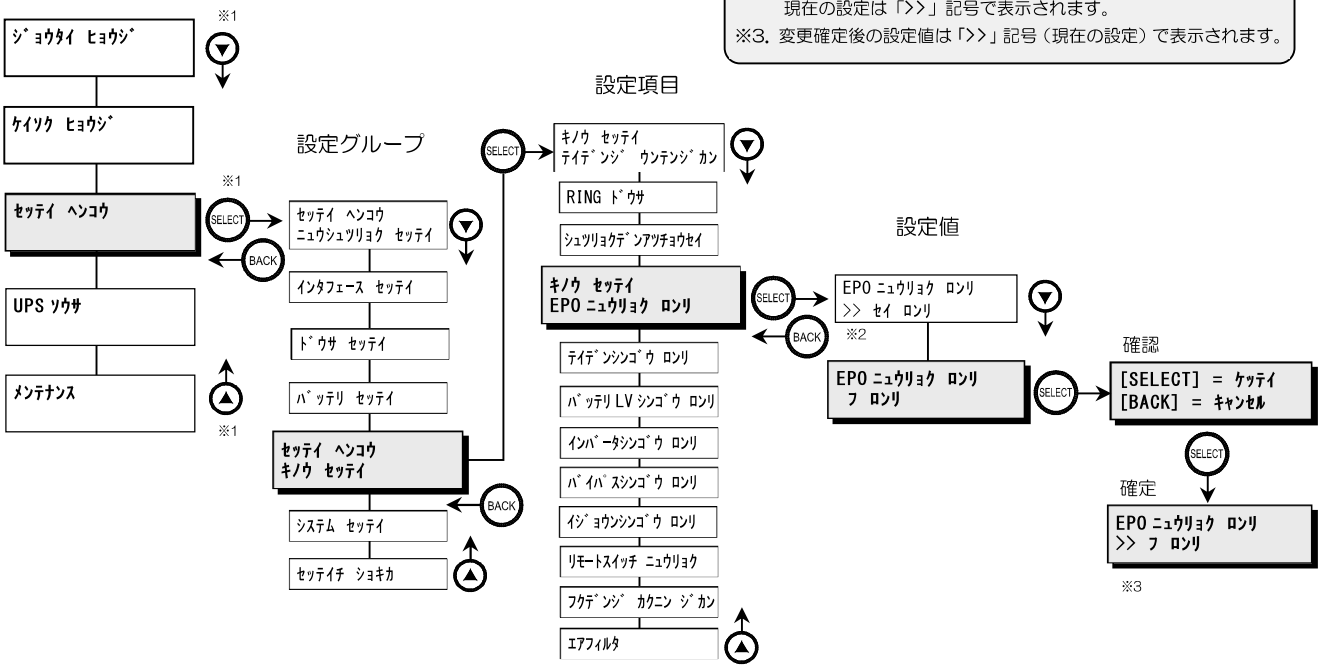
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：EPO 端子の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｾｲ ﾛﾝﾘ	正 論理	EPO 端子に接続したＵＰＳ緊急停止用スイッチが「ON」のときに、ＵＰＳの出力が停止します。
	ﾌ ﾛﾝﾘ	負 論理	EPO 端子に接続したＵＰＳ緊急停止用スイッチが「OFF」のときに、ＵＰＳの出力が停止します。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.6　ＵＰＳ緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

3.23 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する

ＵＰＳ背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力される停電信号の論理を設定します。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

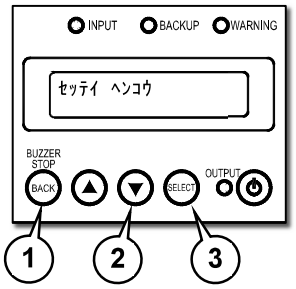
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

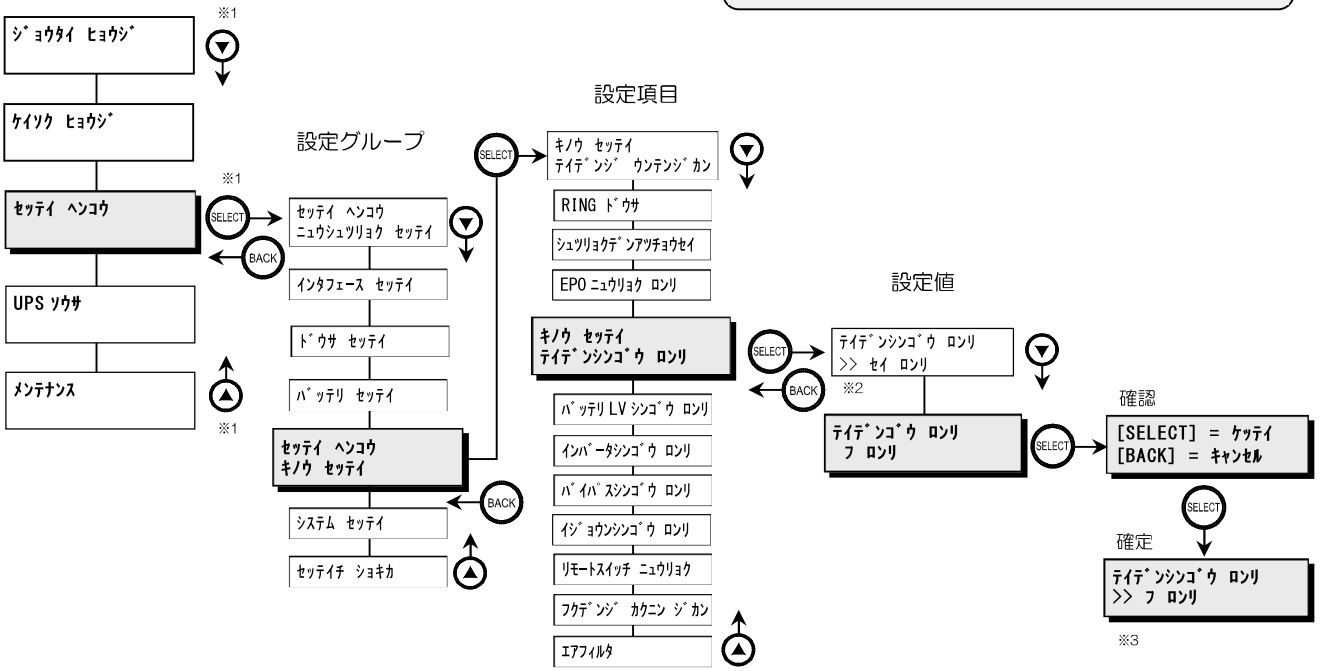


ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：停電信号の論理を「負論理」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｾｲ ﾛｼﾞﾘ	正 論理	停電が発生した時に、信号が出力されます。
	ﾌ ﾛｼﾞﾘ	負 論理	停電が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.4 ＵＰＳの外部転送信号を使う」または
「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する

ＵＰＳ背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバッテリ電圧低下信号の論理を設定します。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

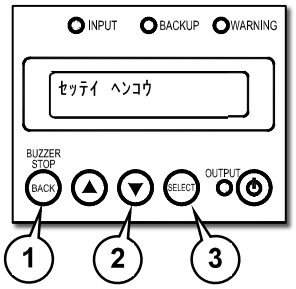
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

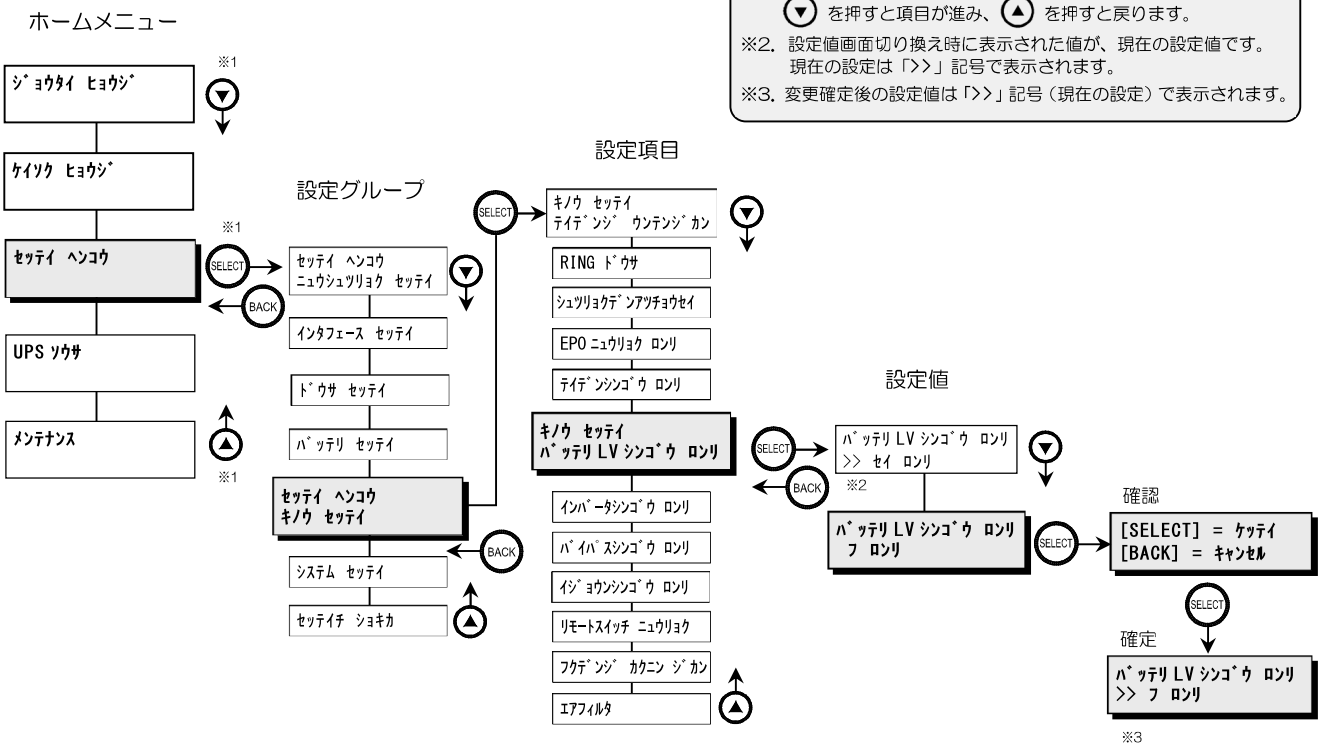
⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：バッテリ電圧低下信号の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



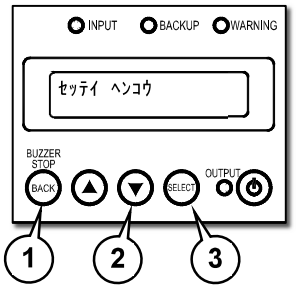
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｾｲ ﾛｼﾞﾘ	正 論理	バッテリ電圧低下が発生した時に、信号が出力されます。
	ﾌ ﾛｼﾞﾘ	負 論理	バッテリ電圧低下が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.4 ＵＰＳの外部転送信号を使う」または
「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.25 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する

ＵＰＳ背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるインバータ出力信号の論理を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

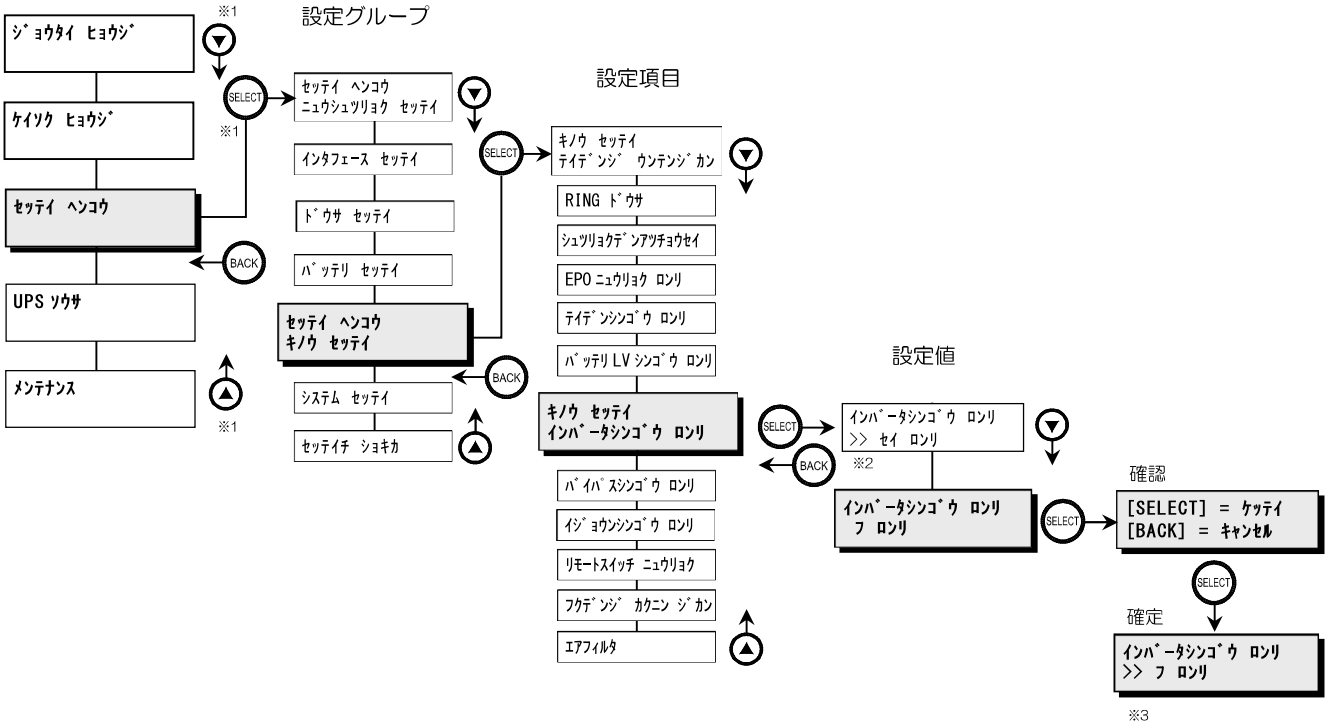
⑥ BACK を押して戻ります。

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：インバータ出力信号の論理を「負論理」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｾｲ ﾛｼﾞﾘ	正 論理	インバータ出力が供給されている場合に、信号が出力されます。
	ﾌ ﾛｼﾞﾘ	負 論理	インバータ出力が供給されていない場合に、信号が出力されます。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.4 ＵＰＳの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.26　SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する

ＵＰＳ背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバイパス出力信号の論理を設定します。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

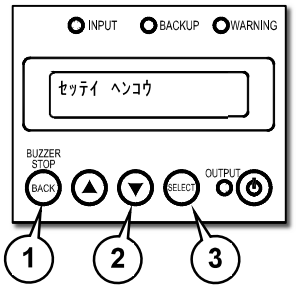
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

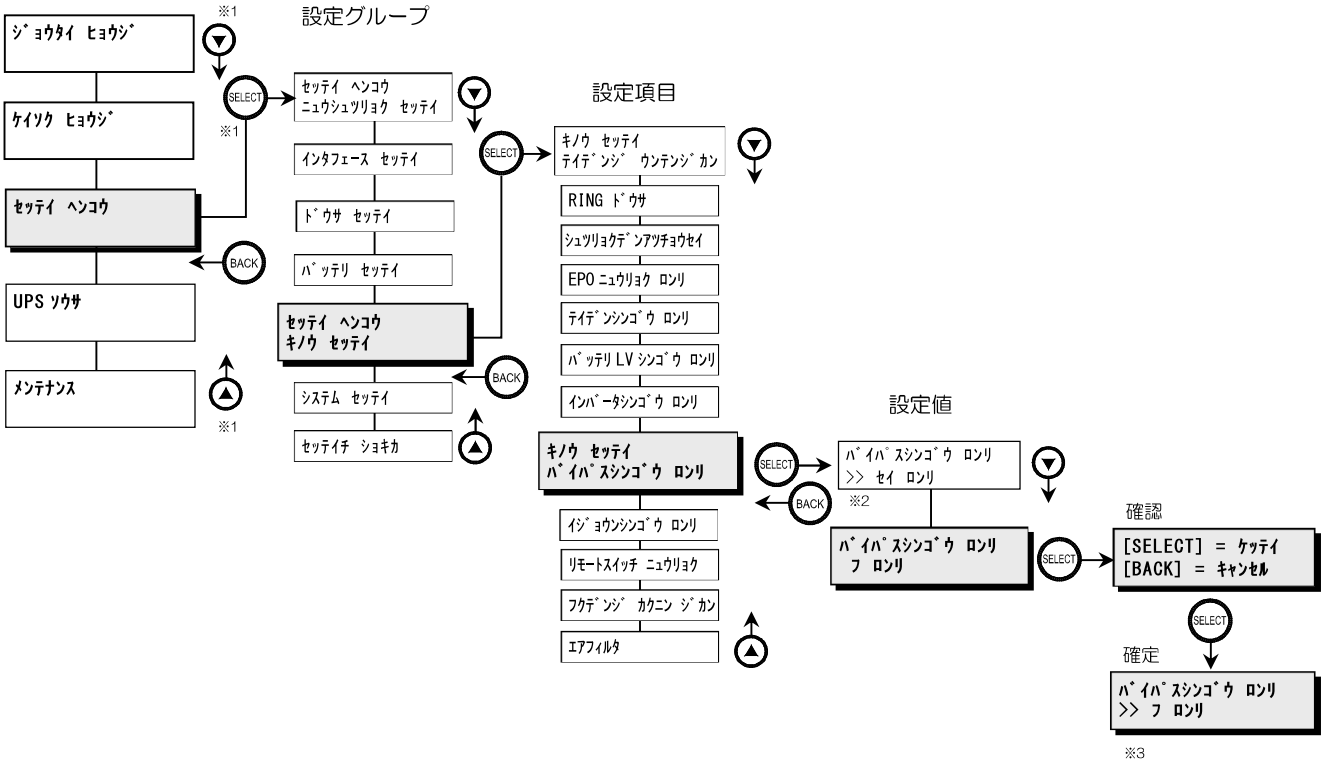


ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

例：バイパス出力信号の論理を「負論理」に設定する場合

ホームメニュー



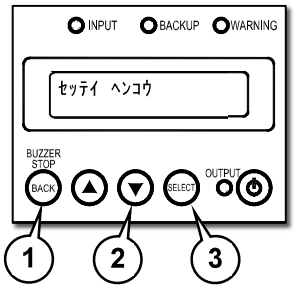
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	セイ ロンリ	正 論理	バイパス回路から商用電源が供給されている場合に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	負 論理	バイパス回路から商用電源が供給されていない場合に、信号が出力されます。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.4　ＵＰＳの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.27　SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する

ＵＰＳ背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力される装置異常信号の論理を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

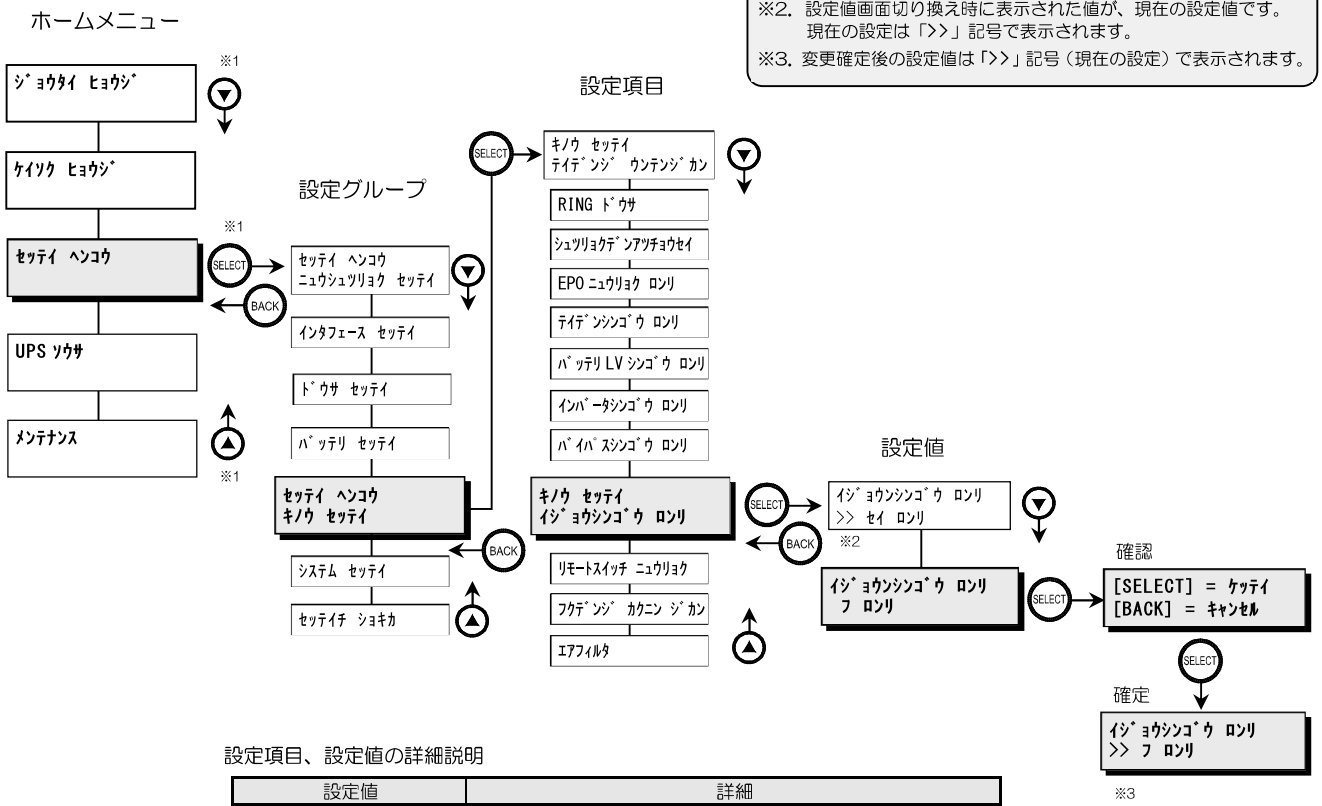
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：装置異常信号の論理を「負論理」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｾｲ ﾛｼﾞ	正 論理	装置異常が発生した時に、信号が出力されます。
	ﾌ ﾛｼﾞ	負 論理	装置異常が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.4　ＵＰＳの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.28　リモートスイッチの入力方式を設定する

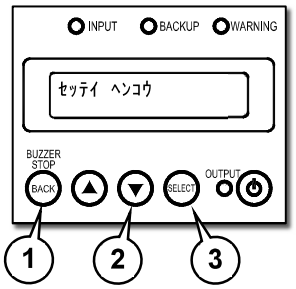
ＵＰＳのリモート端子に接続するリモートスイッチの入力方式を設定をします。
詳細はＵＰＳ取扱説明書「5.5 リモートスイッチでＵＰＳの ON/OFF 操作をする」をご覧ください。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

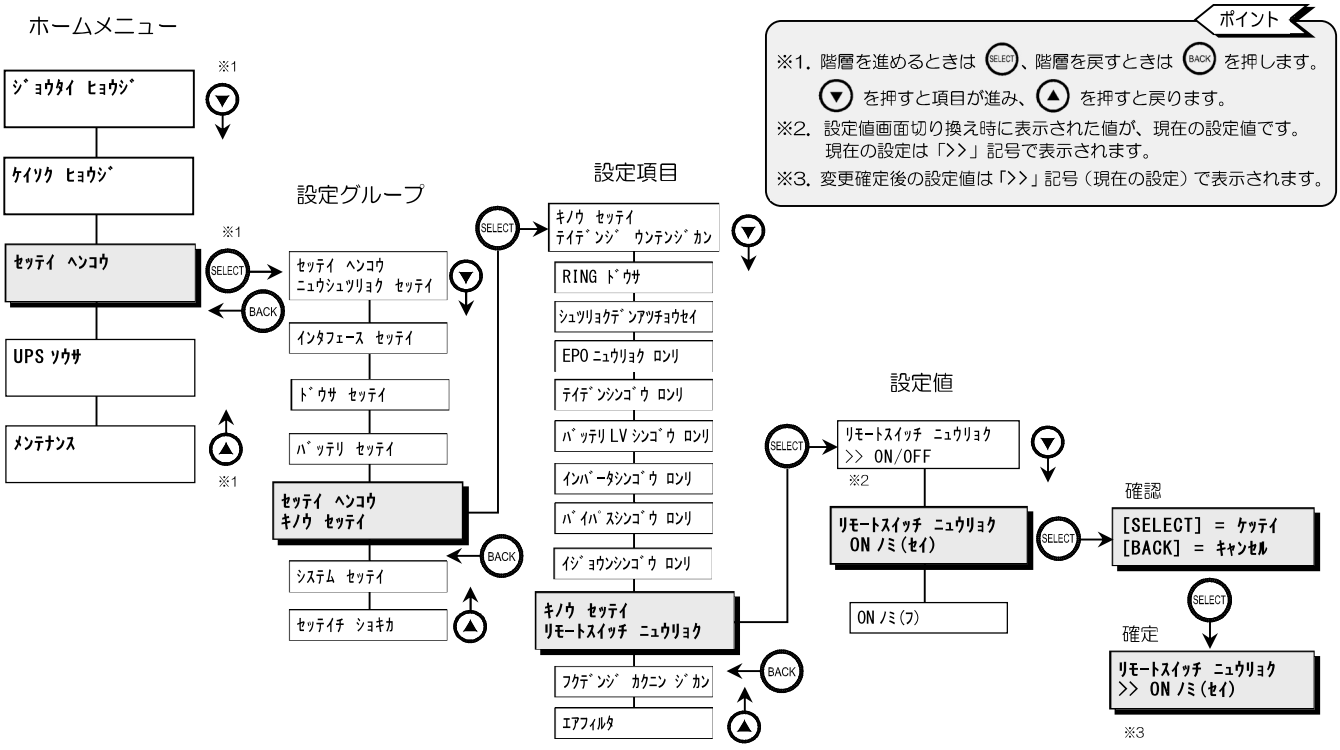
④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。



⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

例：リモートスイッチ入力方式を「ON のみ（正論理）」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ON/OFF	ON/OFF 使用	ON/OFF を別スイッチで操作。 両方が入力された場合 OFF が優先。
	ON ノミ(セイ)	ON のみ (正論理)	ON 端子に ON 信号が入力された場合 ＵＰＳが起動、OFF 信号が入力された場合に停止します。
	ON ノミ(フ)	ON のみ (負論理)	ON 端子に OFF 信号が入力された場合 ＵＰＳが起動、ON 信号が入力された場合に停止します。

詳細は、ＵＰＳの取扱説明書「5.5 リモートスイッチでＵＰＳの ON/OFF 操作をする」をご覧ください。

3.29　復電時の確認時間を設定する

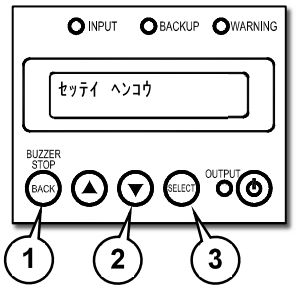
停電発生時、ＵＰＳがバッテリ放電終止により停止した後、商用電源が復帰したとき、ＵＰＳが復電したと認識するまでの時間を設定します。

① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。



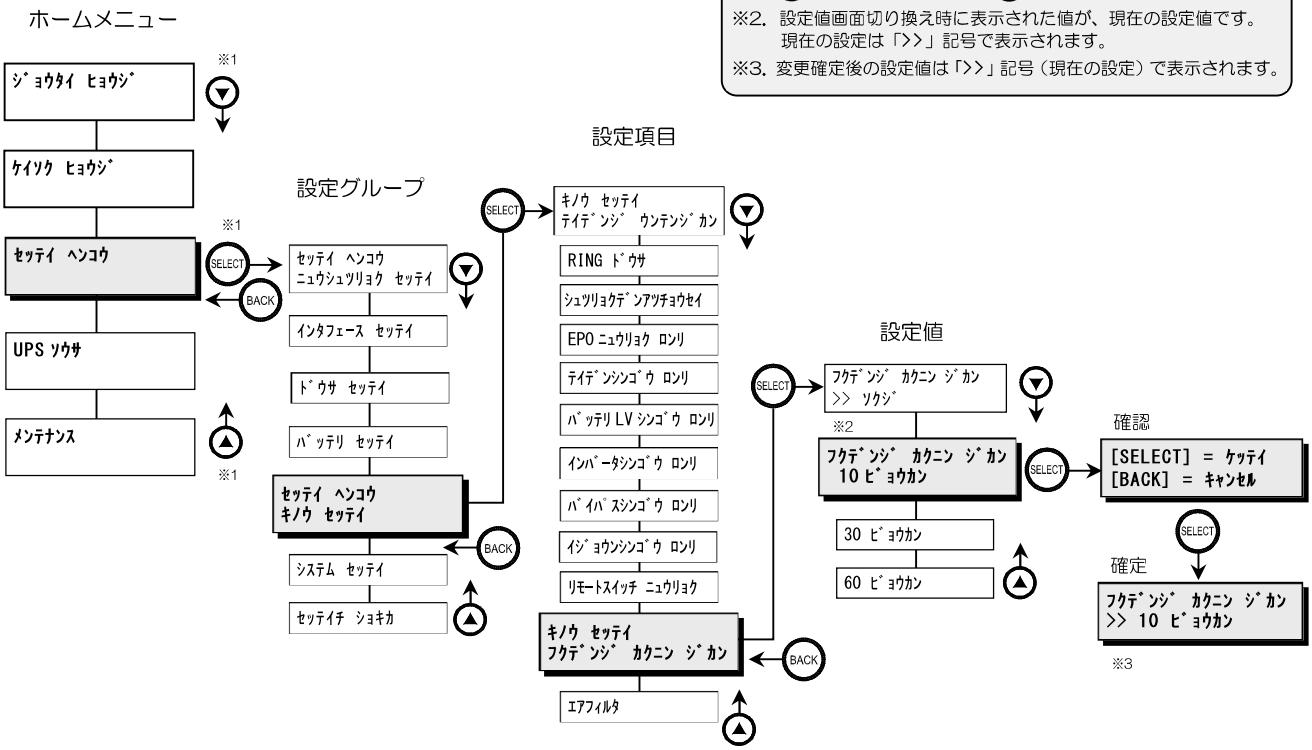
⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：復電時確認時間を「10 秒」に設定する場合

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｿｸｼﾞ	即時（0 秒）	停電時、ＵＰＳが放電終止により停止した後、停電が復旧したとき、設定した時間が経過した時点でＵＰＳは停電が回復したと認識します。
	10 ﾋﾞｮｳｶﾝ	10 秒間	
	30 ﾋﾞｮｳｶﾝ	30 秒間	
	60 ﾋﾞｮｳｶﾝ	60 秒間	

3.30　エアフィルタを使用 する／しない を設定する

ＵＰＳの正面パネルにエアフィルタ（オプション）を取り付けるか、取り付けないかを設定します。
エアフィルタを取り付ける場合は、設定値を変更してください。
なお、この設定値を変更してもエアフィルタは自動的にはセットされません。
エアフィルタの取扱説明書をご覧になり、エアフィルタを取り付けてください。

ご注意
エアフィルタにはオプション品を使用し、指定以外のものは使用しないでください。

① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

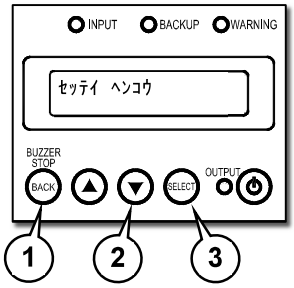
② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 [ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ] を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

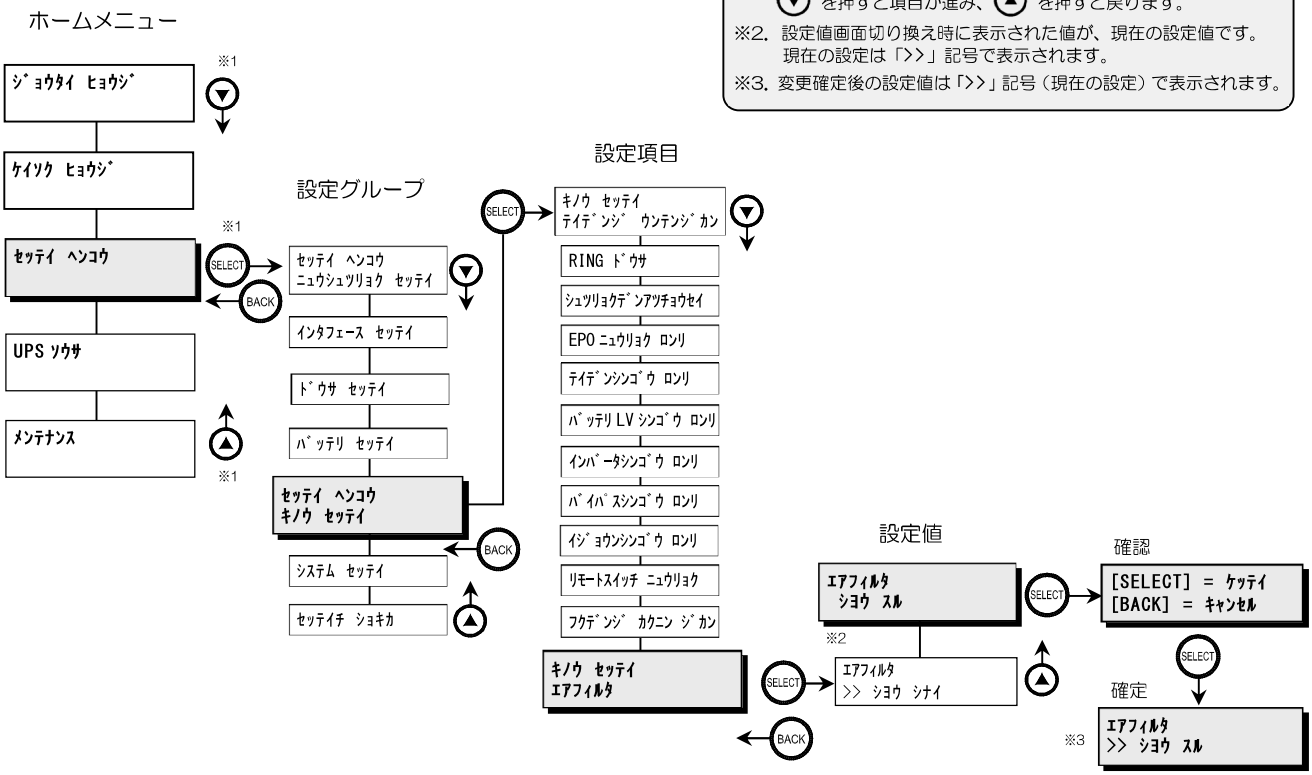
⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：エアフィルタを「使用する」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

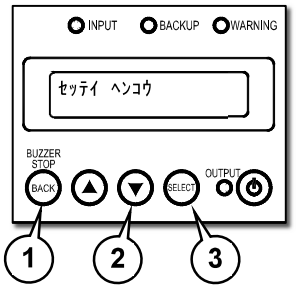
	設定値		詳細	
	ｼﾖｳ ｽﾙ	使用する	エアフィルタを使用する場合。	エアフィルタを使用する場合は定期的にエアフィルタの清掃をしてください。ＵＰＳの取扱説明書「エアフィルタの点検」をご覧ください。
初期設定	ｼﾖｳ ｼﾅｲ	使用しない	エアフィルタを使用しない場合	

設定値により、ＵＰＳ内部冷却用のファンモータの制御が異なります。
実際のエアフィルタの使用状況と、異なる設定値に設定されているとＵＰＳが正常に動作しないことがあります。

設定値が「ｼﾖｳ ｽﾙ」に設定されている場合、約2.5か月に１回 LCD 画面に「ｴｱﾌｨﾙﾀ ﾃﾝｹﾝ ｼﾞｷ」が表示されます。
エアフィルタの清掃を実施してから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」を実施してください。
「3.13 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ」に設定されている場合、
LCD 画面に「ｴｱﾌｨﾙﾀ ﾃﾝｹﾝ ｼﾞｷ」が表示されたときは「装置異常」信号が送出されます。

3.31　日付／時刻を設定する

ＵＰＳの日付と時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

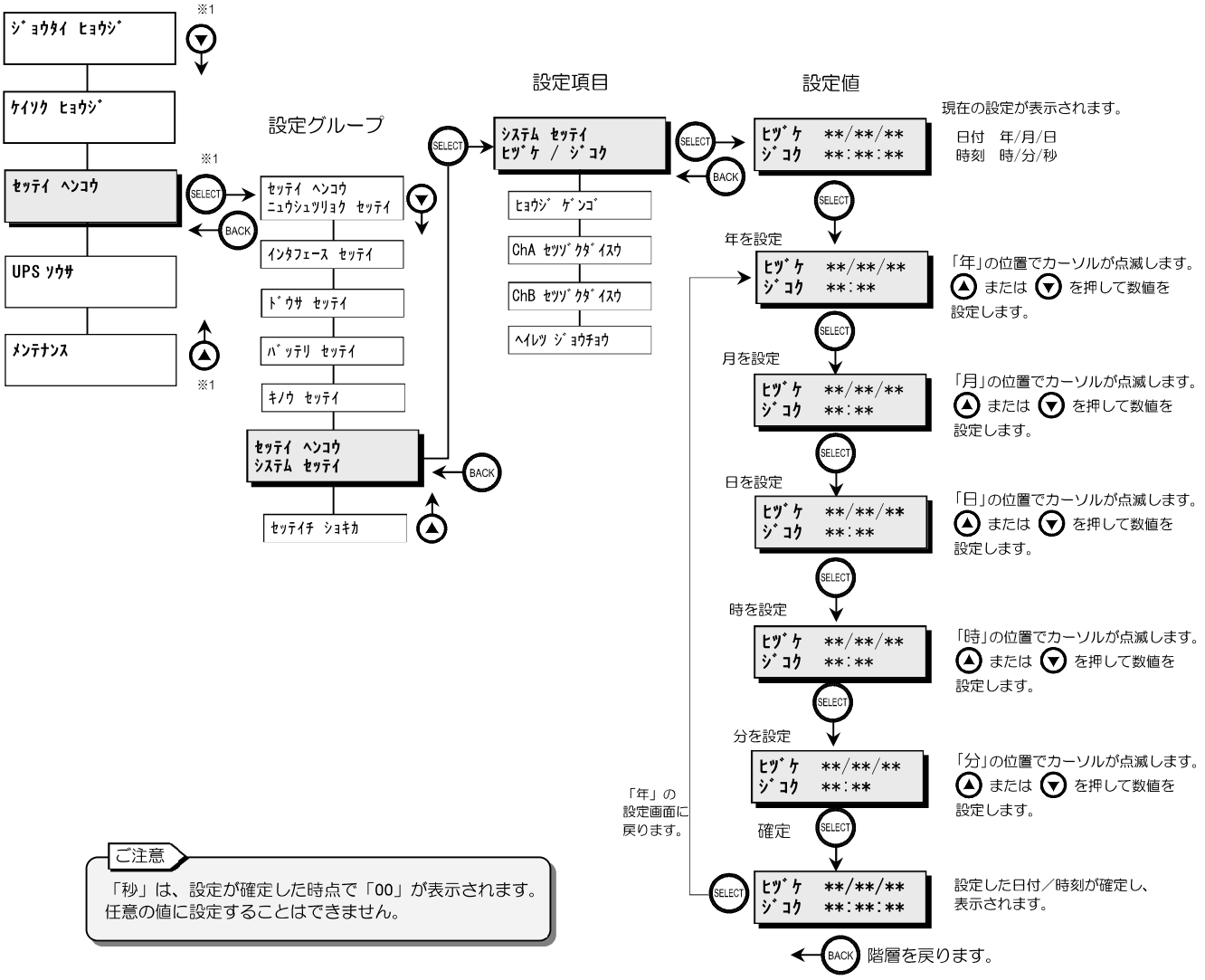
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ﾋﾂﾞｹ **/**/** ｼﾞｺｸ **:**:** が表示されている状態で SELECT を押し、 ▼ または ▲ で「年」の値を設定して、SELECT を押します。
同様に、月、日、時、分の順に設定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

日付／時刻を設定する

ホームメニュー



ポイント

※1．階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

ご注意

「秒」は、設定が確定した時点で「00」が表示されます。
任意の値に設定することはできません。

3.32 表示言語を設定する

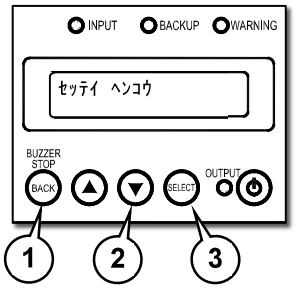
LCDパネルに表示される言語を設定します。

① (BACK) を押してLCD画面を表示させます。

② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 セッテイ ヘンコウ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。



⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

例：表示言語を「英語」に設定する場合

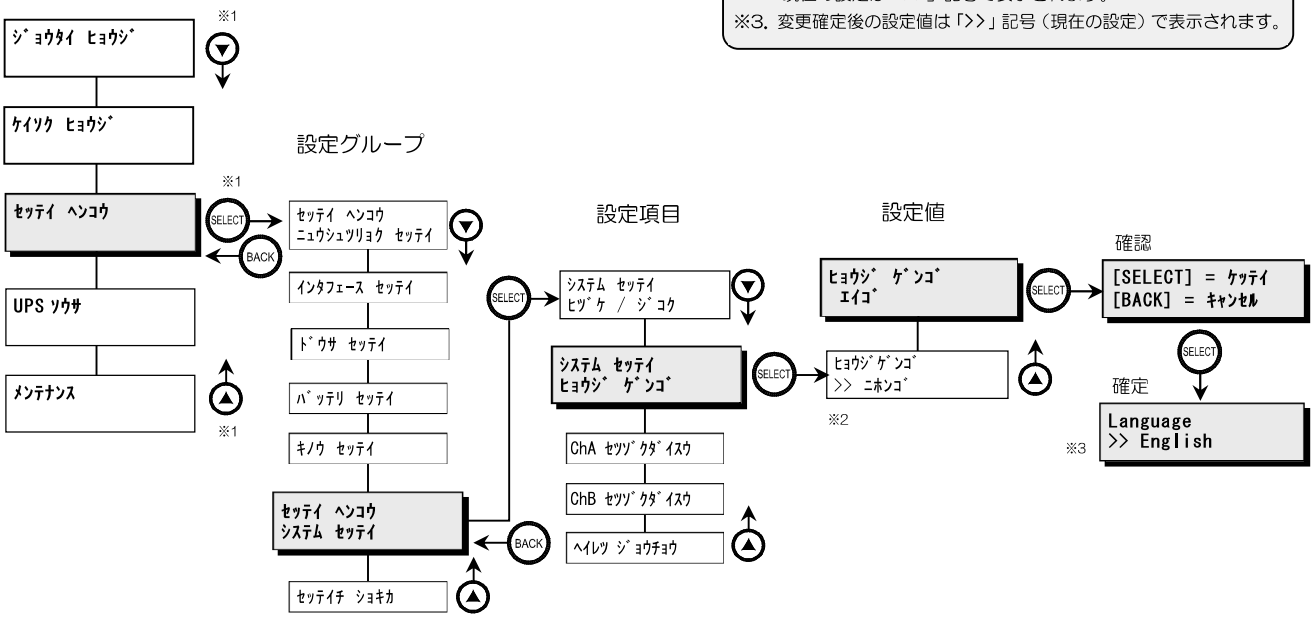
ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー

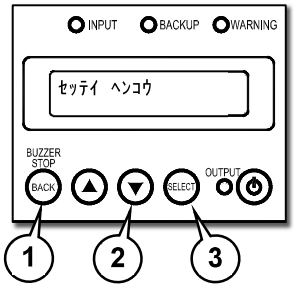


設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	ｴｲｺﾞ	英語	LCDパネルに表示される言語が英語になります。
	ﾆﾎﾝｺﾞ	日本語（ｶﾀｶﾅ）	LCDパネルに表示される言語が日本語（カタカナ）になります。

3.33　並列接続するＵＰＳユニットの台数を設定する

ＵＰＳシステムを構成する並列接続されるＵＰＳユニットの台数を設定します。
工場出荷時に設定されていますので、通常は設定変更しないでください。



① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

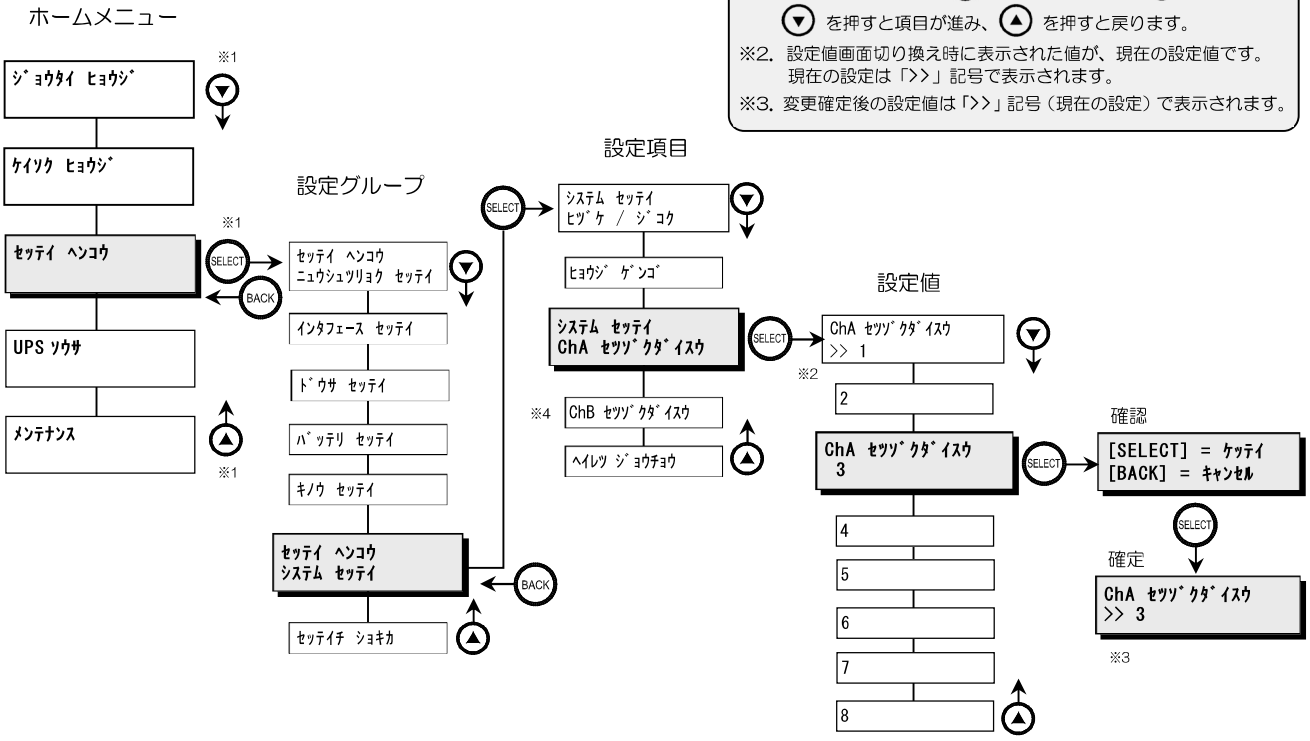
③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：ＵＰＳユニット台数を「3」に設定する場合



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

※4ご注意

ChB ｾﾂｿﾞｸﾀﾞｲｽｳ の設定値は「1」のままとし、変更しないでください。誤って変更してしまった場合は、設定項目で ChB ｾﾂｿﾞｸﾀﾞｲｽｳ を選択し、同様の手順で設定を変更してください。

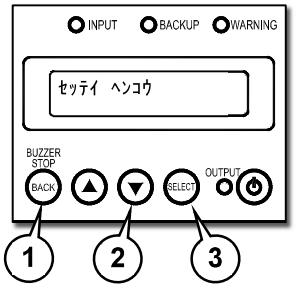
設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
1	ＵＰＳユニットを１台で使用する場合	初期設定は、ＵＰＳ型番により異なります。 工場出荷時に設定されています。
2	2 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
3	3 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
4	4 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
5	5 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
6	6 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
7	7 台のＵＰＳユニットを接続する場合	
8	8 台のＵＰＳユニットを接続する場合	

ユニットを増設した場合、ユニットの接続台数を変更した場合などに設定を変更します。
実際に接続するＵＰＳユニットの台数を設定してください。
運転中に何らかの要因でＵＰＳユニットが停止し、運転しているＵＰＳユニットの台数と、設定した台数が相違する場合はＬＣＤパネルのＵＰＳ状態表示に「ﾕﾆｯﾄｽｳ ｲｼﾞｮｳ」が表示されます。
「3.35 設定値をリセットする」の操作をした場合、設定値は「1」になります。
ＵＰＳシステムに合わせて再設定してください。

3.34　運転システムを設定する

ＵＰＳの運転システムを設定します。並列冗長運転 または、単機および並列運転から選択します。



① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

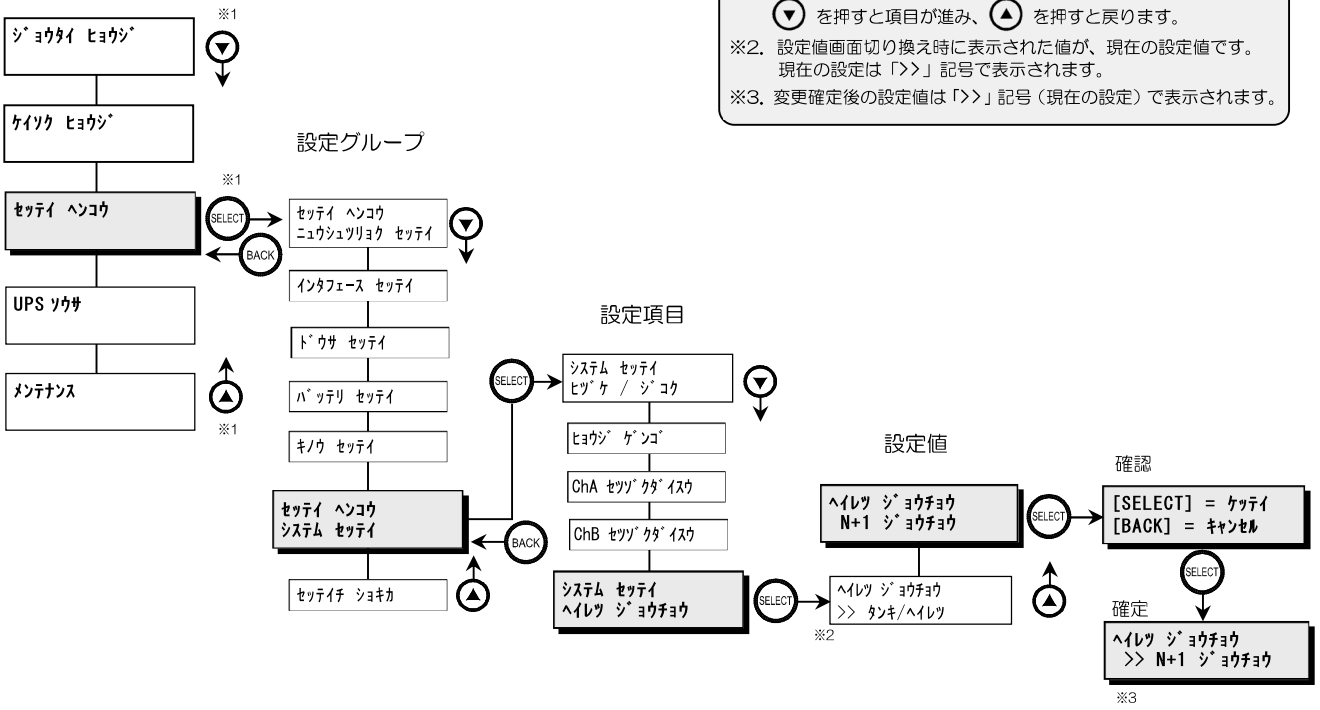
④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り換え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。

⑥ (BACK) を押して戻ります。

例：運転システムを「N+1 冗長」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。
(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

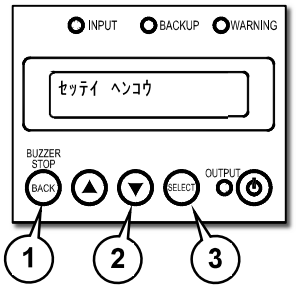
設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細	
N+1 ｼﾞｮｳﾁｮｳ	N+1 冗長	並列冗長運転システムに設定する。	・並列冗長運転システム：負荷容量に対して並列接続されたＵＰＳユニット１台分の容量の余裕を持たせて運転する場合。
初期設定 ﾀﾝｷ/ﾍｲﾚﾂ	単機／並列	単機運転 および 並列運転システムに設定する。	・単機運転システム：ＵＰＳユニット１台の場合。 ・並列運転システム：並列接続されたＵＰＳユニット台数の合計容量を接続可能な負荷容量として運転する場合。

「N+1 ｼﾞｮｳﾁｮｳ」に設定した場合、ＵＰＳに接続している負荷容量に対して、ＵＰＳ容量にＵＰＳユニット１台分の余裕がなくなったときは、ＬＣＤ画面に「ｼﾞｮｳﾁｮｳｳﾝﾃﾝ NG」が表示されます。ＵＰＳに接続している負荷を減らしてください。

3.35　設定値をリセットする

3.1～3.34 までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。
初期設定は「3. ＵＰＳの設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。
この操作をすると、すべての設定項目の設定値がリセットされます。設定項目ごとにリセットすることはできません。
いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ｾｯﾃｲ ﾍﾝｺｳ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、
「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。

⑤ SELECT を押し選択し確認画面を表示させ、再度 SELECT を押してリセットします。

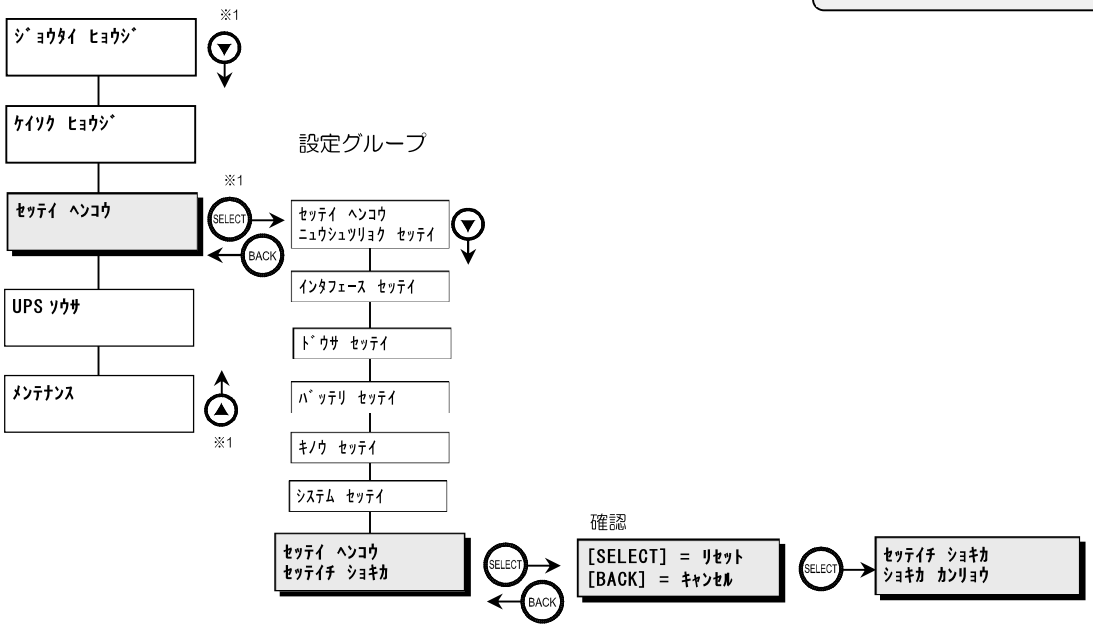
⑥ BACK を押して戻ります。

ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

設定をリセットする

ホームメニュー



ご注意

リセット操作により、ＵＰＳを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、ＵＰＳの再起動が必要です。
この場合、ＵＰＳ状態表示に「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されますので、「3.36 ＵＰＳを再起動する」をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。ＵＰＳを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

3.36　ＵＰＳを再起動※する

※ 再起動とは・・

運転中のＵＰＳをいったん停止し、もう一度運転することです。
ＬＣＤパネル操作説明書（本書）、またはＵＰＳ取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「ＵＰＳを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のＵＰＳを停止し、指定された時間が経過してから、再度ＵＰＳを運転してください。

11～12 ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にＵＰＳを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧になり、ＵＰＳを再起動してください。
ＵＰＳの停止、起動操作はＵＰＳのモデルにより異なります。詳細はＵＰＳの取扱説明書「4.2 ＵＰＳの運転操作」の項目をご覧ください。ＵＰＳを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

負荷機器を停止する

↓

ＵＰＳの停止操作をする

ポイント
ＵＰＳ取扱説明書「ＵＰＳを停止する」をご覧になり、ＵＰＳを停止してください。

↓

ＵＰＳのＬＣＤパネルのＬＥＤ、ＬＣＤ表示および本体操作パネルのＬＥＤがすべて消灯したことを確認する

↓

１分 経過するまで待つ

ご注意
ＵＰＳの停止操作後、１分以上経過してから運転操作をしてください。ＵＰＳの停止操作をしても、停止直後は内部回路が動作しているため、一定時間経過しないとＵＰＳが完全に停止しません。

↓

ＵＰＳの運転操作をする

ポイント
ＵＰＳ取扱説明書「ＵＰＳを運転する」をご覧になり操作してください。

↓

ＵＰＳが正常に運転したことを確認する

↓

負荷機器を運転する

このページは空白です。

4．ＵＰＳの操作をする

「バッテリテスト」、「ＵＰＳの起動・停止」、「バイパス切換」「EPO ラッチ状態解除」の４つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、4.1～4.5 の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

ホームメニュー：ＵＰＳ操作

操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
ﾊﾞｯﾃﾘ ﾃｽﾄ	バッテリテスト	ｼﾞｯｺｳ	テスト実行	[SELECT] = ｼﾞｯｺｳ	実行する	ｿｳｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	4.1	51
				[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了		
		ﾁｭｳｼ（バッテリテスト中）	テスト中止	[SELECT] = ﾁｭｳｼ	中止する	ｿｳｻｲ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止		
				[BACK] = ｹｲｿﾞｸ	テスト継続	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了		
		ｼﾞｮｳﾀｲ	テスト状態	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ ｼﾞｮｳﾀｲ	テスト状態	ﾃｽﾄ ｶｲｼ ｶﾉｳ	テスト開始可能	4.2	53
						ﾃｽﾄ ｶｲｼ ﾌｶ	テスト開始不可		
						ﾃｽﾄﾁｭｳ m s	テスト中 分 秒		
				ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄｼﾞｯｼﾋﾞ	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
				ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｹｯｶ	前回のテスト結果	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｾｲｼﾞｮｳ	正常		
						ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｲｼﾞｮｳ	異常		
						ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾘﾚｷﾅｼ	前回履歴なし		
						ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾁｭｳｼ	中止		
INV ｷﾄﾞｳ	UPS の起動	[SELECT] = INV ｷﾄﾞｳ	起動	ｿｳｻ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了	4.3	54
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
INV ﾃｲｼ	UPS の停止	[SELECT] = INV ﾃｲｼ	停止	ｿｳｻ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了		
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
ﾊﾞｲﾊﾟｽｳﾝﾃﾝ ｷﾘｶｴ	バイパス運転切り換え	[SELECT] = ﾊﾞｲﾊﾟｽ	切り換える	ｿｳｻ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了	4.4	55
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						
EPO ｶｲｼﾞｮ	EPO ラッチ解除	[SELECT] = ｶｲｼﾞｮ	解除	ｿｳｻ ｼｯﾊﾟｲ	実行中止	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	正常終了	4.5	56
		[BACK] = ｷｬﾝｾﾙ	取り消し						

4.1 バッテリテストをする

バッテリの状態をテストします。出荷時、自動バッテリテストは180日ごとに実施されるように設定されています。
手動でバッテリテストをする場合は下記の手順で実施してください。
バッテリテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリテスト実施前にＵＰＳがバッテリ運転をしていると、バッテリテスト結果が異常になることがあります。バッテリテスト前にＵＰＳがバッテリ運転をしていない状態で実施してください。

ポイント
- バッテリテストを実施する時間(分)を設定することができます。「3.17 バッテリテストの実行時間を設定する」をご覧ください。
- 自動で定期的にバッテリテストを実施させる期間(日数)を変更することができます。「3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する」をご覧ください。

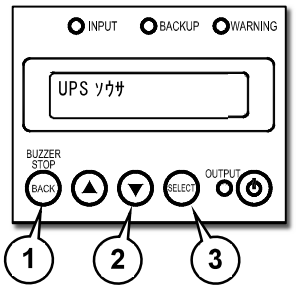
① BACK を押してLCD画面を表示させます。

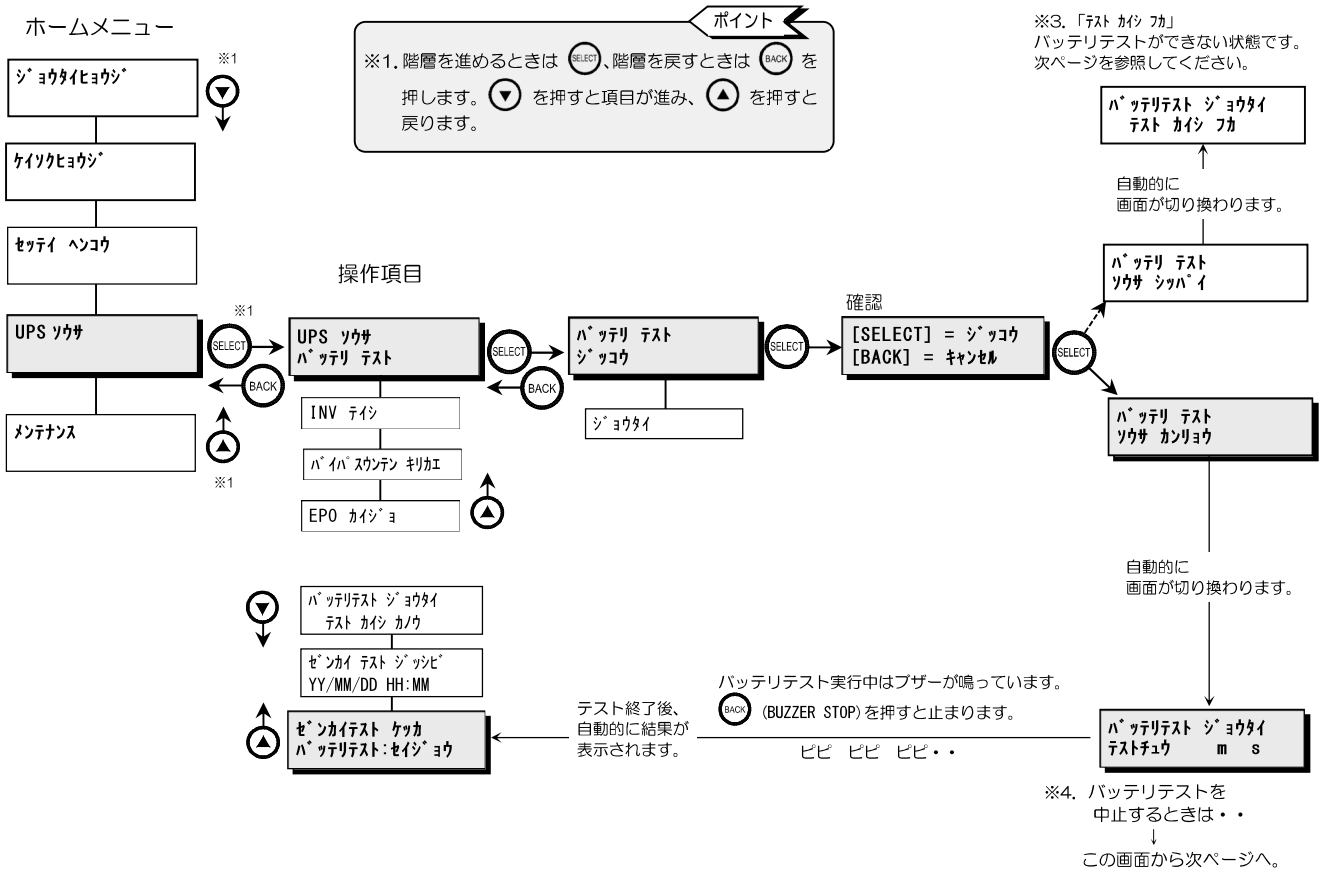
② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 UPS ｿｳｻ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、操作する項目を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して実行します。

⑤ BACK を押して戻ります。





バッテリテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ ｼﾞｮｳﾀｲ	テスト状態	ﾃｽﾄ ｶｲｼ ｶﾉｳ	テスト開始可能
		ﾃｽﾄ ｶｲｼ ﾌｶ	テスト開始不可
		ﾃｽﾄﾁｭｳ	テスト中
ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｼﾞｯｼﾋﾞ	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｹｯｶ	バッテリテスト結果	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｾｲｼﾞｮｳ	バッテリは正常です。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｲｼﾞｮｳ	バッテリが異常の可能性があります。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾘﾚｷﾅｼ	バッテリテストの前回履歴がありません。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾁｭｳｼ	テストが中止されました。

バッテリテストについてのご注意

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもＵＰＳ取扱説明書の「6.2 バッテリの点検」をご覧になり、バッテリが劣化している場合は購入先または当社までご連絡ください。

バッテリテストができない状態

➢ 下記の①～⑨の状態のときは、バッテリテストはできません。ＵＰＳ取扱説明書「8. こんなときには・・」をご覧になり、対処してください。

① インバータ停止中
② バイパス給電中
③ バッテリ運転中
④ バッテリテスト実行中 （自動、手動、ＵＰＳ管理ソフトによるバッテリテスト実行中は、バッテリテストの操作はできません。）
⑤ ＵＰＳ故障
⑥ バッテリ温度異常発生
⑦ バッテリ残保持時間が「3.16 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する」で設定した値未満のとき
⑧ 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合
⑨ 非同期運転中

バッテリテストの中止について

➢ バッテリテスト中にテストを中止する場合は・・・

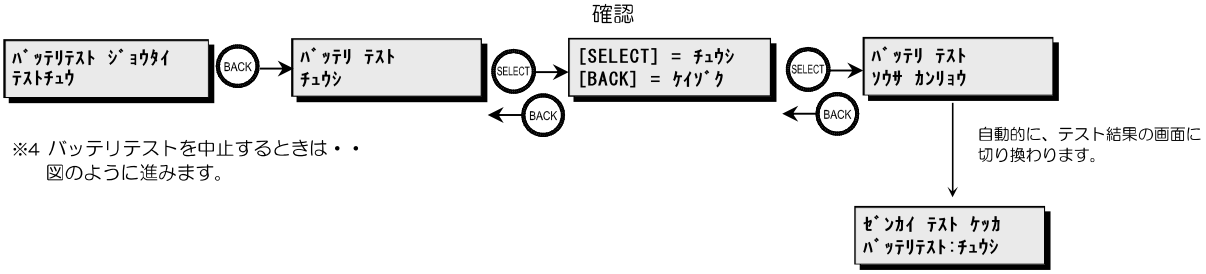
LCD画面に「ﾁｭｳｼ」が表示されている状態で (SELECT) を押します。　⇒　ＵＰＳは通常運転に戻ります。

➢ バッテリテスト中に①～⑤のことが発生、または⑥～⑨の操作をした場合はバッテリテストは中止されます。

① 入力（電圧、周波数）の異常
② ＵＰＳ故障
③ 出力過電流
④ バッテリ温度異常発生
⑤ バッテリ電圧低下発生

⑥ Forced Bypass スイッチを切り換えた。
⑦ MAIN MCCB を「OFF」にした。
⑧ ＵＰＳの OFF 操作をした。
⑨ ＵＰＳ管理ソフトでバッテリテスト中止を実行。

※3.「ｿｳｻ ｼｯﾊﾟｲ」が表示され、バッテリテストが実行されなかったときは、ＵＰＳが上記のバッテリテストができない状態になっている可能性があります。 (BACK) で戻り、ＵＰＳの状態を確認し、再度操作をしてください。



※4 バッテリテストを中止するときは・・
図のように進みます。

4.2 バッテリテストの結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。

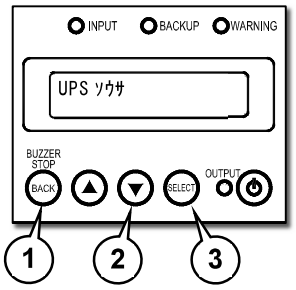
① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 UPS ｿｳｻ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

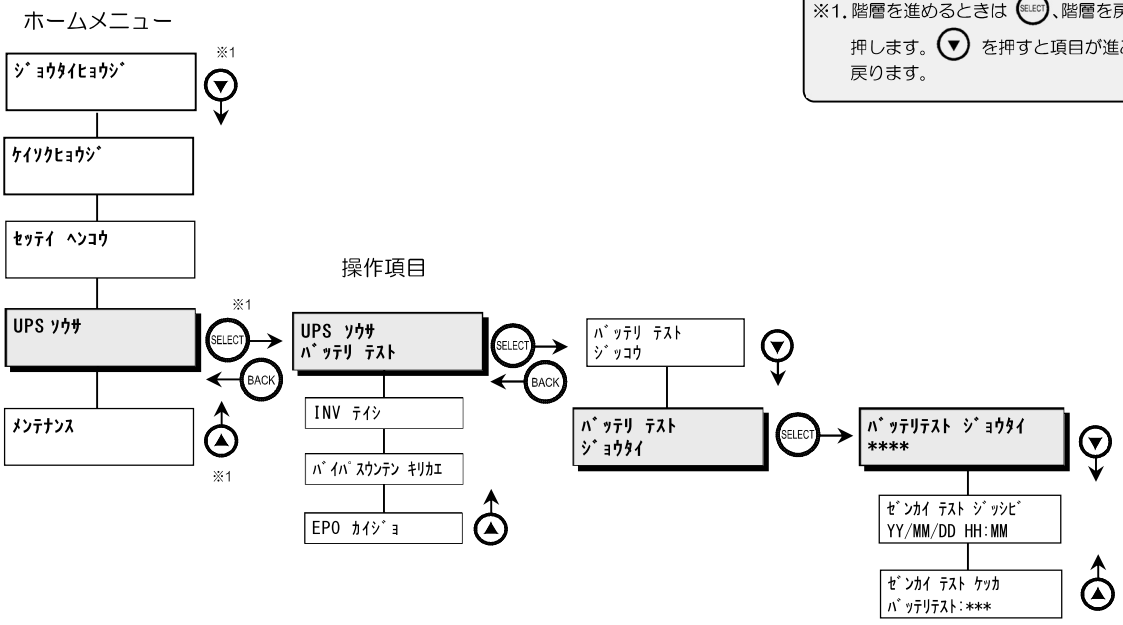
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、操作する項目を SELECT で選択し、
確認画面で再度 SELECT を押して実行します。

⑤ BACK を押して戻ります。



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。



バッテリテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ ｼﾞｮｳﾀｲ	テスト状態	ﾃｽﾄ ｶｲｼ ｶﾉｳ	テスト開始可能
		ﾃｽﾄ ｶｲｼ ﾌｶ	テスト開始不可
		ﾃｽﾄﾁｭｳ	テスト中
ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｼﾞｯｼﾋﾞ	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｹｯｶ	バッテリテスト結果	ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｾｲｼﾞｮｳ	バッテリは正常です。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ｲｼﾞｮｳ	バッテリが異常の可能性があります。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾘﾚｷﾅｼ	バッテリテストの前回履歴がありません。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ:ﾁｭｳｼ	テストが中止されました。

4.3 ＵＰＳを起動する または 停止する

ＬＣＤパネルのコントロールメニューから、ＵＰＳの起動、停止の操作をすることができます。
ＵＰＳを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

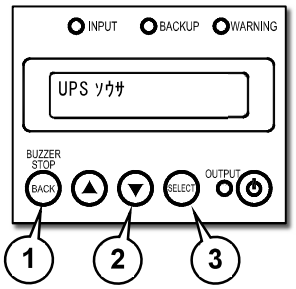
① (BACK) を押して LCD 画面を表示させます。

② (▼) を押してホームメニューを切り換え、 UPS ｿｳｻ を表示させます。

③ (SELECT) を押して確定します。

④ (▼) または (▲) で表示を切り換え、操作する項目を (SELECT) で選択し、
確認画面で再度 (SELECT) を押して実行します。

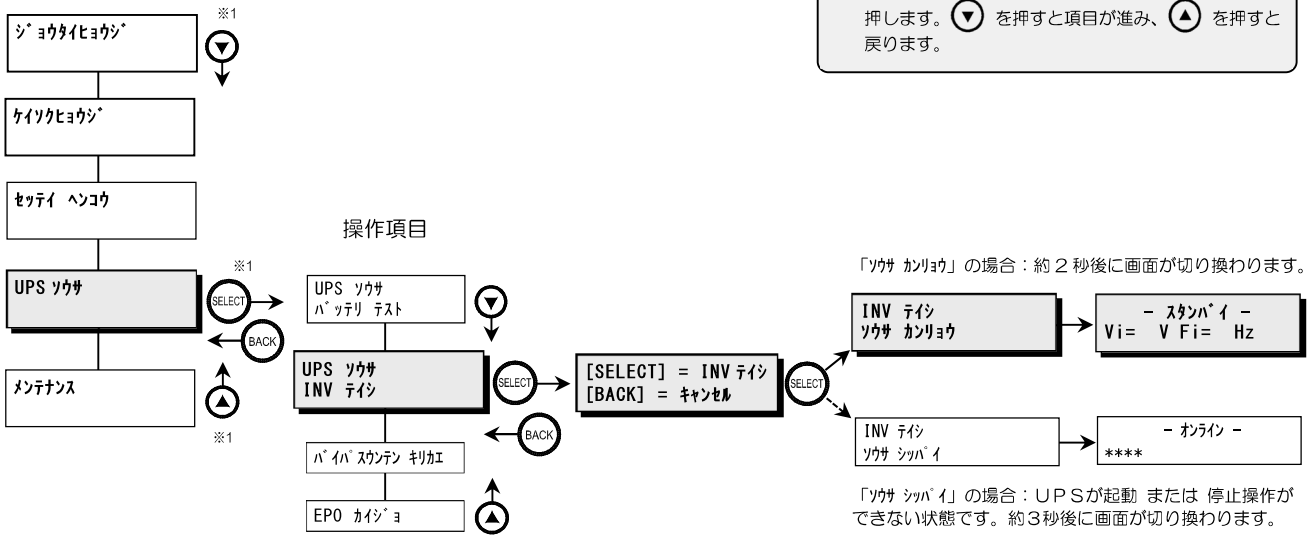
⑤ (BACK) を押して戻ります。



ポイント

※1. 階層を進めるときは (SELECT)、階層を戻すときは (BACK) を押します。(▼) を押すと項目が進み、(▲) を押すと戻ります。

ホームメニュー



ＵＰＳ運転中は、 INV ﾃｲｼ が表示されます。
ＵＰＳ停止中は、 INV ｷﾄﾞｳ が表示されます。

起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

- 起動操作ができない状態
  - ① インバータ起動中
  - ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
  - ③ ＵＰＳ故障中
  - ④ Remote OFF 信号連続入力中
  - ⑤ インバータ／バイパス切換スイッチが「BYP.」側の場合
  - ⑥ 通常運転中
- 停止操作ができない状態
  - ① バイパス運転中
  - ② インバータ停止中

ON/OFFボタンによる起動・停止操作

ＬＣＤパネルの (⏻) ボタンでも、ＵＰＳの起動・停止操作ができます。
詳細は、ＵＰＳ取扱説明書「4.2 ＵＰＳの運転操作」をご覧ください。

4.4　バイパス運転に切り換える

ＵＰＳの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。

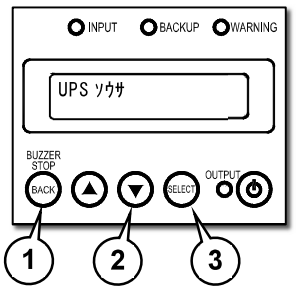
① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 UPS ｿｳｻ を表示させます。

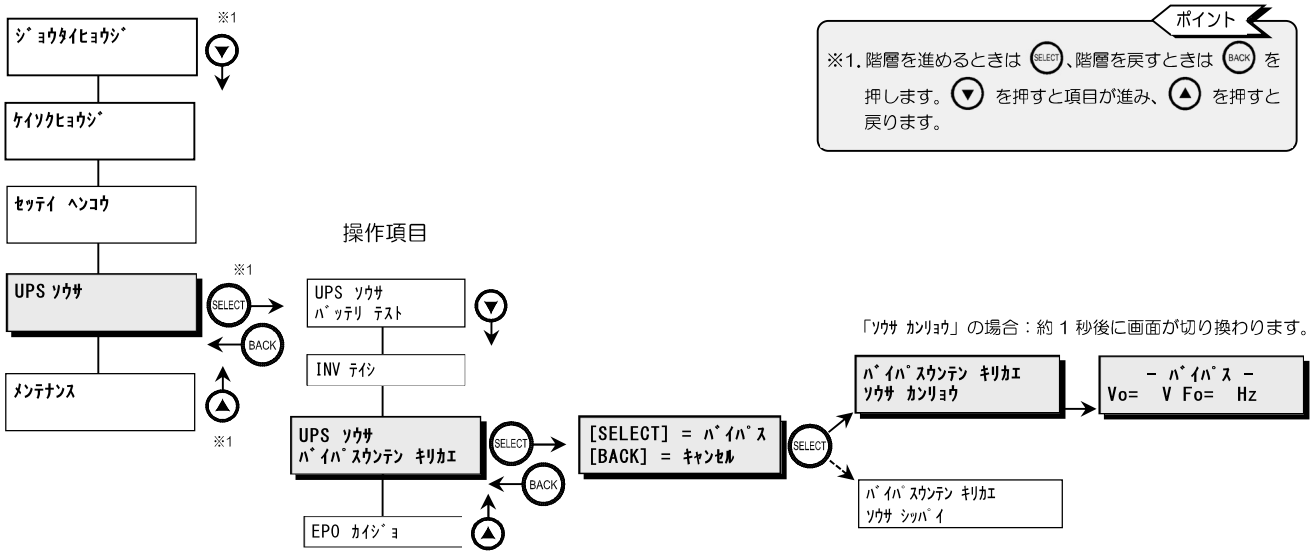
③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、操作する項目を SELECT で選択し、
確認画面で再度 SELECT を押して実行します。

⑤ BACK を押して戻ります。



ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

バイパス運転切り換えについてのご注意

- ＵＰＳが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ2」に設定されている場合、ＵＰＳが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。非同期運転中は瞬断切り換えとなります。
  設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合は、バイパス運転へ切り換わりません。
- ＵＰＳの正面パネル内部にある Forced Bypass の操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。
- バイパス運転中に MAIN MCCB を「OFF」にすると、LCD画面に「ﾒｲﾝﾌﾞﾚｰｶ OFF」が表示され、【WARNING】㊦が点灯し、出力供給が停止しますのでご注意ください。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のＡまたはＢの操作でインバータ運転へ切り換えます。

Ａ．ＬＣＤパネルの ⏻ ボタンまたは 本体操作パネルの ⏻ を押してＯＮ操作をします。

Ｂ．「4.3 ＵＰＳを起動する または 停止する」の 操作項目 で「UPSｿｳｻ INV ｷﾄﾞｳ」を選択します。
操作手順は「4.3 ＵＰＳを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のＡまたはＢ操作をしても、「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ2」に設定されている場合は、ＵＰＳが同期運転をしていないとインバータ運転に切り換わりません。

4.5 EPO ラッチ※状態を解除する

LCD 画面に ********
ﾃｲｼｭﾁｭｳ(EPO ﾗｯﾁ) が表示されＵＰＳが停止中の場合は、下記の操作で解除します。

※ EPO ラッチ状態とは・・

ＵＰＳのEPO（Emergency Power Off：緊急出力停止）端子に接続しているＵＰＳ緊急停止用スイッチによりＵＰＳを緊急停止した後、ＵＰＳ停止が継続している状態です。詳細は取扱説明書「5.6　ＵＰＳ緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

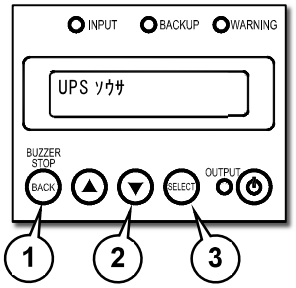
① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、**UPS ｿｳｻ** を表示させます。

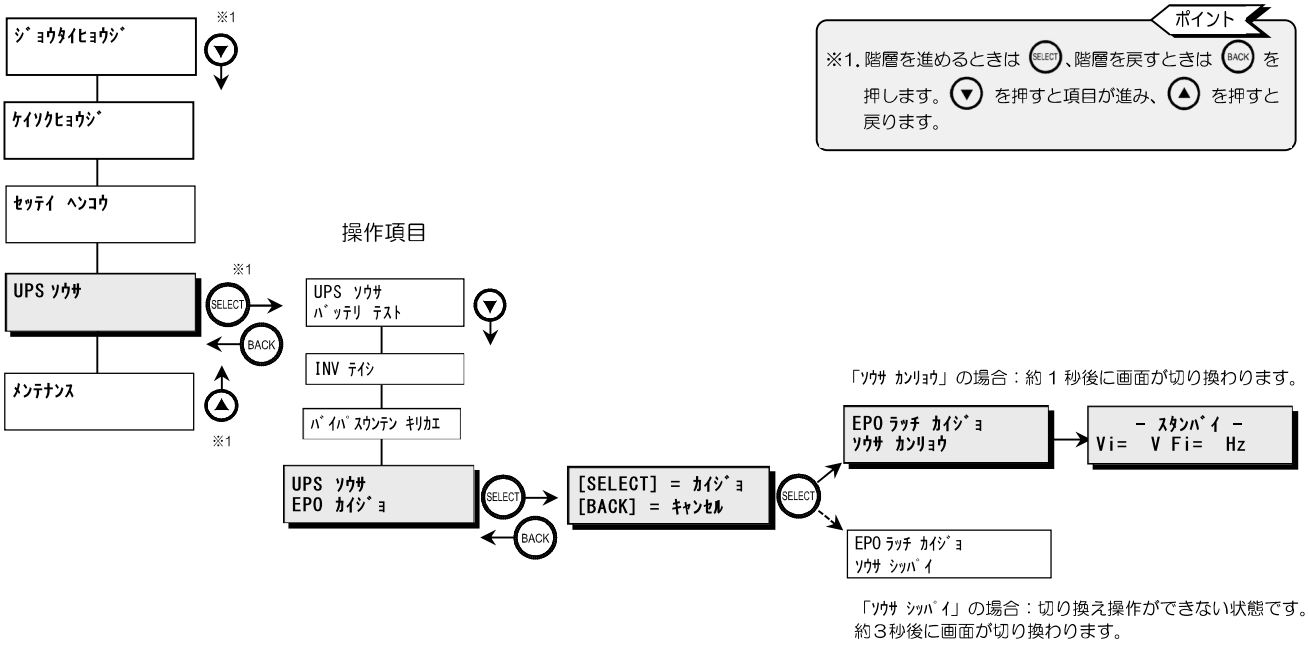
③ SELECT を押して確定します。

④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、操作する項目を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して実行します。

⑤ BACK を押して戻ります。



ホームメニュー



ポイント

※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

ご注意

- ＵＰＳが緊急出力停止中は、緊急出力停止スイッチを解除しても、ＵＰＳの緊急停止状態は解除されません。上記の操作でＵＰＳの緊急停止状態を解除してください。
- EPO信号を受信している間は、ＵＰＳを起動することはできません。

5. メンテナンスメニュー（サービス員※用）

メンテナンスメニューは、ＵＰＳのメンテナンスをするときに使用するサービス員用のメニューです。
お客様は、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」以外の操作をしないでください。

※ サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

ホームメニュー：ﾒﾝﾃﾅﾝｽ／保守（サービス員専用）

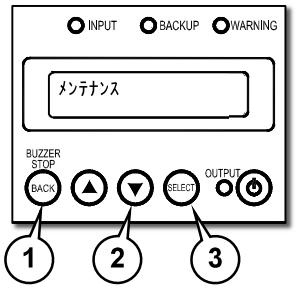
操作グループ	表示項目		項目					
	表示	内容	表示	内容	表示		内容	
UPS ｼｽﾃﾑ ＵＰＳシステム	ﾌｨﾙﾀ ｾｲｿｳ ｶﾝﾘｮｳ ※2	エアフィルタ清掃完了	ｿｳｻ ｶﾝﾘｮｳ	エアフィルタ清掃完了を入力、エアフィルタ点検時期警告表示の解除。				
	ﾅｲﾌﾞｼﾞｮｳﾎｳ	内部情報	ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｮｳﾎｳ	バッテリ情報	UPS ｳﾝﾃﾝ ｾｷｻﾝｼﾞｶﾝ ｼﾞｶﾝ		ＵＰＳ運転積算時間	
					ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾈﾝ		バッテリ寿命	
					ﾃｲﾃﾞﾝ ﾊｯｾｲ ｶｲｽｳ ｶｲ		停電発生回数	
					ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ ｾｷｻﾝｼﾞｶﾝ ﾋﾞｮｳ		バッテリ運転積算時間	
					ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｼﾞｯｼﾋﾞ YY/MM/DD HH:MM		前回のテスト実施日	
					ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｹｯｶ ※1 ***		前回のテスト結果	
			ﾊﾞｯﾃﾘｼﾞｮｳﾎｳ ﾘｾｯﾄ	バッテリ情報リセット				
			ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟｼﾞｶﾝ	バックアップ時間設定	設定値	5 ﾌﾝ	5 分	ユーザ設定
						10 ﾌﾝ	10 分	
						15 ﾌﾝ	15 分	
						25 ﾌﾝ	25 分	
						30 ﾌﾝ	30 分	
						35 ﾌﾝ	35 分	
						45 ﾌﾝ	45 分	
						60 ﾌﾝ	60 分	
						120 ﾌﾝ	120 分	
						180 ﾌﾝ	180 分	
						360 ﾌﾝ	360 分	
			ﾊﾞｯﾃﾘ ｼｭﾍﾞﾂ	バッテリ種別	設定値	5 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘ ﾊﾞｯﾃﾘ)	5 年（鉛バッテリ）	ユーザ設定
						10 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘ ﾊﾞｯﾃﾘ)	10 年（鉛バッテリ）	
						13 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘ ﾊﾞｯﾃﾘ)	13 年（鉛バッテリ）	
						ﾘﾁｳﾑｲｵﾝ ﾊﾞｯﾃﾘ	リチウムイオンバッテリ	
	ﾕﾆｯﾄ ｼﾞｮｳﾎｳ	装置情報	UPS ﾓﾃﾞﾙﾒｲ	ＵＰＳモデル名				
			ﾃｲｶｸ ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ ｼﾞｶﾝ	定格バックアップ時間				
			ﾃｲｶｸ ﾖｳﾘｮｳ	定格容量				
			ｼﾘｱﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	シリアル番号				
			LCD ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	P3 LCDプログラムバージョン				
			EXIF ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	P7 EXIFプログラムバージョン				
ﾕﾆｯﾄ 1 ┆ ﾕﾆｯﾄ 8 UPS ユニット１ ┆ UPS ユニット８	ｺｼｮｳ ﾘﾚｷ	故障履歴	ﾘﾚｷ (1～30)	故障履歴表示 最大 30 件まで保存				
	ｿｳｻ ﾘﾚｷ	操作履歴	ﾘﾚｷ (1～60)	操作履歴表示 最大 60 件まで保存				
	ﾅｲﾌﾞｼﾞｮｳﾎｳ	内部情報	ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｮｳﾎｳ	バッテリ情報	UPS ｳﾝﾃﾝ ｾｷｻﾝｼﾞｶﾝ ｼﾞｶﾝ		ＵＰＳ運転積算時間	
					ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾈﾝ		バッテリ寿命	
					ﾃｲﾃﾞﾝ ﾊｯｾｲ ｶｲｽｳ ｶｲ		停電発生回数	
					ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ ｾｷｻﾝｼﾞｶﾝ ﾋﾞｮｳ		バッテリ運転積算時間	
					ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｼﾞｯｼﾋﾞ YY/MM/DD HH:MM		前回のテスト実施日	
					ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄ ｹｯｶ ※1 ***		前回のテスト結果	
			ﾊﾞｯﾃﾘｼﾞｮｳﾎｳ ﾘｾｯﾄ	バッテリ情報リセット				
	ﾕﾆｯﾄ ｼﾞｮｳﾎｳ	システム情報	ROM ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	プログラムバージョン				
			ｼﾘｱﾙ 番号	シリアル番号				
			ﾒｲﾝ CPU ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	P1メインCPUプログラムバージョン				
			ｻﾌﾞ CPU ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	P1 サブ CPU プログラムバージョン				
	ﾕﾆｯﾄｼﾞｮｳﾀｲﾋｮｳｼﾞ	ユニット状態表示	「1.ｼﾞｮｳﾀｲﾋｮｳｼﾞ」と同じ。					
	ﾕﾆｯﾄｹｲｿｸﾋｮｳｼﾞ	ユニット計測表示	Vbatt = V	バッテリ電圧	Vinv = V		インバータ電圧	
			Vchg = V	充電器電圧	Iinv = A		インバータ電流	
			Ichg = A	充電器電流	Vbus = V		バス（BUS）電圧	
			ｼｭｳｲｵﾝﾄﾞ= °C	周囲温度				

※1.「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ」メニューの「ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄｹｯｶ」の項目は、「UPS ｿｳｻ」メニューの「ｾﾞﾝｶｲ ﾃｽﾄｹｯｶ」と同じです。
※2.「3.30 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「ｼﾖｳ ｽﾙ」に設定されている場合に表示されます。

5.1 バックアップ時間を設定する （サービス員用）

ご注意
サービス員以外は、この項目の操作をしないでください。

ＵＰＳのバックアップ時間を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

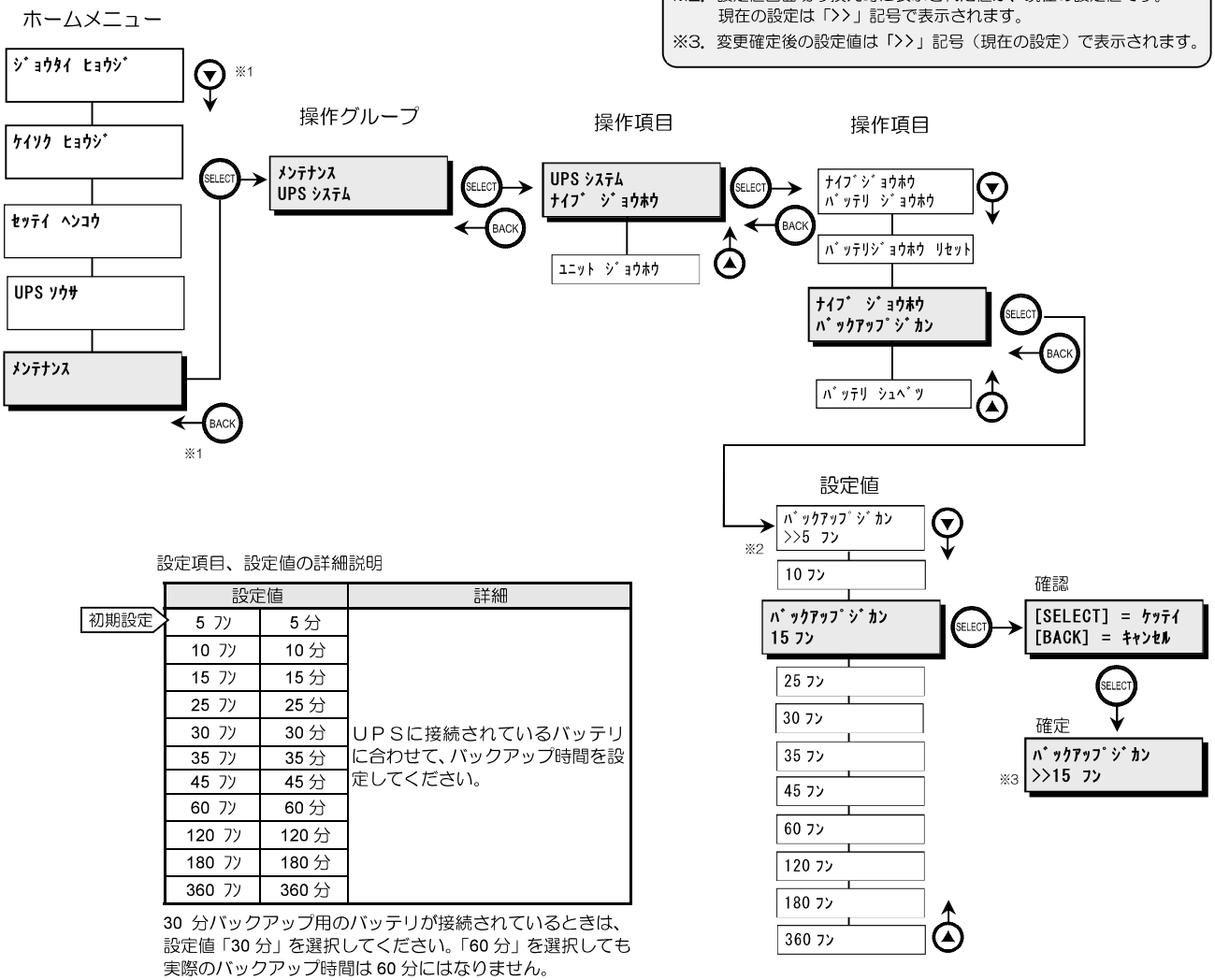
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：バックアップ時間を「15 分」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

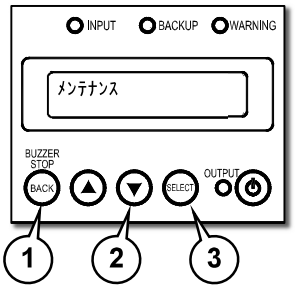
	設定値		詳細
初期設定	5 ﾌﾝ	5 分	ＵＰＳに接続されているバッテリに合わせて、バックアップ時間を設定してください。
	10 ﾌﾝ	10 分	
	15 ﾌﾝ	15 分	
	25 ﾌﾝ	25 分	
	30 ﾌﾝ	30 分	
	35 ﾌﾝ	35 分	
	45 ﾌﾝ	45 分	
	60 ﾌﾝ	60 分	
	120 ﾌﾝ	120 分	
	180 ﾌﾝ	180 分	
	360 ﾌﾝ	360 分	

30 分バックアップ用のバッテリが接続されているときは、設定値「30 分」を選択してください。「60 分」を選択しても実際のバックアップ時間は 60 分にはなりません。

5.2 バッテリ種別を設定する （サービス員用）

ご注意
サービス員以外は、この項目の操作をしないでください。

バッテリの種類を設定します。



① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

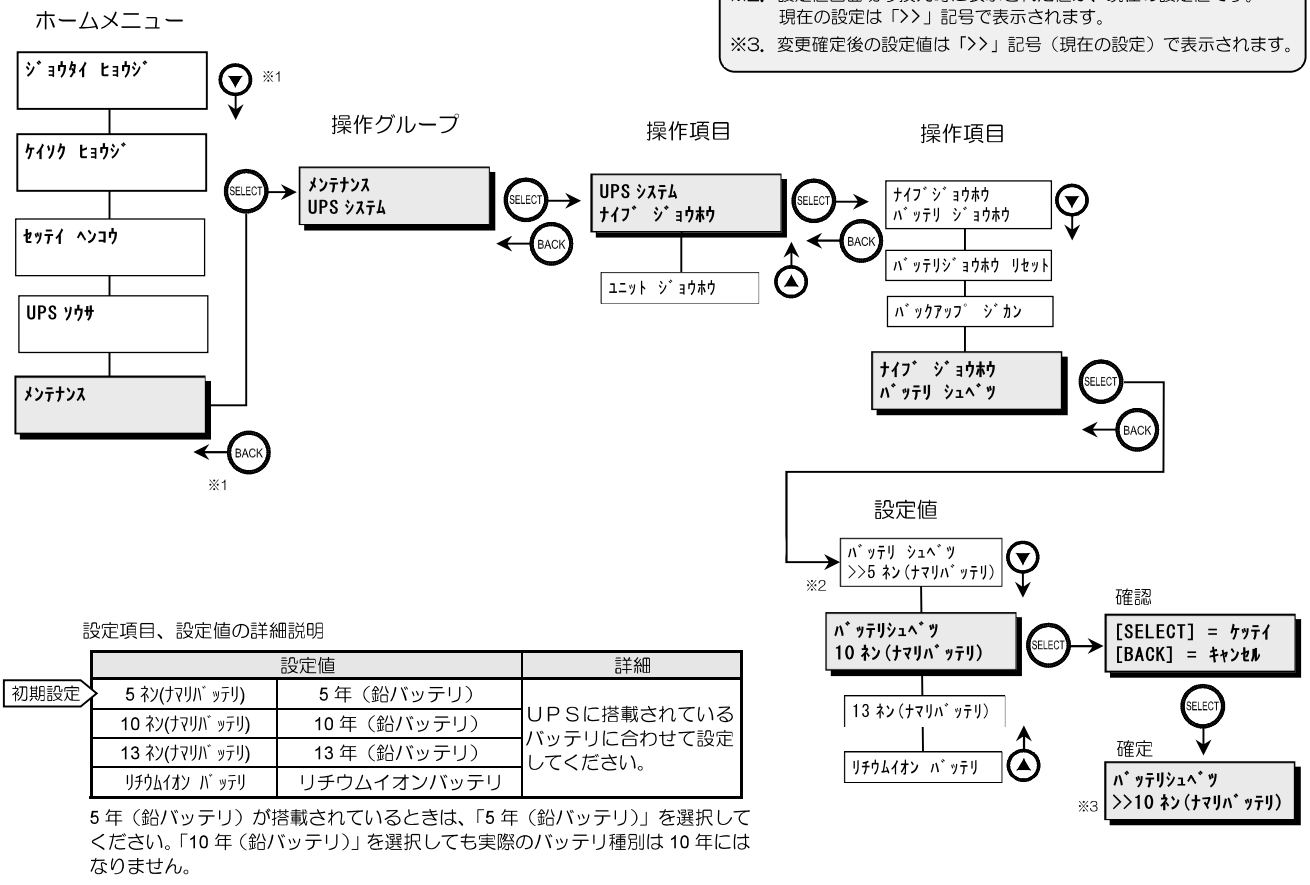
④ ▼ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ ▼ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。

例：バッテリ種別を「10 年鉛」に設定する場合

ポイント
※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	5 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)	5 年（鉛バッテリ）	ＵＰＳに搭載されているバッテリに合わせて設定してください。
	10 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)	10 年（鉛バッテリ）	
	13 ﾈﾝ(ﾅﾏﾘﾊﾞｯﾃﾘ)	13 年（鉛バッテリ）	
	ﾘﾁｳﾑｲｵﾝ ﾊﾞｯﾃﾘ	リチウムイオンバッテリ	

5 年（鉛バッテリ）が搭載されているときは、「5 年（鉛バッテリ）」を選択してください。「10 年（鉛バッテリ）」を選択しても実際のバッテリ種別は 10 年にはなりません。

5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする （エアフィルタ使用時のみ）

エアフィルタを使用している場合は、２か月に１回エアフィルタの清掃をした後、エアアフィルタ清掃完了の操作をしてください。

一定期間、この操作をしていないと下記のエアフィルタ点検時期の警告※ が表示されます。警告表示は、清掃完了の操作をすると解除されます。必ずエアフィルタを清掃してから実施してください。

※エアフィルタ点検時期の警告とは・・

ＵＰＳが下記の状態になり、エアフィルタの点検時期をお知らせします。

- ブザー音：ピ　ピ　ピ　ピ…（継続）
- ＬＥＤ：【WARNING㊦】点灯、【ALARM㊦】点滅
- ＬＣＤ画面：

```
- **** -
ｴｱﾌｨﾙﾀ ﾃﾝｹﾝ ｼﾞｷ
```

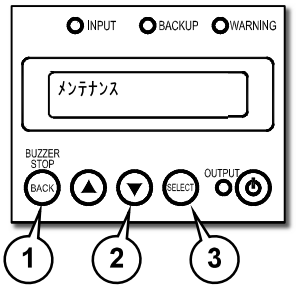
① BACK を押して LCD 画面を表示させます。

② ▼ を押してホームメニューを切り換え、 ﾒﾝﾃﾅﾝｽ を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

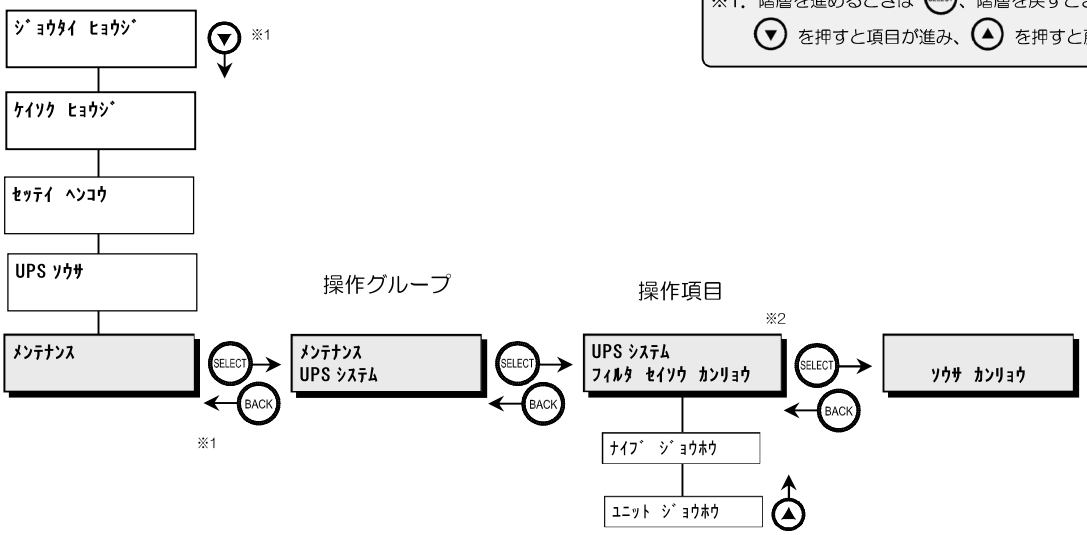
④ 表示された画面で SELECT を押して「操作項目」を確定します。

⑤ 表示された画面で SELECT を押します。



例：エアフィルタ清掃完了の操作をする

ホームメニュー



ポイント

※1．階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2．
```
UPS ｼｽﾃﾑ
ﾌｨﾙﾀ ｾｲｿｳ ｶﾝﾘｮｳ
```
画面は、「3.30 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「ｼﾖｳ ｽﾙ」に設定されていないと表示されません。

6. 状態表示説明

ホームメニュー「ｼﾞｮｳﾀｲﾋｮｳｼﾞ」でLCD画面に表示されるＵＰＳ状態の詳細は下表のとおりです。
お客様で対応できない場合、ＵＰＳの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
ｽﾀﾝﾊﾞｲ	待機中	LF= % CHG= %	負荷率 %、充電率 % （オンライン表示）	負荷率 %、充電率 %
ｵﾝﾗｲﾝ	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率 %、推定放電時間 分（バッテリ運転表示）	負荷率 %、放電時間 分
ﾊﾞｲﾊﾟｽ	バイパス運転中	PDU ﾌｧﾝ ｲｼﾞｮｳ	集電ユニットファン異常 （重故障）	集電ユニット内部のファンモータに異常が発生しました。 購入先または当社へご連絡ください。
ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ	バッテリ運転中	PDU ﾌﾞﾚｰｶ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断 （重故障）	集電ユニットの OUTPUT MCCB を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。
ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ	バッテリテスト中			ＵＰＳに接続されている負荷機器が多く、ＵＰＳの定格容量を大幅に超え、集電ユニットの OUTPUT MCCB がトリップしています。 接続している負荷機器を減らしてください。
ｼｽﾃﾑｺｼｮｳ	システム故障中			集電ユニット内部のファンモータが故障し、集電ユニット内部の温度が異常になっています。 購入先または当社へご連絡ください。
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数 （待機中表示）	入力電圧、入力周波数
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数 （バイパス運転表示）	出力電圧、出力周波数
		ｲｼﾞｮｳｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	装置異常の擬似転送信号送出中	試験用の「装置異常」転送信号が送出されています。 「3.14」をご覧ください。
		ｲﾝﾊﾞｰﾀ ｶﾃﾞﾝｱﾂ	インバータ過電圧（重故障）	インバータ出力電圧の異常が検出されました。 ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｲﾝﾊﾞｰﾀｶｲﾛ ｲｼﾞｮｳ	インバータ電圧検出回路異常 （重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｲﾝﾊﾞｰﾀﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	インバータ電圧低下 （重故障）	インバータ出力電圧の異常が検出されました。 ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｴｱﾌｨﾙﾀ ﾃﾝｹﾝ ｼﾞｷ	エアフィルタ点検時期 ※3	エアフィルタの清掃をしてから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」の操作をしてください。
		ｶﾌｶ ｼﾞｮｳﾀｲ	過負荷	ＵＰＳに接続されている負荷機器が多く、ＵＰＳの定格容量を超えています。接続している負荷機器を減らしてください。
		ｶﾌｶ ｼﾞｮｳﾀｲ(ｵﾝﾄﾞ)	温度条件による過負荷 （軽故障）	ＵＰＳを使用している周囲温度での負荷上限を超えています。周囲温度を下げてください。または接続している負荷機器を減らしてください。
		ｷｮｳｾｲ ﾊﾞｲﾊﾟｽ SW ｵﾝ	バイパススイッチ ON	強制バイパススイッチ Forced Bypass が「Bypass」になっています。
		ｷﾄﾞｳﾏﾃﾞ = h m	スケジュール起動遅延中 ※1	ＵＰＳ管理ソフトのスケジュール運転の設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、ＵＰＳは起動します。
		ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ	コントローラ異常（重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｺﾝﾊﾞｰﾀ ｲｼﾞｮｳ	コンバータ異常（重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	再起動要	ＵＰＳを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、再起動されていません。「3.36」をご覧になりＵＰＳを再起動してください。
		ｼｭｳﾊｽｳ ｲｼﾞｮｳ	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
		ｼﾞｮｳﾁｮｳｳﾝﾃﾝ NG	冗長運転不可（軽故障）	「3.34」で運転システムを「N+1 ｼﾞｮｳﾁｮｳ」に設定している場合、ＵＰＳに接続されている負荷容量が多く、並列冗長運転ができない状態です。接続している負荷機器を減らしてください。
		ｾｯﾃｲ ｲｼﾞｮｳ	設定異常	複数台のＵＰＳユニットを接続している場合、ＵＰＳユニットの設定が異なっています。設定を合わせてください。
		ｾｲｷﾞｮﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ	制御電源（12V）異常 （重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ｿｳﾕﾆｯﾄｽｳ ｲｼﾞｮｳ	総ユニット数エラー （重故障）	「3.33」で設定したUPSユニット台数と、実際に運転しているＵＰＳユニットの台数が異なっています。ＵＰＳユニットの状態を確認してください。
		ﾁｬｰｼﾞｬ ｲｼﾞｮｳ	充電器異常（重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾁｬｰｼﾞｬ ﾃｲｼ(ｵﾝﾄﾞ)	動作温度範囲外による充電器停止（軽故障）	ＵＰＳの周囲温度が充電器の動作範囲を超えています。周囲温度を適切な温度にしてください。
		ﾁｬｰｼﾞｬ ﾃｲｼ(ﾍﾝｺｳ)	バッテリ種別変更による充電器停止	バッテリ種別が変更されたため、充電器が停止しています。 「3.36」をご覧になりＵＰＳを再起動してください。
		ﾁｮｸﾘｭｳﾃﾞﾝｱﾂ ｲｼﾞｮｳ	コンバータ直流電圧異常 （重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
ｽﾀﾝﾊﾞｲ	待機中	ﾃｲｼﾁｭｳ(EPO ｵﾝ)	EPO による停止中	ＥＰＯ信号が入力されているため、出力が停止しています。
ｵﾝﾗｲﾝ	オンライン運転中	ﾃｲｼﾁｭｳ(EPO ﾗｯﾁ)	EPO ラッチ による停止中	ＥＰＯ信号入力がラッチされ、出力が停止しています。「4.5」をご覧になりラッチを解除してください。
ﾊﾞｲﾊﾟｽ	バイパス運転中	ﾃｲｼﾁｭｳ(Vin ｲｼﾞｮｳ)	バイパス出力断（入力電圧異常）	バイパス運転中に入力電圧異常が検出されたため、給電が停止しました。
ﾊﾞｯﾃﾘｳﾝﾃﾝ	バッテリ運転中	ﾃｲｼﾁｭｳ(ﾘﾓｰﾄｵﾌ)	Remote OFF による停止中	リモートＯＦＦ信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ	バッテリテスト中	ﾃｲｼﾏﾃﾞ = h m	スケジュール停止遅延中 ※1	ＵＰＳ管理ソフトのスケジュール運転の設定により OFF 遅延時間実行中です。設定時間経過後、ＵＰＳは停止します。
ｼｽﾃﾑｺｼｮｳ	システム故障中	ﾃｽﾄﾁｭｳ m s	バッテリテスト残り時間 ※1	バッテリテストの残り時間が表示されています。
		ﾅｲﾌﾞ ﾂｳｼﾝ ｲｼﾞｮｳ	ＵＰＳ内部の通信異常（軽故障）	ＵＰＳ内部の通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾅｲﾌﾞｵﾝﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ	フィン温度異常（重故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾆｭｳﾘｮｸ ｲｼﾞｮｳ	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
		ﾆｭｳﾘｮｸ ｶﾃﾞﾝｱﾂ	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、ＵＰＳの周波数設定を確認してください。
		ﾆｭｳﾘｮｸ ﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	入力電圧低下	
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ回路異常（重故障）	バッテリ回路が故障し、ＵＰＳの出力が停止しています。ＵＰＳの再起動はできません。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ﾏﾁ	充電率起動待ち中	復電時のＵＰＳ起動条件が充電率に設定されている場合の充電中の状態です。設定された充電率になるとＵＰＳは起動します。
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ	バッテリ寿命	バッテリの寿命です。バッテリを交換してください。
		ﾊﾞｯﾃﾘ ｼﾞｭﾐｮｳ ﾖｺｸ	バッテリ寿命予告	バッテリの余命が残り半年です。バッテリ交換の準備をしてください。
		ﾊﾞｯﾃﾘ ﾎｳﾃﾞﾝｼｭｳｼ	バッテリ放電終止	バッテリ放電終止です。
		ﾊﾞｯﾃﾘ LV ｼﾝｺﾞｳﾃｽﾄ	バッテリ LV の擬似転送信号送出中	試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号が送出されています。「3.15」をご覧ください。
		ﾊﾞｯﾃﾘｷﾄﾞｳ ｶｲﾛ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ起動スイッチの短絡故障（軽故障）※2	バッテリ起動スイッチを押したままの場合は、解除してください。
				ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃｽﾄ(ﾘﾓｰﾄ)	遠隔操作によるバッテリテスト実行中	ＵＰＳ管理ソフトからの遠隔操作により、バッテリテスト実行中です。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ｲｼﾞｮｳ	バッテリ電圧異常	バッテリパックが接続されていません。バッテリパックを確実に搭載してください。接続に異常がない場合は、バッテリが劣化しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾊﾞｯﾃﾘﾃﾞﾝｱﾂ ﾃｲｶ	バッテリ電圧低下	バッテリ電圧が低下しています。
		ﾋﾄﾞｳｷ ｳﾝﾃﾝ	非同期運転	入力電源と非同期で給電しています。 バイパス運転への切り換えは瞬断切換えとなります。
		ﾌｸﾃﾞﾝ ｶｸﾆﾝﾁｭｳ	復電時確認時限中	復電時、ＵＰＳが復電したと判断するまでの確認時間の待機中です。
		ﾎｼﾞｮﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ	補助電源異常（軽故障）	ＵＰＳが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ﾒｲﾝ ﾌﾞﾚｰｶ OFF	メインブレーカの OFF またはトリップ	MAIN MCCB を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。
				ＵＰＳに接続されている負荷機器が多く、ＵＰＳの定格容量を大幅に超え、 MAIN MCCB がトリップしています。 接続している負荷機器を減らしてください。
		ﾕﾆｯﾄﾂｳｼﾝ ｲｼﾞｮｳ	ユニット間通信異常	ユニット間の通信異常の可能性があります。 ユニット間を接続しているケーブルを確認してください。

※1. 時間により表示が異なります。
※2. ＵＰＳの型番により、表示されない機種があります。
※3.「3.30 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「ｼﾖｳ ｽﾙ」に設定されている場合に表示されます。また、「3.13 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「ｿｳｼｭﾂ ｽﾙ」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

7. 計測情報表示について

バッテリ充電率表示について

(1) 充電率はＵＰＳの運転時間に応じて増加しますので、ＵＰＳ取扱説明書「使用前の準備をする」の項目をご覧になりＵＰＳを運転してください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリの構成により異なります。

(2) バッテリが正しく接続されていない状態でＵＰＳを運転すると、充電率「ChgRate =　%」が正常に表示されません。

バッテリ残保持時間について

(1) 表示されるバッテリ残保持時間「RunTm =　h　m」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。

(2) 計画停電などが予定されている場合は、予定時間の20時間以上前にバッテリテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリテストについては「4.1 バッテリテストをする」をご覧ください。

バッテリの充電について

(1) リチウムイオンバッテリが搭載されているＵＰＳの場合、バッテリ充電率が100%になると、バッテリの充電は停止します。このとき、充電電圧は「Vchg = 0V」と表示されます。バッテリ充電率が低下するとバッテリの充電が再開します。

負荷率表示について

(1) 負荷率が5%未満の場合、負荷率、出力電流、出力電力は「0」と表示されます。
ＵＰＳ管理ソフト（SANUPS SOFTWARE）、またはLANインタフェースカードを使用している場合、ＵＰＳ管理ソフト（SANUPS SOFTWARE）、LANインタフェースカードに表示される値も、負荷率、出力電流、出力電力は「0」となります。

●お問い合わせ先一覧

国内拠点

https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/location/japan.html

グローバル拠点

https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/location/international.html

Distributors Contacts (UK)

https://www.sanyodenki.com/europe/en/contacts/distributor/europe/united_kingdom.html

山洋電気株式会社 本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚 3-33-1 電話(03) 5927 1020(大代表) https://www.sanyodenki.co.jp/

保証期間中の故障に関するお問い合わせ 富士山工場 品質管理部 電話(0268) 38 8115 受付時間 8:30～12:00, 13:30～17:00 (土, 日, 祝祭日, 当社休日を除く)

記載された会社名と商品名は, それぞれ各社の商号, 商標または登録商標です。
「SANUPS」は山洋電気株式会社の登録商標です。
記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。